厚木市下水道施設

標準構造図

平成３１年4月1日（改訂版）

厚 木 市

目　　次

１．下水道用鉄筋コンクリート管規格図（JSWAS A-1）

１－１．下水道用鉄筋コンクリート管（Ｂ形管）　…… 1

１－２．下水道用鉄筋コンクリート管（ＮＢ形管）　…… 2

１－３．下水道用鉄筋コンクリート管（ＮＣ形管）　…… 3

２．下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図（JSWAS A-2）

２－１．下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（Ｅ形管）　…… 4

２－２．下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（中押管）　…… 5

２－３．下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（中押管Ｓ）　…… 6

２－４．下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（中押管Ｔ）　…… 7

３．下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管規格図（JSWAS A-6）

３－１．下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管（Ｅ形管）　…… 8

４．下水道用硬質塩化ビニル管規格図

４－１．下水道用硬質塩化ビニル管（ゴム輪受口片受直管・JSWAS K-1）… 9

４－２．下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（片受け直管・JSWAS K-13）… 10

５．下水道推進工法用硬質塩化ビニル管規格図（JSWAS K-6）

５－１．下水道推進工法用硬質塩化ビニル管（SUSカラー付直管）…… 11

５－２．下水道推進工法用硬質塩化ビニル管（スパイラル継手付直管）… 12

６．その他管種規格図

６－１．下水道用強化プラスチック複合管（Ｂ形管・JSWAS K-1）… 13

６－２．支管取付方法詳細図 …… 14

７．下水道管理埋設明示方法

７－１．明示シート・標示テープ詳細図 …… 15

８．鉄筋コンクリート管基礎構造図

８－１．砂基礎 …… 16

８－２．砕石基礎 …… 17

８－３．コンクリート基礎（90°巻）…… 18

８－４．コンクリート基礎（120°巻）…… 19

８－５．コンクリート基礎（180°巻）…… 20

８－６．コンクリート基礎（360°巻）…… 21

９．硬質塩化ビニル管基礎構造図

９－１．砂基礎 …… 22

９－２．コンクリート基礎（360°巻）…… 23

１０．組立マンホール

１０－１．０号マンホール（内径750㎜）標準構造図 …… 24

目　　次

１０－２．１号マンホール（内径900㎜）標準構造図 …… 25

１０－３．２号マンホール（内径1200㎜）標準構造図 …… 26

１０－４．３号マンホール（内径1500㎜）標準構造図 …… 27

１０－５．４号マンホール（内径1800㎜）標準構造図 …… 28

１０－６．５号マンホール（内径2200㎜）標準構造図 …… 29

１０－７．特１号マンホール(内径900×600㎜楕円形)標準構造図 …… 30

１０－８．おどり場直壁構造図（２号タイプ） …… 31

１１．小型マンホール

１１－１．小型マンホール（塩ビ製）標準構造図 …… 32

１２．マンホール共通

１２－１．マンホールふたの主要寸法および許容差・デザイン …… 33

１２－２．足掛金物詳細図（W=300,W=400㎜） …… 34

１２－３．インバート構造図 …… 35

１２－４．インバートの形状（１） …… 36

１２－５．インバートの形状（２） …… 37

１２－６．インバートの形状（３） …… 38

１２－７．インバートステップ構造図 …… 39

１２－８．マンホール副管構造図（外副管・コンクリート巻立型） … 40

１２－９．マンホール副管構造図（外副管・ブロック型） …… 41

１２－１０．マンホール副管構造図（内副管・スリム型） …… 42

１２－１１．マンホール副管構造図（内副管） …… 43

１３．公共ます（厚木市型）

１３－１．塩ビ製公共ますφ200標準構造図 …… 44

１３－２．塩ビ製公共ますφ300標準構造図 …… 45

１３－３．塩ビ製公共ます基礎標準図 …… 46

１３－４．塩ビ製公共ますふたφ200ロック付標準構造図 …… 47

１３－５．塩ビ製公共ますふたφ300ロック付標準構造図 …… 48

１３－６．鋳鉄製公共ますφ200標準構造図 …… 49

１３－７．鋳鉄製公共ますφ300標準構造図 …… 50

１３－８．防護ふた基礎φ200標準構造図 …… 51

１３－９．防護ふた基礎φ300標準構造図 …… 52

１３－１０．取付管布設標準構造図 …… 53

１３－１１．取付管布設標準構造図（マンホール接続） …… 54

１３－１２．防臭リッド可動型・防臭キャップ構造図 …… 55

目　　次

１４．土留工

１４－１．土留工標準構造図 …… 56

１５．安全施設

１５－１．交通保安標準図（１） …… 57

１５－２．交通保安標準図（２） …… 58

１５－３．交通保安標準図（３） …… 59

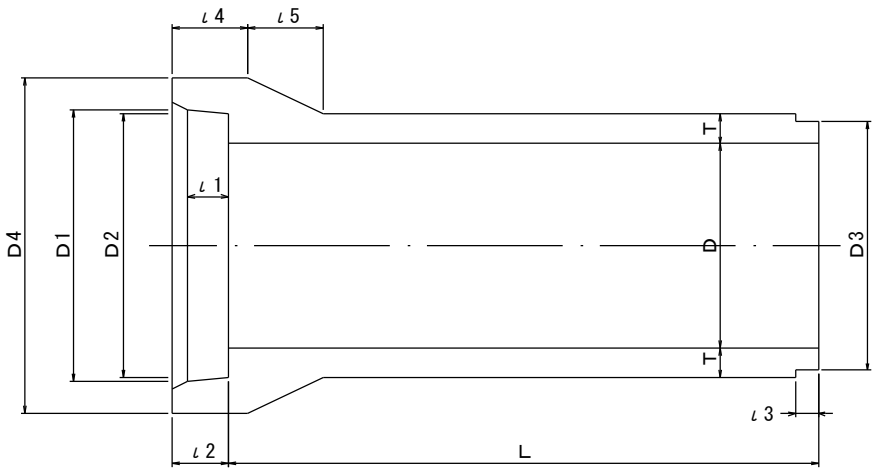
１５－４．交通保安標準図（４） …… 60

１６．管きょこう配対応表

１６－１．管きょこう配 対応表 …… 61

下水道用鉄筋コンクリート管（Ｂ形管）規格図（JSWAS A-1）

断　面　図



寸　法　表

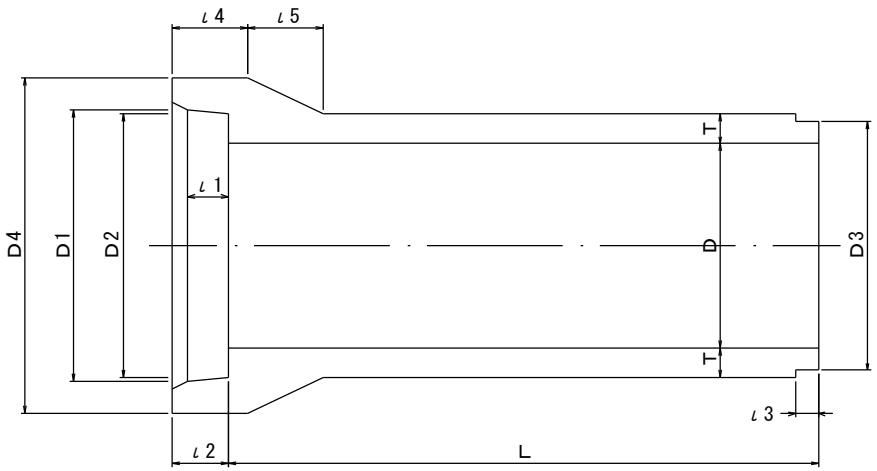
（単位：mm）

呼び径	内径 D	D1	D2	D3	D4	厚さ T	ℓ1	ℓ2	ℓ3	ℓ4	ℓ5	有効長 L	参考重量 (kg)
150	150	210	206	194	262	26	65	90	32	115	50	2000	77
200	200	262	258	246	316	27					55		103
250	250	314	310	298	370	28				120	60		131
300	300	368	364	350	424	30			36				165
350	350	422	418	404	482	32					65		204
400	400	478	474	460	544	35	70	95		125	70	2430	306
450	450	534	530	516	606	38					75		373
500	500	592	588	574	672	42				130	85		459
600	600	708	704	690	804	50	75	100		135	100		660
700	700	824	820	802	936	58		105	40	140	115		899
800	800	940	936	918	1068	66	80	110		150	130		1170
900	900	1058	1054	1036	1204	75	85	115		160	150		1520
1000	1000	1172	1168	1150	1332	82	96	120		165	165		1850
1100	1100	1286	1282	1260	1458	88	100	125	42	175	175		2190
1200	1200	1400	1396	1374	1586	95	104	130		185	190		2600
1350	1350	1566	1562	1540	1768	103	108	135		195	205		3190

注　呼び径150及び200の有効長は500mm又は1000mm、呼び径250～350の有効長は1000mm、
呼び径400～1350の管の有効長は1200mmとすることができる。

下水道用鉄筋コンクリート管（ＮＢ形管）規格図（JSWAS A-1）

断　面　図



寸　法　表

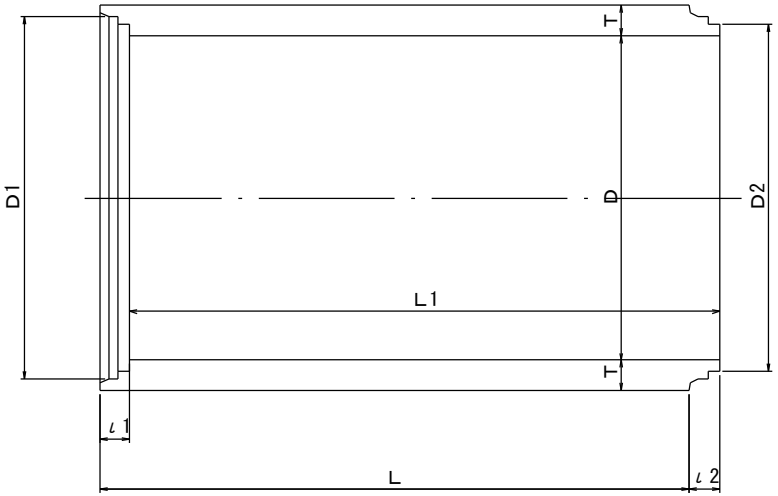
（単位：mm）

呼び径	内径 D	D1	D2	D3	D4	厚さ T	ℓ1	ℓ2	ℓ3	ℓ4	ℓ5	有効長 L	参考重量 (kg)
150	150	210	206	194	262	26	72	90	32	115	50	2000	77
200	200	262	258	246	316	27					55		103
250	250	314	310	298	370	28				120	60		131
300	300	368	364	350	424	30	76		36				165
350	350	422	418	404	482	32					65		204
400	400	478	474	460	544	35	86	95		125	70	2430	306
450	450	534	530	516	606	38					75		373
500	500	592	588	574	672	42				130	85		459
600	600	708	704	690	804	50		100		135	100		660
700	700	824	820	802	936	58	90	105	40	140	115		899
800	800	940	936	918	1068	66		110		150	130		1170
900	900	1058	1054	1036	1204	75		115		160	150		1520

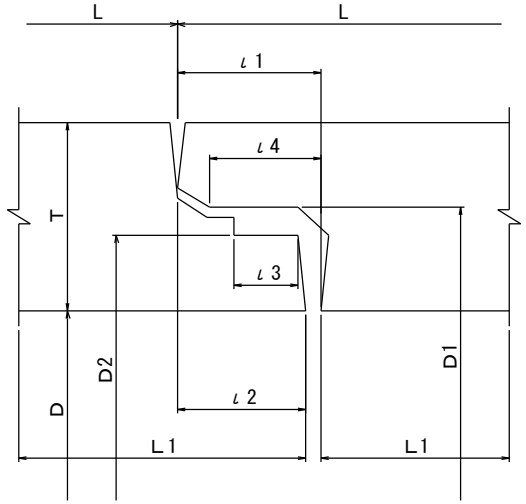
注　呼び径150及び200の有効長は500mm又は1000mm、呼び径250～350の有効長は1000mm,
　　呼び径400～900の管の有効長は1200mmとすることができる。

下水道鉄筋コンクリート管（ＮＣ形管）規格図（JSWAS A-1）

断　面　図



継手部詳細図



寸　法　表

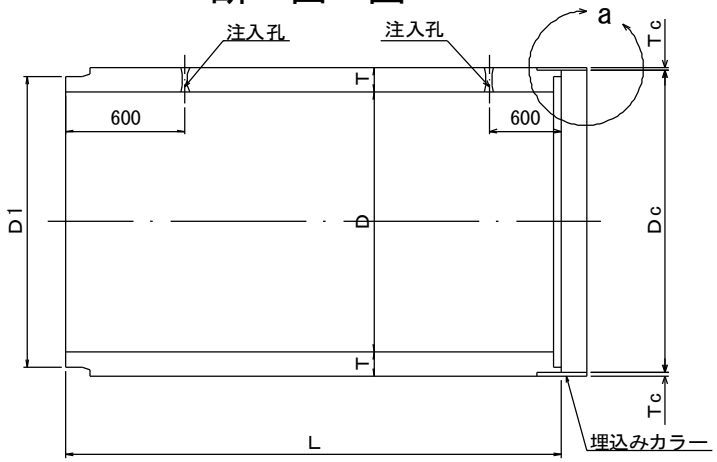
（単位：mm）

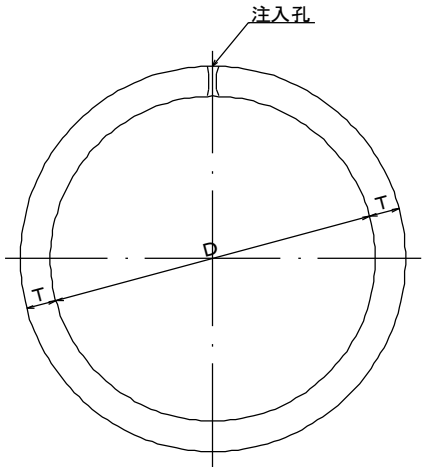
呼び径	内径 D	D1	D2	厚さ T	ℓ1	ℓ2	ℓ3	ℓ4	有効長 L	L1	参考重量 (kg)
1500	1500	1632	1598	140	120	115	55	105	2300	2295	4050
1650	1650	1792	1758	150							4760
1800	1800	1950	1916	160							5530
2000	2000	2164	2130	175							6710
2200	2200	2378	2344	190							8010
2400	2400	2594	2550	205	135	130	65	120			9400
2600	2600	2808	2764	220							10900
2800	2800	3022	2978	235							12600
3000	3000	3236	3192	250							14300

注　呼び径1500～1800の有効長は1080mmとすることができる。

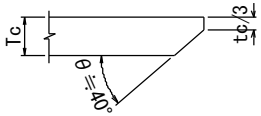
下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（Ｅ形管）規格図（JSWAS A-2）

断　面　図

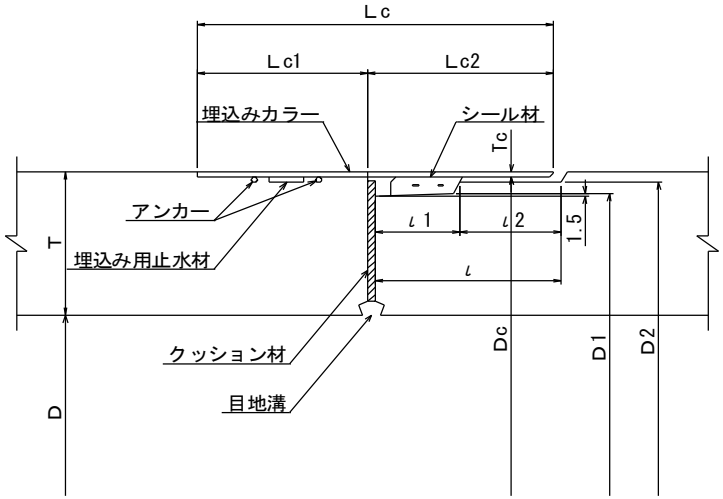




ａ部詳細図



継手部詳細図



寸　法　表

（単位：mm）

呼び径	内径 D	D1	πD1	D2	厚さ T	有効長 L	ℓ1	ℓ2	ℓ	Lc1	Lc2	Lc	Tc	Dc	π（Dc+2Tc）	参考重量 (kg)
800	800	933	2931	942	80	2430	60	72	132	120	130	250	4.5	951	3016	1330
900	900	1053	3308	1062	90									1071	3393	1670
1000	1000	1173	3685	1182	100									1191	3770	2060
1100	1100	1283	4031	1292	105									1301	4115	2380
1200	1200	1403	4408	1412	115									1421	4492	2840
1350	1350	1563	4910	1577	125								6	1588	5027	3460
1500	1500	1743	5476	1757	140									1768	5592	4310
1650	1650	1913	6010	1927	150									1938	6126	5060
1800	1800	2083	6544	2097	160									2108	6660	5890
2000	2000	2313	7267	2327	175									2338	7383	7140
2200	2200	2543	7989	2557	190									2568	8105	8520
2400	2400	2763	8680	2779	205		70	82	152	150	150	300	9	2792	8828	10100
2600	2600	2993	9403	3009	220									3022	9550	11700
2800	2800	3223	10125	3239	235									3252	10273	13400
3000	3000	3453	10848	3469	250									3482	10996	15300

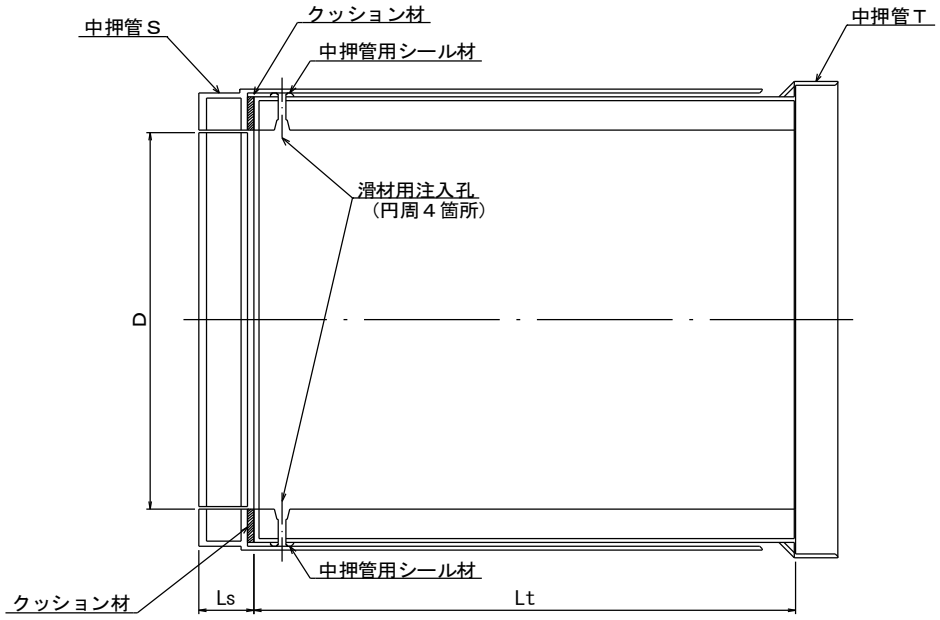
注　標準管の有効長は1200mmとすることができる。

備考１）標準管は、カラーなしとすることができる。

備考２）呼び径1000mm以上の標準管には、緊結用埋込みナットをつけることができる。

下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（中押管）規格図（JSWAS A-2）

断　面　図



寸　法　表

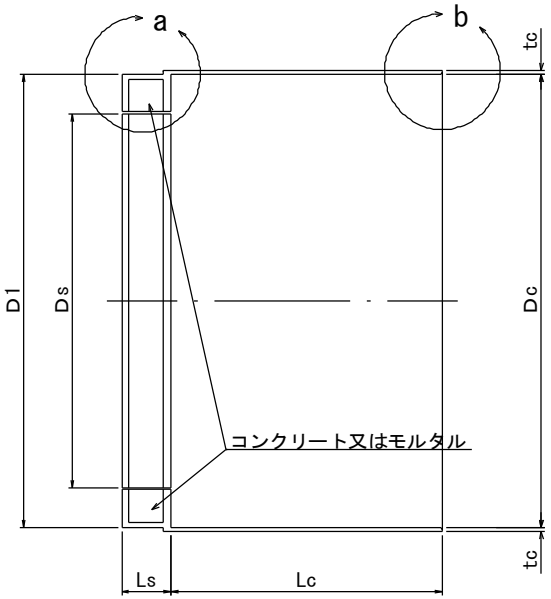
（単位：mm）

呼び径 D	中押管Sの有効長Ls	中押管Tの有効長Lt	中押管の長さ
900	150	1150	1310
1000			
1100			
1200	155		1315
1350		1200	1365
1500			
1650	160		1370
1800			
2000			
2200			
2400	180	1250	1440
2600			
2800			
3000			

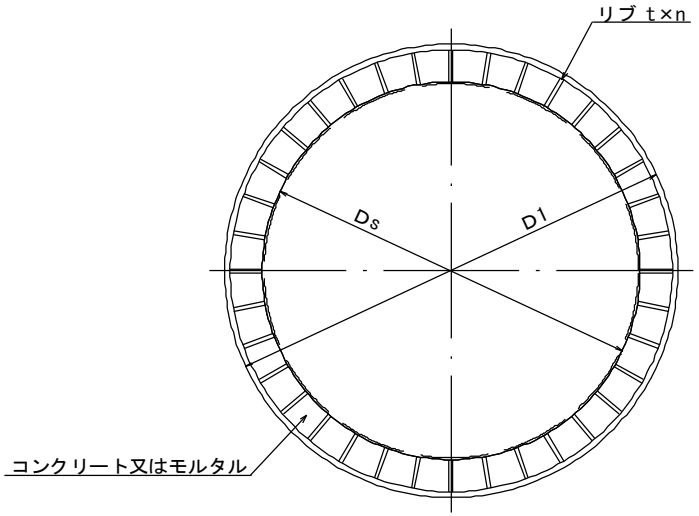
注　呼び径900は、JHPAS-19による。
　　中押管の長さには、クッション材の厚さ10mmを考慮している。

下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（中押管Ｓ）規格図（JSWAS A-2）

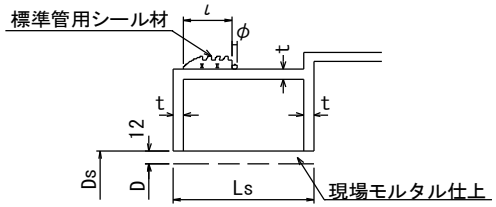
A 断　面　図



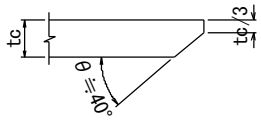
A－A断面



a 部詳細図



b 部詳細図



寸　法　表

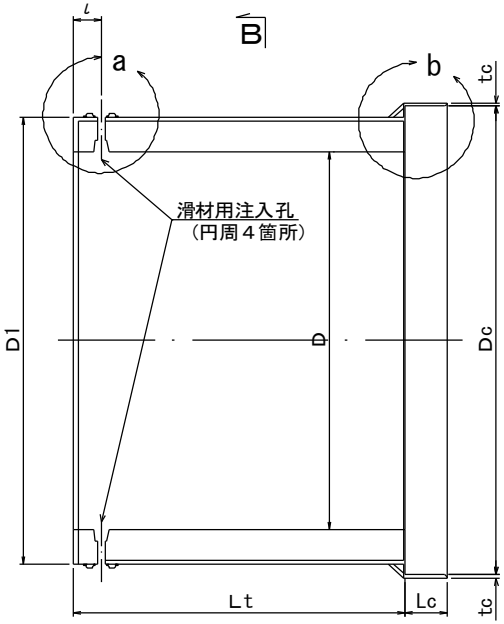
（単位：mm）

呼び径	内径 D	Ds	D1	πD1	Dc	π（Dc+2tc）	有効長 Ls	Lc	ι	tc	t	φ	リブ n（枚）	参考重量（kg）
900	900	924	1053	3308	1062	3393	150	1100	60	9	16	6	24	424
1000	1000	1024	1173	3685	1182	3770							28	494
1100	1100	1124	1283	4031	1292	4115							32	552
1200	1200	1224	1403	4408	1406	4492	155			12	19		36	773
1350	1350	1374	1563	4910	1576	5027		1150				9	40	905
1500	1500	1524	1743	5476	1756	5592							44	1060
1650	1650	1674	1913	6010	1926	6126	160				22		48	1250
1800	1800	1824	2083	6544	2096	6660							52	1440
2000	2000	2024	2313	7267	2326	7383							58	1670
2200	2200	2224	2543	7989	2556	8105							64	1900
2400	2400	2424	2763	8680	2778	8828	180	1200	70	16	25		72	2680
2600	2600	2624	2993	9403	3008	9550							78	3000
2800	2800	2824	3223	10125	3238	10273							84	3360
3000	3000	3024	3453	10848	3468	10996							90	3670

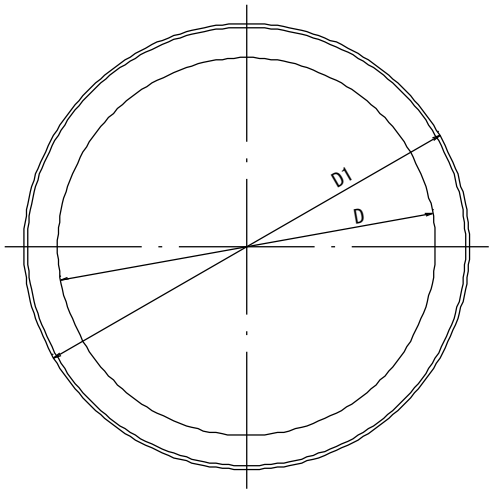
注　呼び径900は、JHPAS-19による。

下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（中押管Ｔ）規格図（JSWAS A-2）

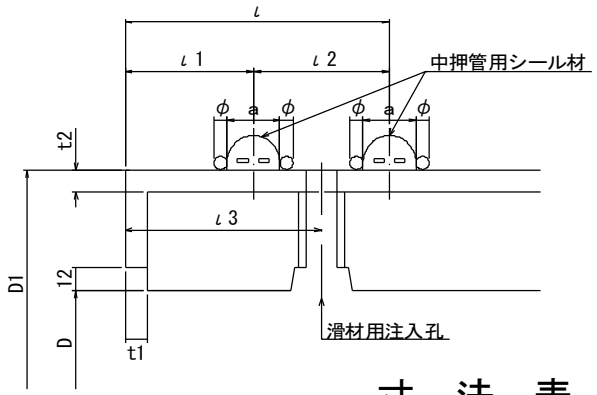
断　面　図



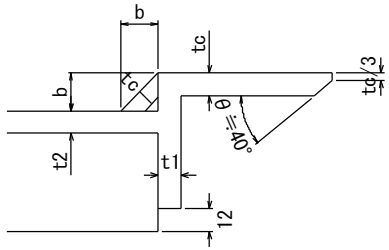
B－B断面



ａ部詳細図



ｂ部詳細図



寸　法　表

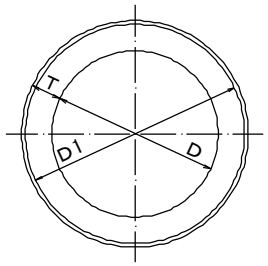
（単位：mm）

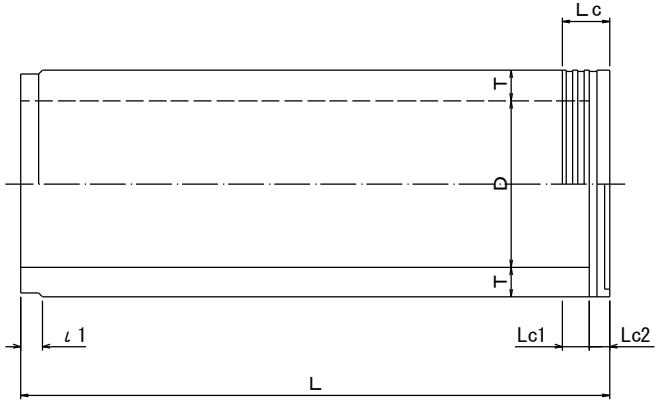
呼び径	内径 D	D1	πD1	Dc	π（Dc+2tc）	有効長 Lt	Lc	ι	ι1	ι2	ι3	a	b	tc	t1	t2	φ	参考重量 (kg)
900	900	1044	3280	1071	3393	1150	130	125	60	65	92.5	26	18	4.5	9	6	6	780
1000	1000	1164	3657	1191	3770													968
1100	1100	1274	4002	1301	4115													1120
1200	1200	1388	4361	1421	4492								21					1300
1350	1350	1551	4873	1588	5027	1200		140	65	75	102.5	30	24.5	6			9	1620
1500	1500	1731	5438	1768	5592													2040
1650	1650	1901	5972	1938	6126										12			2430
1800	1800	2071	6506	2108	6660													2840
2000	2000	2301	7229	2338	7383													3460
2200	2200	2531	7951	2568	8105													4150
2400	2400	2749	8636	2792	8828	1250	150	150	70	80	110	34	30.5	9		9		5140
2600	2600	2979	9359	3022	9550													5990
2800	2800	3209	10081	3252	10273													6900
3000	3000	3439	10804	3482	10996													7880

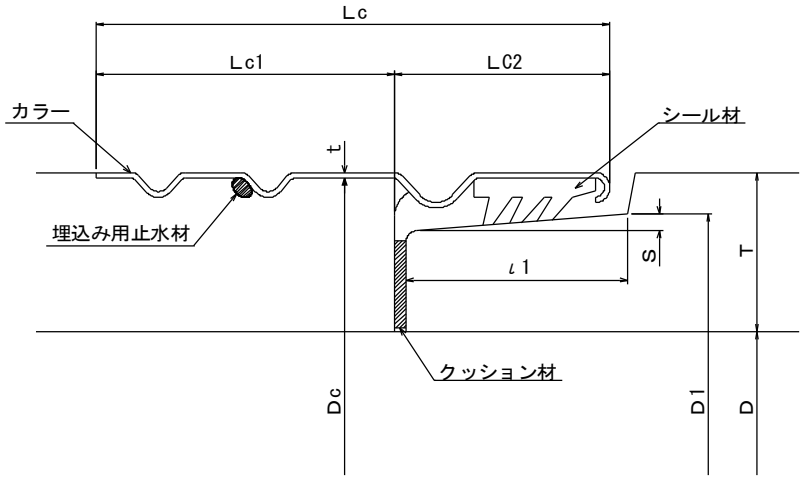
注　呼び径900は、JHPAS-19による。

下水道小口径推進工法用鉄筋コンクリート管（Ｅ形管）規格図（JSWAS A-6）

形　状　図







寸　法　表

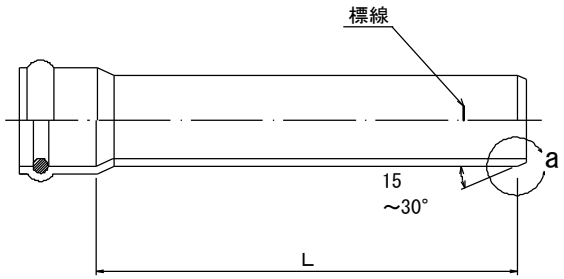
（単位：mm）

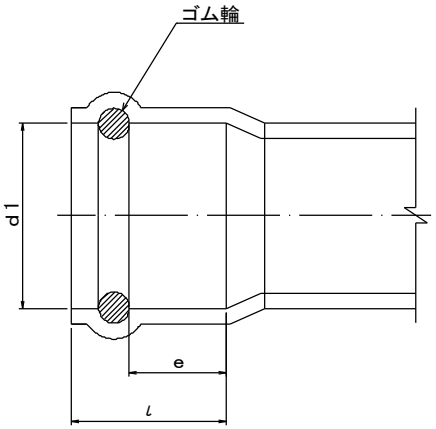
呼び径	内径 D	D1	πD1	厚さ T	有効長 L	ℓ1	S	Lc	Lc1	Lc2	t	Dc	π(Dc+2t)	参考重量 (kg)
200	200	298	936	59	2000	51	1.5	120	70	50	1.5	313	993	236
250	250	340	1068	55								355	1125	260
300	300	394	1238	57								409	1294	315
350	350	450	1414	60	2430							465	1470	462
400	400	506	1590	63								521	1646	548
450	450	564	1772	67								579	1828	651
500	500	620	1948	70								635	2004	749
600	600	736	2312	80		81	2.5	170	90	80	2.0	754	2381	1030
700	700	856	2689	90								874	2758	1340

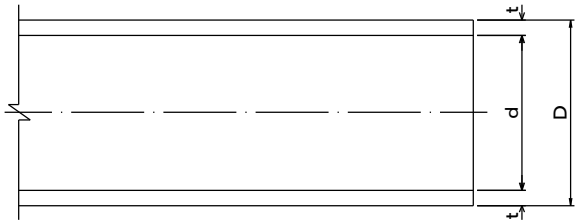
注　呼び径200～300の管の有効長は1000mm、呼び径350～700の管の有効長は1200mmとすることができる。

備考　標準管の形状はカラーなしとすることができる。

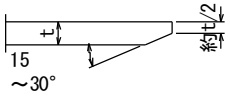
下水道用硬質塩化ビニル管（ゴム輪受口片受直管）規格図（JSWAS K-1）







a 部詳細図



寸　法　表

（単位：mm）

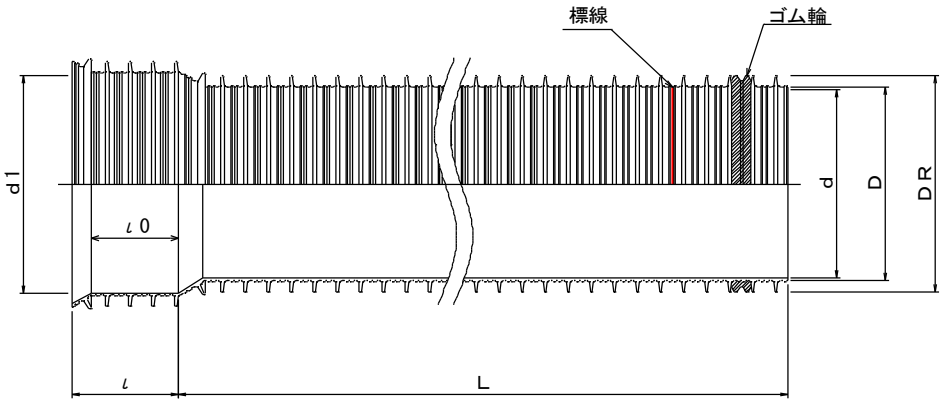
呼び径	外径		厚さ			近似内径 d（参考）	1m当りの重量(kg)（参考）	受口内径 d1（最小）	接合長さ e（最小）	受口長さ ℓ（最大）	L
	D	許容差	t（最小）		許容差						
			VU管	VP管							
150	165	±0.5	5.1	8.9	+0.8	154.0	3.941	165.7	53	165	4000±15
200	216	±0.7	6.5	10.3	+1.0	202.0	6.572	216.9	54	185	
250	267	±0.9	7.8	12.7	+1.2	250.2	9.758	268.1	59	205	
300	318	±1.0	9.2	15.1	+1.4	298.2	13.701	319.3	62	225	
350	370	±1.2	10.5		+1.4	347.6	18.051	371.5	67	240	
400	420	±1.3	11.8		+1.6	394.8	23.059	421.7	72	260	
450	470	±1.5	13.2		+1.8	441.8	28.875	471.9	77	285	
500	520	±1.6	14.6		+2.0	488.8	35.346	522.1	82	305	
600	630	±3.2	17.8		+2.8	591.6	52.679	633.8	93	355	

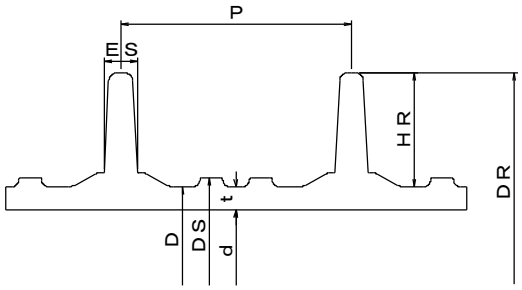
注　1）平均外径の許容差とは、任意断面における直角二方向以上の外径測定値の平均値（平均外径）との差をいう。

2）内径は、管の厚さをｔ（最小）+許容差÷２として算出したものである。

3）表中の１m当りの質量は、密度１．４３g/cm3で算出したものである。

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（片受け直管）規格図（JSWAS K-13）





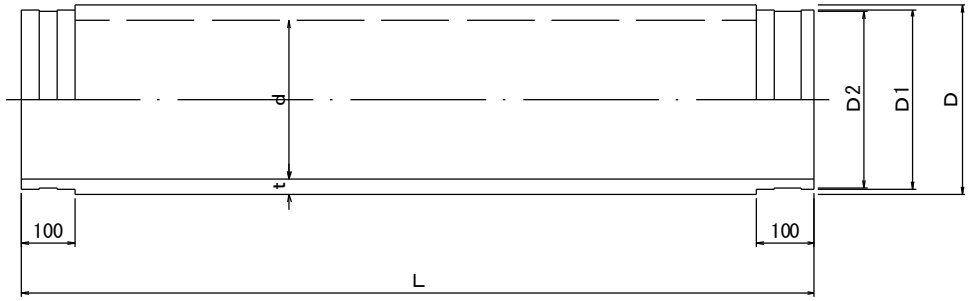
寸　法　表

（単位：mm）

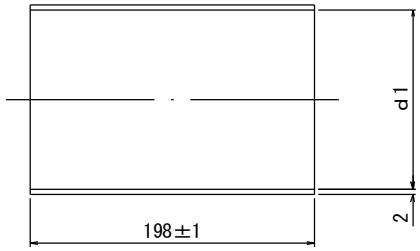
呼び径	シール外径ＤＳ 基準寸法	シール外径ＤＳ 許容差	厚さｔ 最小	厚さｔ 許容差	リブ間隔Ｐ 基準寸法	リブ間隔Ｐ 許容差	標準値 外径 Ｄ	標準値 リブ外径 ＤＲ	標準値 リブ高さ ＨＲ	標準値 リブ幅 ＥＳ	近似内径 ｄ（参考）	1m当りの重量(kg)（参考）	受口内径 ｄ1（最小）	接合長さ ℓ0（最小）	受口長さ ℓ（標準値）	Ｌ
150	157.5	±0.6	2.4	+0.8	19.1	±0.6	155.5	171.0	7.7	3.1	150	3.000	90	100	61.3	4000 +30 −10
200	207.7	±0.7	2.4		25.4	±0.8	205.5	228.8	11.6	3.6	200	4.350	100	115	61.9	
250	258.5	±0.9	2.7		30.5	±0.9	256.1	286.2	15.0	4.4	250	6.380	115	140	69.2	
300	309.7	±1.0	3.0	+1.2	38.1	±1.1	307.1	343.6	18.2	5.4	300	9.020	135	170	77.8	
350	360.2	±1.1	3.1		38.1	±1.1	357.4	400.6	21.6	5.9	350	12.030	135	170	77.8	
400	411.0	±1.3	3.3	+1.4	38.1	±1.1	407.6	448.4	20.4	5.8	400	13.860	135	170	77.8	
450	461.8	±1.4	3.5		38.1	±1.1	457.8	502.0	22.1	6.8	450	17.360	135	170	77.8	

下水道推進工法用硬質塩化ビニル管（SUSカラー付直管）規格図（JSWAS K-6）

標　準　管



カ　ラ　ー



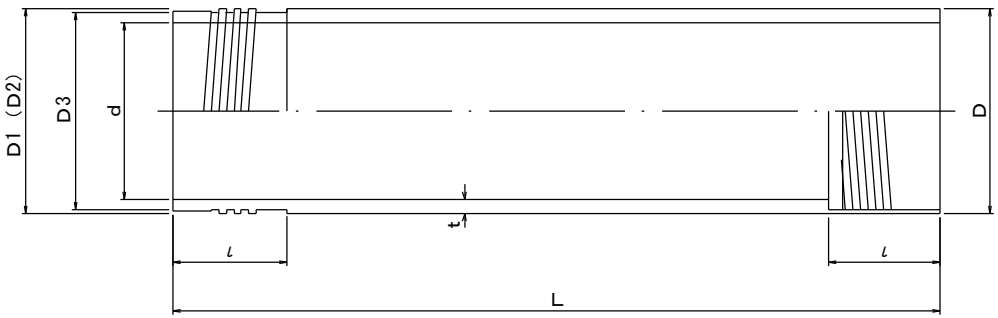
寸　法　表

（単位：mm）

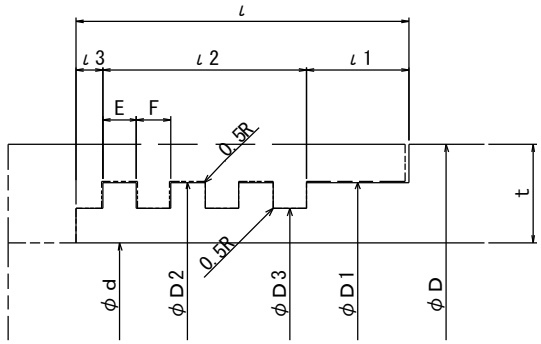
呼び径	D	D1	D2	d（参考）	d1	t	L	1m当りの重量（kg）参考
200	216±0.7	$211^{+0.6}_{-0.3}$	$205^{+0.6}_{-0.3}$	194	212.3±0.5	$10.3^{+1.4}_{0}$	1000±3 2000±5	10.129
250	267±0.9	$262^{+0.6}_{-0.3}$	$256^{+0.6}_{-0.3}$	240	263.3±0.5	$12.7^{+1.8}_{0}$		15.481
300	318±1.0	$313^{+0.6}_{-0.3}$	$307^{+0.6}_{-0.3}$	286	314.3±0.5	$15.1^{+2.2}_{0}$		21.962
350	370±1.2	$365^{+1.0}_{-0.5}$	$359^{+1.0}_{-0.5}$	339	366.7±0.5	$14.3^{+2.0}_{0}$		24.378
400	420±1.3	$415^{+1.0}_{-0.5}$	$409^{+1.0}_{-0.5}$	385	416.7±0.5	$16.2^{+2.2}_{0}$		31.294
450	470±1.5	$465^{+1.0}_{-0.5}$	$459^{+1.0}_{-0.5}$	431	466.7±0.5	$18.1^{+2.6}_{0}$		39.267

下水道推進工法用硬質塩化ビニル管（スパイラル継手付直管）規格図（JSWAS K-6）

標　準　管



接 続 部 詳 細 図



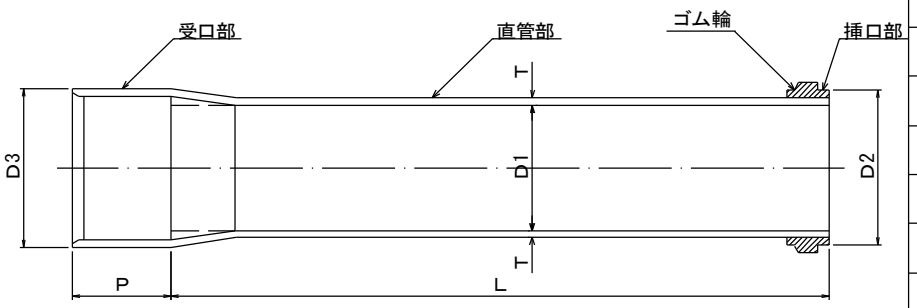
寸　法　表

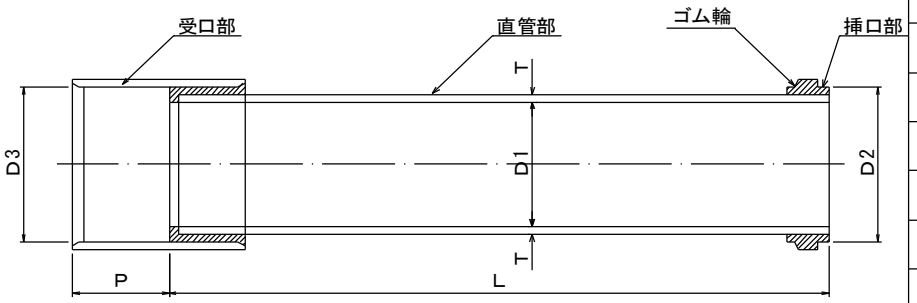
（単位：mm）

呼び径		D	D1	D2	D3	d（参考）	ℓ	ℓ（参考）	ℓ（参考）	ℓ（参考）	E	F	t	L	1m当りの重量（kg）参考
200	受口部	216.0±0.7	208.2±0.3	208.2±0.3	203.2±0.3	194	$64^{+1.0}_{-1.0}$	20	40	5	7.00	6.75	$10.3^{+1.4}_{0}$	800±3 1000±3 2000±5	10.129
	差込部		207.6±0.3	207.2±0.3	202.2±0.3		$65^{+1.0}_{0}$				6.75	7.00			
250	受口部	267.0±0.9	258.6±0.4	258.6±0.4	251.4±0.4	240	$64^{+1.0}_{-1.0}$				7.00	6.75	$12.7^{+1.8}_{0}$		15.481
	差込部		257.8±0.4	257.4±0.4	250.2±0.4		$65^{+1.0}_{0}$				6.75	7.00			
300	受口部	318.0±1.0	307.8±0.4	307.8±0.4	299.4±0.4	286	$64^{+1.0}_{-1.0}$				7.00	6.75	$15.1^{+2.2}_{0}$		21.962
	差込部		307.0±0.4	306.6±0.4	298.2±0.4		$65^{+1.0}_{0}$				6.75	7.00			
350	受口部	370.0±1.2	362.5±0.5	362.4±0.5	353.8±0.5	339	$79^{+1.0}_{-1.0}$	25		15	7.00	6.75	$14.3^{+2.0}_{0}$		24.378
	差込部		361.5±0.5	361.0±0.5	352.4±0.5		$80^{+1.0}_{0}$				6.75	7.00			
400	受口部	420.0±1.3	411.6±0.5	411.5±0.5	401.9±0.5	385	$79^{+1.0}_{-1.0}$				7.00	6.75	$16.2^{+2.2}_{0}$		31.294
	差込部		410.6±0.5	410.1±0.5	400.5±0.5		$80^{+1.0}_{0}$				6.75	7.00			
450	受口部	470.0±1.5	460.5±0.5	460.4±0.5	449.8±0.5	431	$79^{+1.0}_{-1.0}$				7.00	6.75	$18.1^{+2.6}_{0}$		39.267
	差込部		459.5±0.5	459.0±0.5	448.4±0.5		$80^{+1.0}_{0}$				6.75	7.00			

注）D、D1、D2及びD3は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値又は円周測定値を円周率3.142で除した値をいう。

下水道用強化プラスチック複合管（Ｂ形管）規格図（JSWAS K-2）





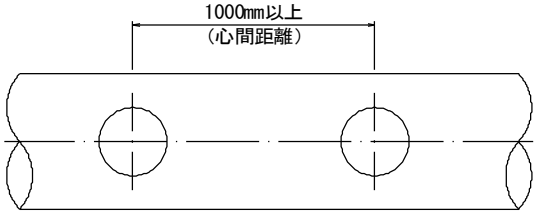
（単位：mm）

呼び径	厚さ		有効長		内径		挿口部 外径		受口部 内径		受口部 長さ		参考重量
	T	許容差	L	許容差	D1	許容差	D2	許容差	D3	許容差	P	許容差	(kg/本)
200	7.0	＋3 －0	4000	＋30 －10	200	±1.5	229	±1.0	230.5	±1.0	140	±5	39
250	7.5				250		280		281.5				52
300	8.0				300		331		332.5		150		66
350	8.5				350		382		383.5				82
400	9.0				400		434		435.5		160		98
450	9.5				450		485		486.5				118
500	10.0				500		541		542.5		200		140
600	12.0	＋5 －0			600	±3.0	645	±1.5	646.5	±1.5		±10	202
700	14.0				700		749		750.5				274
800	16.0				800		856		857.5		220		359
900	18.0				900		960		961.5				454
1000	20.0				1000		1068		1069.5				563
1100	22.0				1100		1172		1173.5				682
1200	24.0				1200		1276		1277.5				811
1350	27.0				1350		1432		1433.5				1030
1500	30.0				1500		1588		1589.5		250		1280
1650	33.0	＋7 －0			1650		1748	±2.0	1749.5	±2.0	300		1570
1800	36.0				1800		1904		1905.5				1870
2000	40.0				2000		2112		2113.5		330		2320
2200	44.0				2200		2320		2321.5				2810
2400	48.0				2400		2532		2533.5		400		3400
2600	52.0				2600		2740		2741.5				3990
2800	56.0				2800		2948		2949.5		430		4660
3000	60.0				3000		3156		3157.5				5350

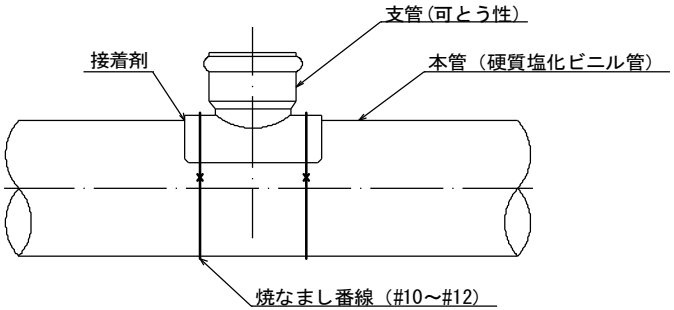
注　１）破線で示す形状であってもよい。
　　２）有効長（Ｌ）は、4000mm以下の他の長さとすることができる。
　　３）内径（Ｄ1）及び受口内径（Ｄ3）は、任意箇所における相互に等間隔な、２方向以上の内径測定値の算術平均値とする。
　　４）挿入部外径（Ｄ2）は、任意箇所における相互に等間隔な、２方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円周率3.1416で除した値とする。

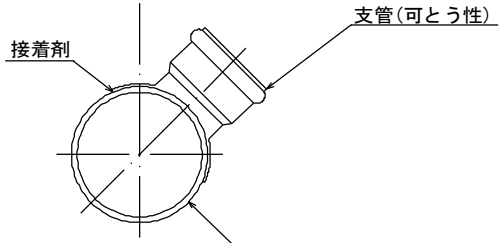
支管取付方法詳細図

せん孔部心間距離



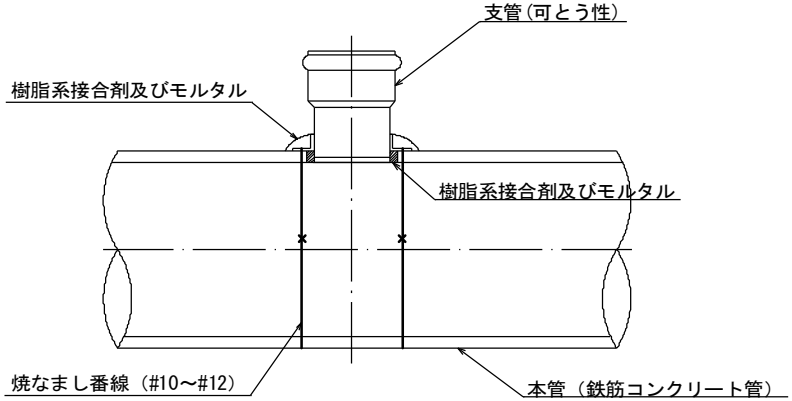
硬質塩化ビニル管への支管の接合

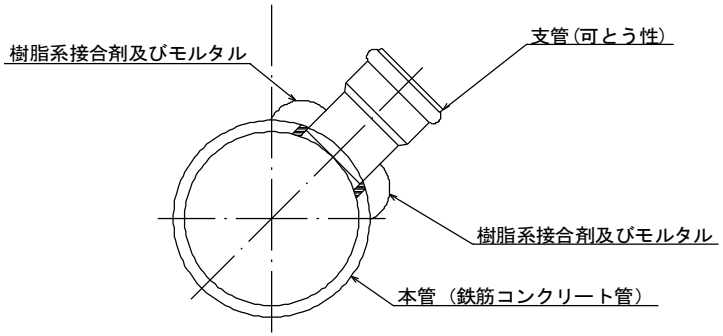




※ 水位が高い場合止水性を考慮すること

鉄筋コンクリート管への支管の接合



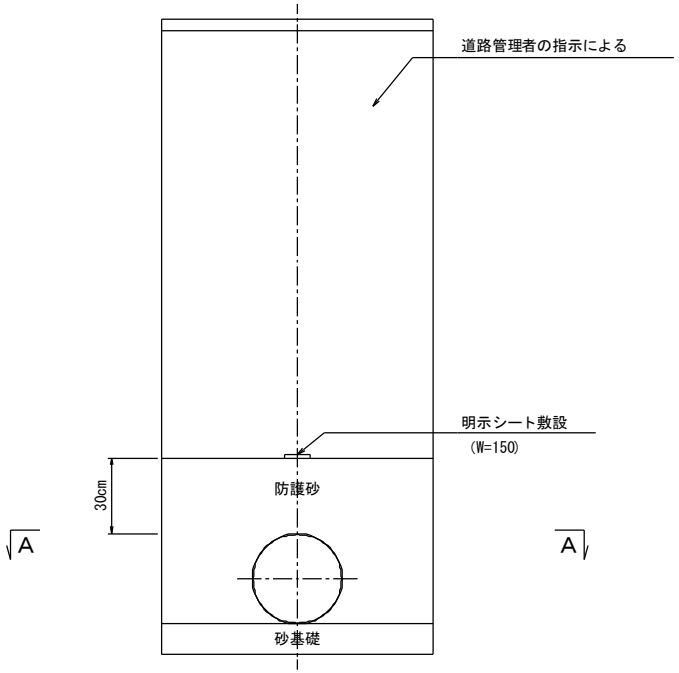


注　1）可とう性支管においてワンタッチ式の支管についても使用を可とする。

明示シート詳細図

（汚水・雨水）

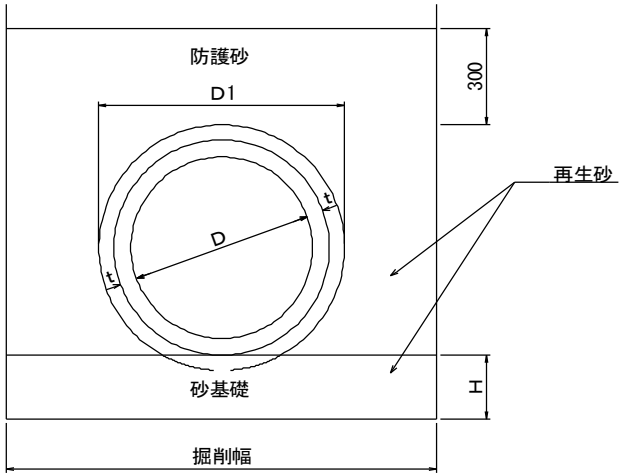
断 面 図



（例）明示シート　　折込率：シングルもしくは2倍折込　色：茶　文字：白

注　1）明示シートは管基礎（管防護）層上部に連続して敷設する。

鉄筋コンクリート管（砂基礎）構造図



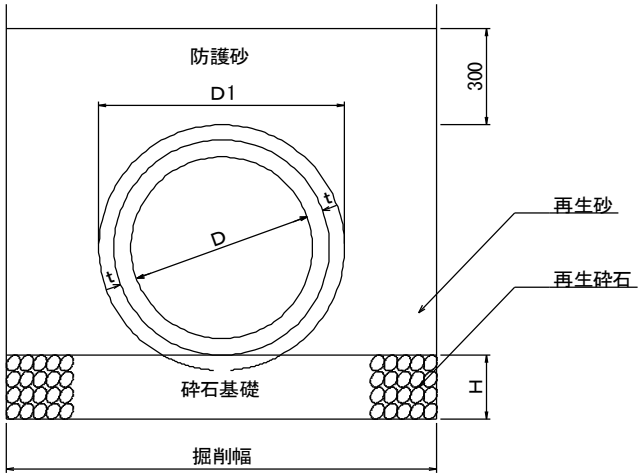
寸　法　表

（単位：mm）

内径 D	厚さ t	管最外径 D1	基礎厚 H
200	27	316	100
250	28	370	100
300	30	424	100
350	32	482	100
400	35	544	110
450	38	606	130
500	42	672	140
600	50	804	170
700	58	936	190
800	66	1068	220
900	75	1204	250
1000	82	1332	270
1100	88	1458	300
1200	95	1586	320
1350	103	1768	360

注１）基礎厚は0.20×D1とした。（cm単位切上げ。最小100mm）
（「下水道施設計画・設計指針と解説」より）
２）本表は良質土に採用する。（普通土、硬質土）
３）ただし、構造計算を行う場合は寸法に限らない。

鉄筋コンクリート管（砕石基礎）構造図



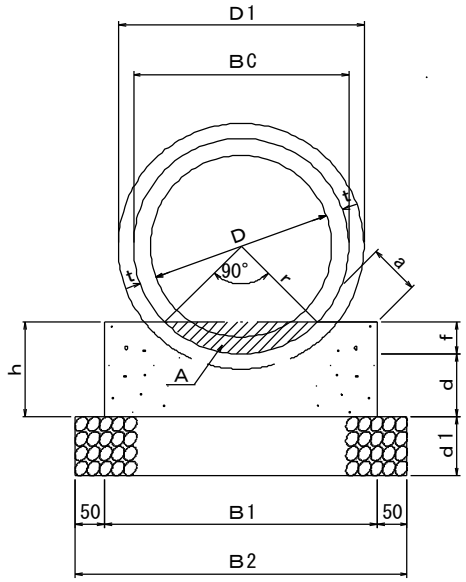
寸　法　表

（単位：mm）

内径 D	厚さ t	管最外径 D1	基礎厚 H
200	27	316	100
250	28	370	100
300	30	424	100
350	32	482	100
400	35	544	110
450	38	606	130
500	42	672	140
600	50	804	170
700	58	936	190
800	66	1068	220
900	75	1204	250
1000	82	1332	270
1100	88	1458	300
1200	95	1586	320
1350	103	1768	360

注１）基礎厚は0.20×D1とした。（cm単位切上げ。最小100mm）
（「下水道施設計画・設計指針と解説」より）
２）本表は良質土に採用する。（普通土、硬質土）
３）ただし、構造計算を行う場合は寸法に限らない。

鉄筋コンクリート管（コンクリート基礎 90° 巻）構造図



$$A = \left(\frac{1}{4} \times \frac{\pi Bc^2}{4}\right) - \frac{r^2}{2}$$

材　料	形状規格	計　算　式
コンクリート	C-18-8	（B1× h－A） ×10.00
砕石基礎	40～0	（B2× d1） ×10.00
型枠		（h × 2） ×10.00

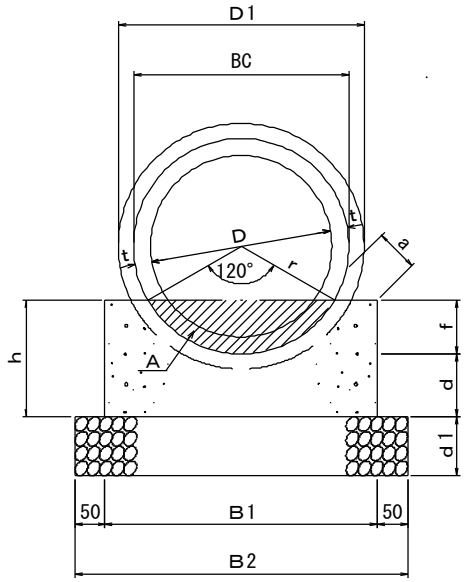
注　本表は良質土に採用する。（普通土、硬質土）

寸　法　表

（10m当り）

	内径 D	厚さ t	管外径 BC	ソケット外径 D1	a	d	砕石厚 d 1	f	Co厚 h	基礎幅 B1	基礎幅 B2	管控除 A	Co量 m3/10m	砕石量 m3/10m	型枠量 m2/10m
B形管	200	27	254	316	100	100	100	38	138	380	480	0.0046	0.48	0.48	2.76
	250	28	306	370	100	100	100	45	145	420	520	0.0067	0.54	0.52	2.90
	300	30	360	424	100	100	100	53	153	460	560	0.0092	0.61	0.56	3.06
	350	32	414	482	100	100	100	61	161	500	600	0.0122	0.68	0.60	3.22
	400	35	470	544	150	100	100	69	169	640	740	0.0158	0.92	0.74	3.38
	450	38	526	606	150	150	150	78	228	680	780	0.0197	1.35	1.17	4.56
	500	42	584	672	150	150	150	86	236	720	820	0.0243	1.46	1.23	4.72
	600	50	700	804	200	150	150	103	253	900	1000	0.0350	1.93	1.50	5.06
	700	58	816	936	200	150	150	120	270	980	1080	0.0475	2.17	1.62	5.40
	800	66	932	1068	250	200	150	137	337	1160	1260	0.0620	3.29	1.89	6.74
	900	75	1050	1204	250	200	150	154	354	1250	1350	0.0787	3.64	2.03	7.08
	1000	82	1164	1332	250	200	150	171	371	1330	1430	0.0967	3.97	2.15	7.42
推進管	250	55	360	360	100	100	100	53	153	460	560	0.0092	0.61	0.56	3.06
	300	57	414	414	100	100	100	61	161	500	600	0.0122	0.68	0.60	3.22
	350	60	470	470	100	100	100	69	169	540	640	0.0158	0.75	0.64	3.38
	400	63	526	526	100	150	150	78	228	580	680	0.0197	1.13	1.02	4.55
	450	67	584	584	100	150	150	86	236	620	720	0.0240	1.22	1.08	4.72
	500	70	640	640	100	150	150	94	244	660	760	0.0292	1.32	1.14	4.88
	600	80	760	760	150	150	150	112	262	840	940	0.0412	1.79	1.41	5.24
	700	90	880	880	150	150	150	129	279	930	1030	0.0553	2.04	1.55	5.58
	800	80	960	960	150	200	150	141	341	980	1080	0.0658	2.68	1.62	6.82
	900	90	1080	1080	200	200	150	159	359	1170	1270	0.0832	3.37	1.91	7.18
	1000	100	1200	1200	200	200	150	176	376	1250	1350	0.1027	3.67	2.03	7.52

鉄筋コンクリート管（コンクリート基礎 120° 巻）構造図



$$A = \frac{r^2}{2} \times \left(\frac{120\pi}{180} - \sin 120\right)$$

材　料	形状規格	計　算　式
コンクリート	C-18-8	（B1×h－A）×10.00
砕石基礎	40～0	（B2×d1）×10.00
型枠		（h×2）×10.00

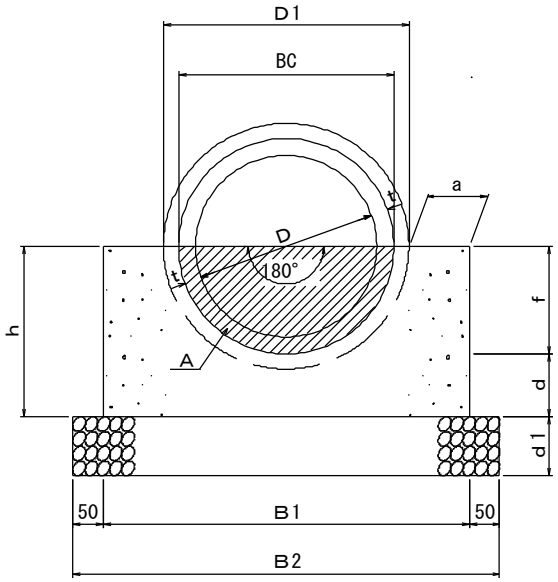
注　本表は良質土に採用する。（普通土、硬質土）

寸　法　表

（10m当り）

	内径 D	厚さ t	管外径 BC	ソケット外径 D1	a	d	砕石厚 d1	f	Co厚 h	基礎幅 B1	基礎幅 B2	管控除 A	Co量 m3/10m	砕石量 m3/10m	型枠量 m2/10m
B形管	200	27	254	316	100	100	100	64	154	420	520	0.0099	0.59	0.52	3.28
	250	28	306	370	100	100	100	77	177	470	570	0.0144	0.69	0.57	3.54
	300	30	360	424	100	100	100	90	190	520	620	0.0199	0.79	0.62	3.80
	350	32	414	482	100	100	100	104	204	560	660	0.0263	0.88	0.66	4.08
	400	35	470	544	100	100	100	118	218	610	710	0.0339	0.99	0.71	4.36
	450	38	526	606	100	150	150	132	282	660	760	0.0425	1.44	1.14	5.64
	500	42	584	672	100	150	150	146	296	710	810	0.0524	1.58	1.22	5.92
	600	50	700	804	100	150	150	175	325	810	910	0.0752	1.88	1.37	6.50
	700	58	816	936	150	150	150	204	354	1010	1110	0.1022	2.55	1.67	7.08
	800	66	932	1068	150	200	150	233	433	1110	1210	0.1334	3.47	1.82	8.66
	900	75	1050	1204	150	200	150	263	463	1210	1310	0.1693	3.91	1.97	9.26
	1000	82	1164	1332	200	200	150	291	491	1410	1510	0.2080	4.84	2.27	9.82
推進管	250	55	360	360	100	100	100	90	190	520	620	0.0199	0.79	0.62	3.80
	300	57	414	414	100	100	100	104	204	560	660	0.0263	0.88	0.66	4.08
	350	60	470	470	100	100	100	118	218	610	710	0.0339	0.99	0.71	4.36
	400	63	526	526	100	150	150	132	282	660	760	0.0425	1.44	1.14	5.64
	450	67	584	584	100	150	150	148	298	710	810	0.0520	1.16	1.22	5.96
	500	70	640	640	100	150	150	160	310	760	860	0.0629	1.73	1.29	6.20
	600	80	760	760	100	150	150	190	340	860	960	0.0887	2.04	1.44	6.80
	700	90	880	880	100	150	150	220	370	970	1070	0.1189	2.40	1.61	7.40
	800	80	960	960	100	200	150	240	440	1040	1140	0.1415	3.16	1.71	8.80
	900	90	1080	1080	100	200	150	270	470	1140	1240	0.1791	3.57	1.86	9.40
	1000	100	1200	1200	100	200	150	300	500	1240	1340	0.2211	3.99	2.01	10.00

鉄筋コンクリート管（コンクリート基礎 180° 巻）構造図



$$A = \frac{1}{2} \times \frac{\pi \cdot BC^2}{4}$$

材　料	形状規格	計　算　式
コンクリート	C-18-8	（B1×h－A）×10.00
砕石基礎	40～0	（B2×d1）×10.00
型枠		（h×2）×10.00

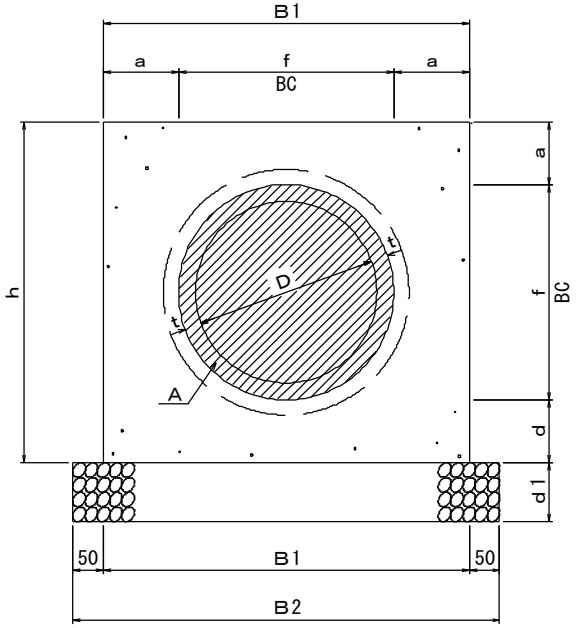
注　本表は良質土に採用する。（普通土、硬質土）

寸　法　表

（10m当り）

	内径 D	厚さ t	管外径 BC	ソケット外径 D1	a	d	砕石厚 d1	f	Co厚 h	基礎幅 B1	基礎幅 B2	管控除 A	Co量 m3/10m	砕石量 m3/10m	型枠量 m2/10m
B形管	200	27	254	316	100	100	100	127	227	460	560	0.0253	0.79	0.56	4.54
	250	28	306	370	100	100	100	153	253	510	610	0.0368	0.92	0.61	5.06
	300	30	360	424	100	100	100	180	280	560	660	0.0509	1.06	0.66	5.60
	350	32	414	482	100	100	100	207	307	620	720	0.0673	1.23	0.72	6.14
	400	35	470	544	100	100	100	235	335	670	770	0.0867	1.38	0.77	6.70
	450	38	526	606	100	150	150	263	413	730	830	0.1087	1.93	1.25	8.26
	500	42	584	672	100	150	150	292	442	790	890	0.1339	2.15	1.34	8.84
	600	50	700	804	100	150	150	350	500	900	1000	0.1924	2.58	1.50	10.00
	700	58	816	936	100	150	150	408	558	1020	1120	0.2615	3.08	1.68	11.16
	800	66	932	1068	100	200	150	466	666	1140	1240	0.3411	4.18	1.86	13.32
	900	75	1050	1204	100	200	150	525	725	1250	1350	0.4330	4.73	2.03	14.50
	1000	82	1164	1332	100	200	150	582	782	1370	1470	0.5321	5.39	2.21	15.64
推進管	250	55	360	360	100	100	100	180	280	560	660	0.0509	1.06	0.66	5.60
	300	57	414	414	100	100	100	207	307	620	720	0.0673	1.23	0.72	6.14
	350	60	470	470	100	100	100	235	335	670	770	0.0867	1.38	0.77	6.70
	400	63	526	526	100	150	150	263	413	730	830	0.1087	1.93	1.25	8.26
	450	67	584	584	100	150	150	292	442	790	890	0.1339	2.15	1.34	8.84
	500	70	640	640	100	150	150	320	470	840	940	0.1608	2.34	1.41	9.40
	600	80	760	760	100	150	150	380	530	960	1060	0.2268	2.82	1.59	10.60
	700	90	880	880	100	150	150	440	590	1080	1180	0.3041	3.33	1.77	11.80
	800	80	960	960	100	200	150	480	680	1160	1260	0.3619	4.27	1.89	13.60
	900	90	1080	1080	100	200	150	540	740	1280	1380	0.4580	4.89	2.07	14.80
	1000	100	1200	1200	100	200	150	600	800	1400	1500	0.5655	5.55	2.25	16.00

鉄筋コンクリート管（コンクリート基礎 360° 巻）構造図



$$A = \frac{\pi \cdot BC^2}{4}$$

材　料	形状規格	計　算　式
コンクリート	C-18-8	（B1×h－A）×10.00
砕石基礎	40～0	（B2×d1）×10.00
型枠		（h×2）×10.00

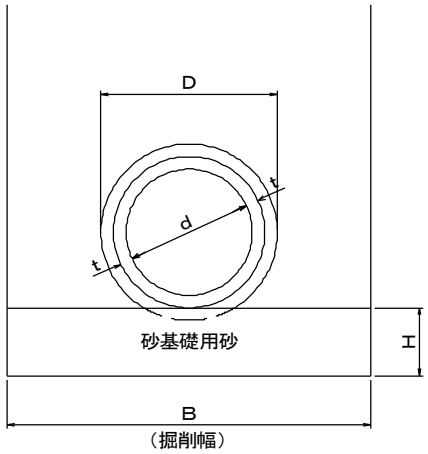
寸　法　表

（10m当り）

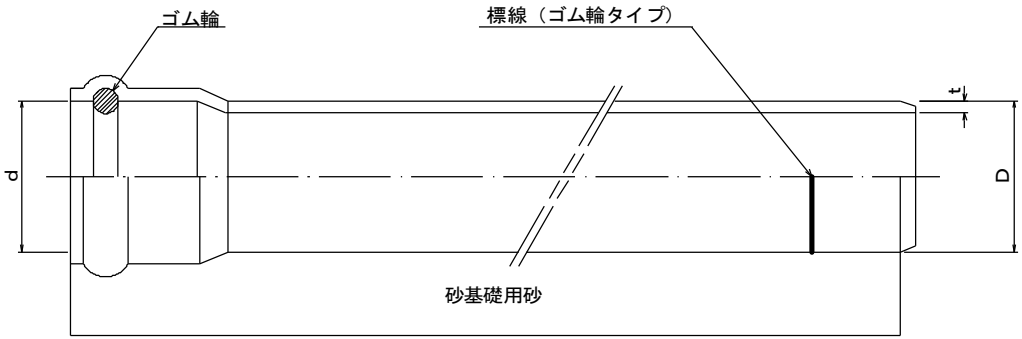
	内径 D	厚さ t	管外径 BC	ソケット外径 D1	a	d	砕石厚 d1	f	Co厚 h	基礎幅 B1	基礎幅 B2	管控除 A	Co量 m3/10m	砕石量 m3/10m	型枠量 m2/10m
B形管	200	27	254	316	100	100	100	254	460	460	560	0.0507	1.61	0.56	9.20
	250	28	306	370	100	100	100	306	510	510	610	0.0735	1.87	0.61	10.20
	300	30	360	424	100	100	100	360	560	560	660	0.1018	2.12	0.66	11.20
	350	32	414	482	100	100	100	414	620	620	720	0.1346	2.50	0.72	12.40
	400	35	470	544	100	100	100	470	670	670	770	0.1735	2.75	0.77	13.40
	450	38	526	606	100	150	150	526	780	730	830	0.2173	3.52	1.25	15.60
	500	42	584	672	100	150	150	584	840	790	890	0.2679	3.96	1.34	16.80
	600	50	700	804	100	150	150	700	950	900	1000	0.3848	4.70	1.50	19.00
	700	58	816	936	100	150	150	816	1070	1020	1120	0.5230	5.68	1.68	21.40
	800	66	932	1068	100	200	150	932	1240	1140	1240	0.6822	7.31	1.86	24.80
	900	75	1050	1204	100	200	150	1050	1350	1250	1350	0.8659	8.22	2.03	27.00
	1000	82	1164	1332	100	200	150	1164	1470	1370	1470	1.0641	9.50	2.21	29.40
推進管	250	55	360	360	100	100	100	360	560	560	660	0.1018	2.12	0.66	11.20
	300	57	414	414	100	100	100	414	620	620	720	0.1346	2.50	0.72	12.40
	350	60	470	470	100	100	100	470	670	670	770	0.1735	2.75	0.77	13.40
	400	63	526	526	100	150	150	526	780	730	830	0.2173	3.52	1.25	15.60
	450	67	584	584	100	150	150	584	840	790	890	0.2679	3.96	1.34	16.80
	500	70	640	640	100	150	150	640	890	840	940	0.3217	4.26	1.41	17.80
	600	80	760	760	100	150	150	760	1010	960	1060	0.4536	5.16	1.59	20.20
	700	90	880	880	100	150	150	880	1130	1080	1180	0.6082	6.12	1.77	22.60
	800	80	960	960	100	200	150	960	1260	1160	1260	0.7238	7.38	1.89	25.20
	900	90	1080	1080	100	200	150	1080	1380	1280	1380	0.9161	8.50	2.07	27.60
	1000	100	1200	1200	100	200	150	1200	1500	1400	1500	1.1310	9.69	2.25	30.00

硬質塩化ビニル管（砂基礎）構造図

横断面図



縦断面図



寸　法　表

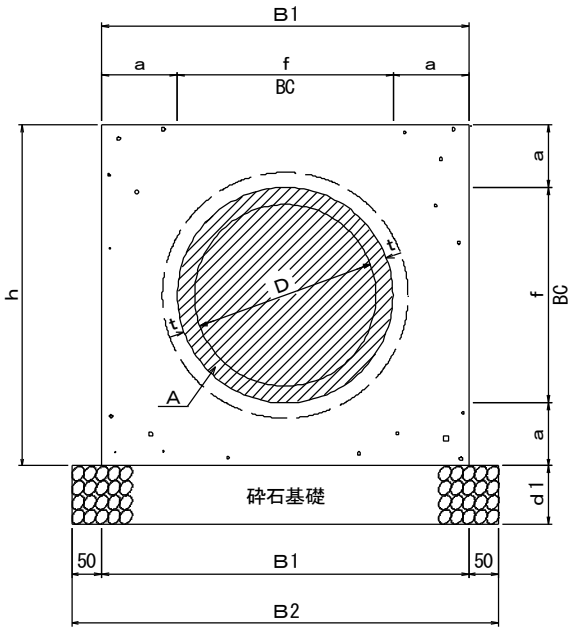
（単位：mm）

呼び径 d	管 厚 t	管外径 D	基礎厚 H
150	5.1	165	100
200	6.5	216	100
250	7.8	267	100
300	9.2	318	100
350	10.5	370	100
400	11.8	420	100
450	13.2	470	100
500	14.6	520	110
600	17.8	630	130

注１）基礎厚は0.20×D1とした。（cm単位切上げ。最小100mm）
（「下水道施設計画・設計指針と解説」より）
２）本表は良質土に採用する。（普通土、硬質土）
３）ただし、構造計算を行う場合は寸法に限らない。

※　厚木市排水施設構造等基準　第５条（７）

硬質塩化ビニル管（コンクリート基礎 360° 巻）構造図



$$A = \frac{\pi \cdot BC^2}{4}$$

材　料	形状規格	計　算　式
コンクリート	C-18-8	(B1×B1-A) ×10.00
砕石基礎	40～0	(B2×d1(d2)) ×10.00
型枠		(B1×2) ×10.00

寸　法　表

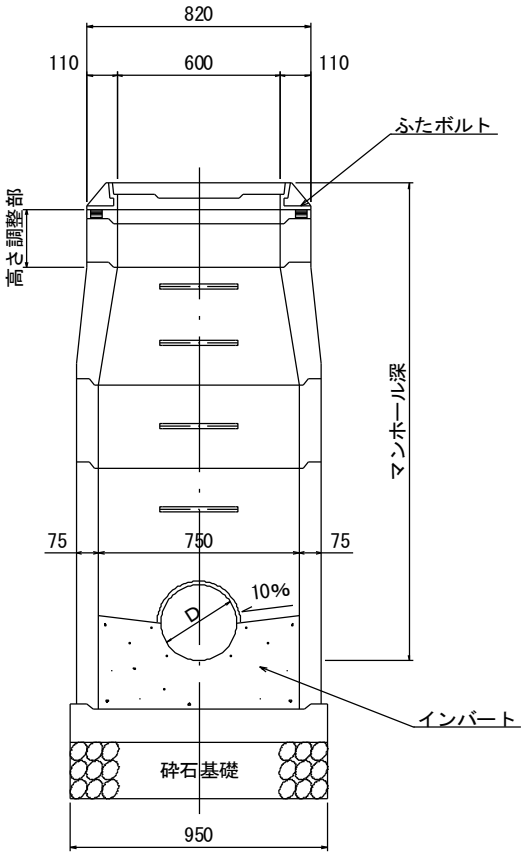
（10m当り）

	内径 D	厚さ t	管外径 BC	a	基礎厚		基礎高 h	基礎幅		管控除 A	コンクリート	砕石基礎		型枠
					d1	d2		B1	B2			d1	d2	
硬質塩化ビニル管	150	5.1	165	100	100	200	416	365	465	0.021	1.12	0.47	0.93	7.30
	200	5.5	216	100	100	200	416	416	516	0.037	1.36	0.52	1.03	8.32
	250	7.8	267	100	100	200	467	467	567	0.056	1.62	0.57	1.13	9.34
	300	9.2	318	100	100	200	518	518	618	0.079	1.89	0.62	1.24	10.36
	350	10.5	370	100	100	200	570	570	670	0.107	2.18	0.67	1.34	11.40
	400	11.8	420	100	100	200	620	620	720	0.138	2.46	0.72	1.44	12.40
	450	13.2	470	150	150	300	770	770	870	0.173	4.20	1.31	2.61	15.40
	500	14.6	520	150	150	300	820	820	920	0.212	4.60	1.38	2.76	16.40
	600	17.8	630	150	150	300	930	930	1030	0.312	5.53	1.55	3.09	18.60
	700	21.0	732	150	150	300	1032	1032	1132	0.421	6.44	1.70	3.40	20.64
	800	23.9	835	150	150	300	1135	1135	1235	0.547	7.41	1.85	3.71	22.70

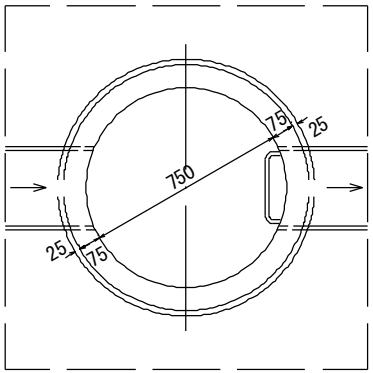
注　1．基礎については土質により次のとおりとする。
　　普通土、硬質土・・・d1を使用する。
　　軟弱土　　・・・d2を使用する。
　　2．活荷重等の影響を直接受ける場合は、構造計算により断面決定すること。

Ｏ号マンホール（内径７５０㎜）標準構造図

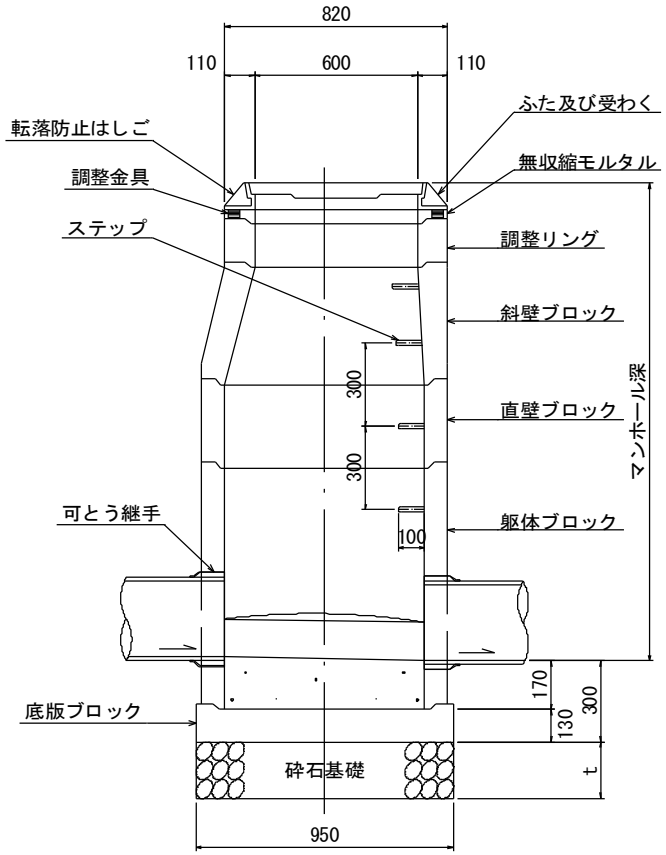
横 断 面 図



平 面 図



縦 断 面 図

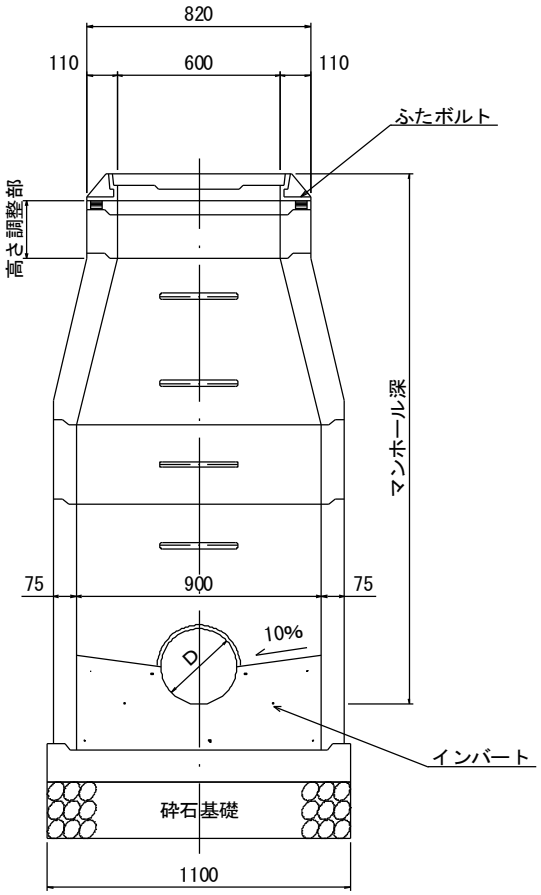


	砕石基礎(t)
粘　性　土	200㎜
砂　質　土	200㎜
礫　質　土	0㎜

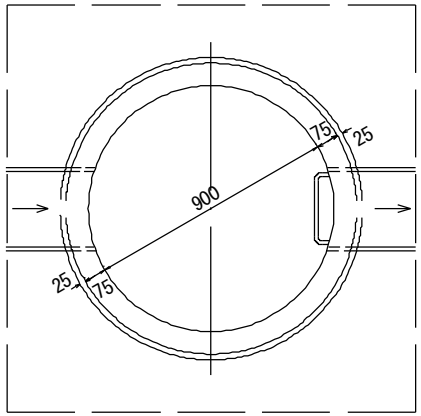
注１）軟弱地盤の基礎構造については別途考慮すること。
　２）高さ調整部(無収縮モルタル)については60㎜までの間とする。
　３）調整リングは100もしくは150を使用する。

１号マンホール（内径９００㎜）標準構造図

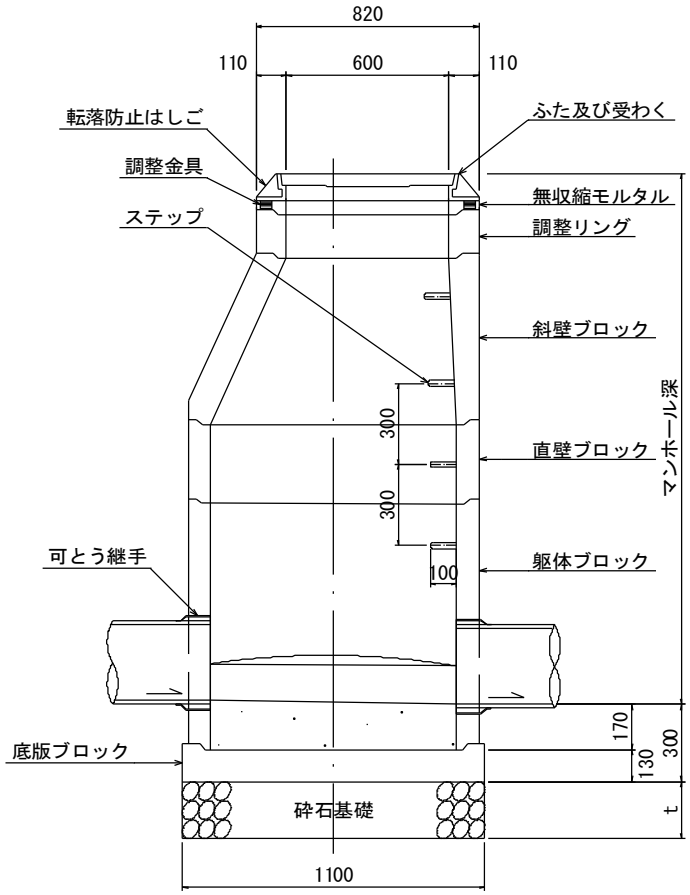
横 断 面 図



平 面 図



縦 断 面 図

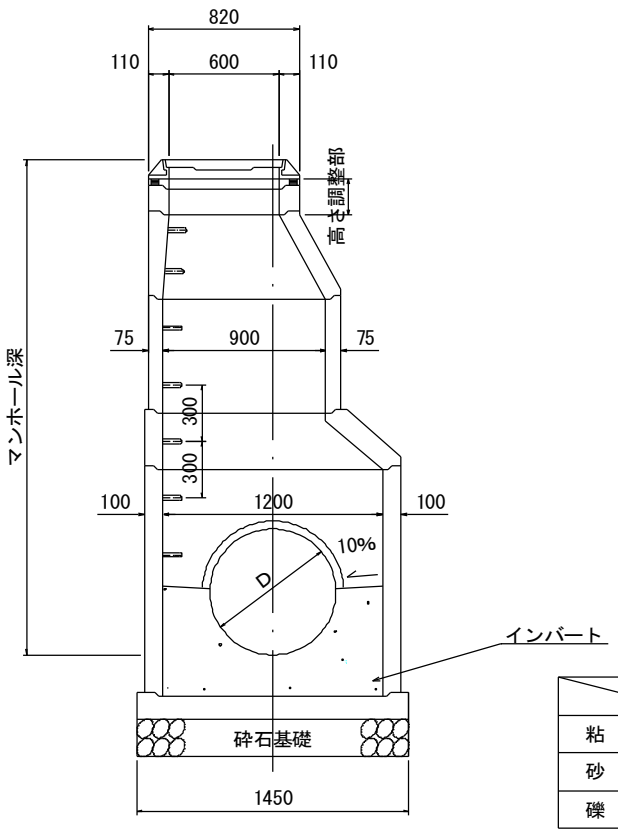


	砕石基礎(t)
粘　性　土	200㎜
砂　質　土	200㎜
礫　質　土	0㎜

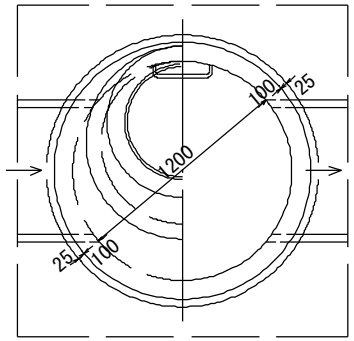
注１）軟弱地盤の基礎構造については別途考慮すること。
　２）高さ調整部(無収縮モルタル)については60㎜までの間とする。
　３）調整リングは100もしくは150を使用する。

２号マンホール（内径１２００㎜）標準構造図

横 断 面 図

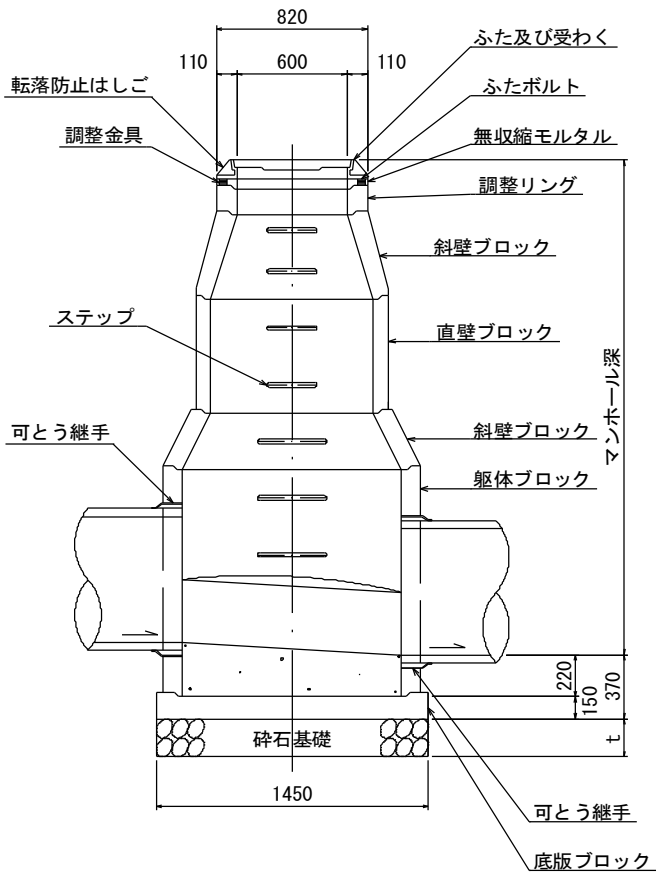


平 面 図



	砕石基礎(t)
粘　性　土	200㎜
砂　質　土	200㎜
礫　質　土	0㎜

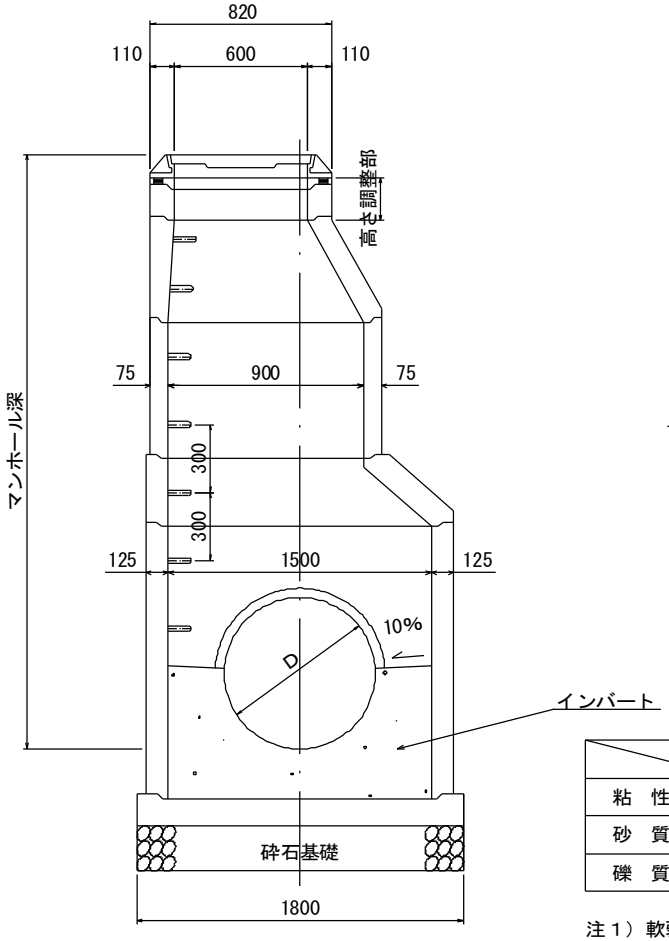
縦 断 面 図



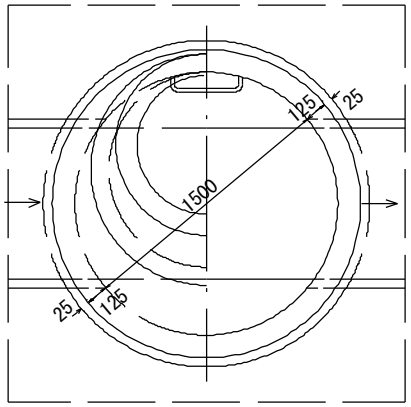
注１）軟弱地盤の基礎構造については別途考慮すること。
　２）高さ調整部(無収縮モルタル)については60㎜までの間とする。
　３）将来流入、サービス管の無い場合。
　４）深さ５ｍ以上のマンホールは深形タイプ（Ⅱ種）を使用する。
　５）流出管径500㎜未満の場合のステップの位置は、流出管上にくるものとする。
　６）調整リングは100もしくは150を使用する。
　７）マンホール形状については維持管理を考慮して決定する。

３号マンホール（内径１５００㎜）標準構造図

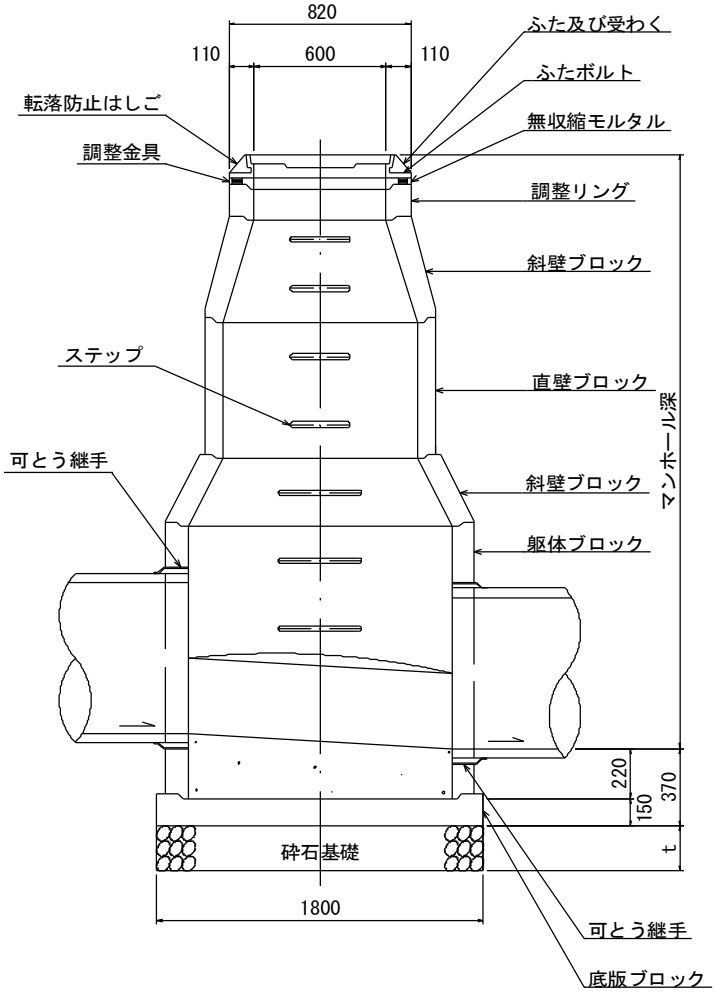
横断面図



平面図



縦断面図

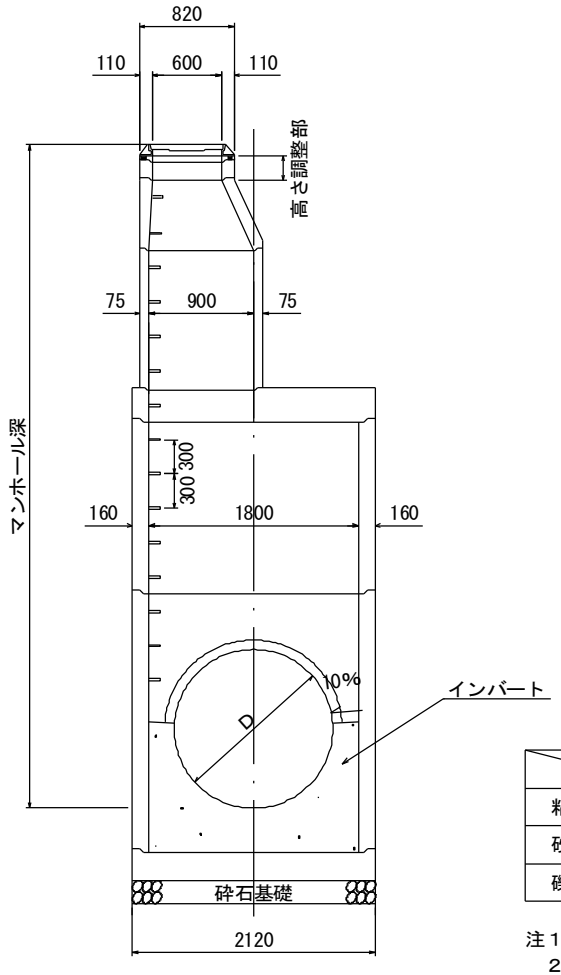


	砕石基礎(t)
粘　性　土	200㎜
砂　質　土	200㎜
礫　質　土	0㎜

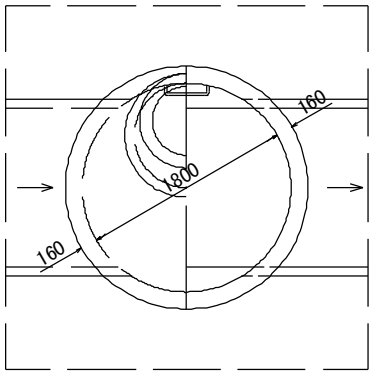
注１）軟弱地盤の基礎構造については別途考慮すること。
　２）高さ調整部(無収縮モルタル)については60㎜までの間とする。
　３）将来流入、サービス管の無い場合。
　４）深さ５ｍ以上のマンホールは深形タイプ（Ⅱ種）を使用する。
　５）流出管径500㎜未満の場合のステップの位置は、流出管上にくるものとする。
　６）マンホール形状については維持管理を考慮して決定する。

４号マンホール（内径１８００㎜）標準構造図

横断面図



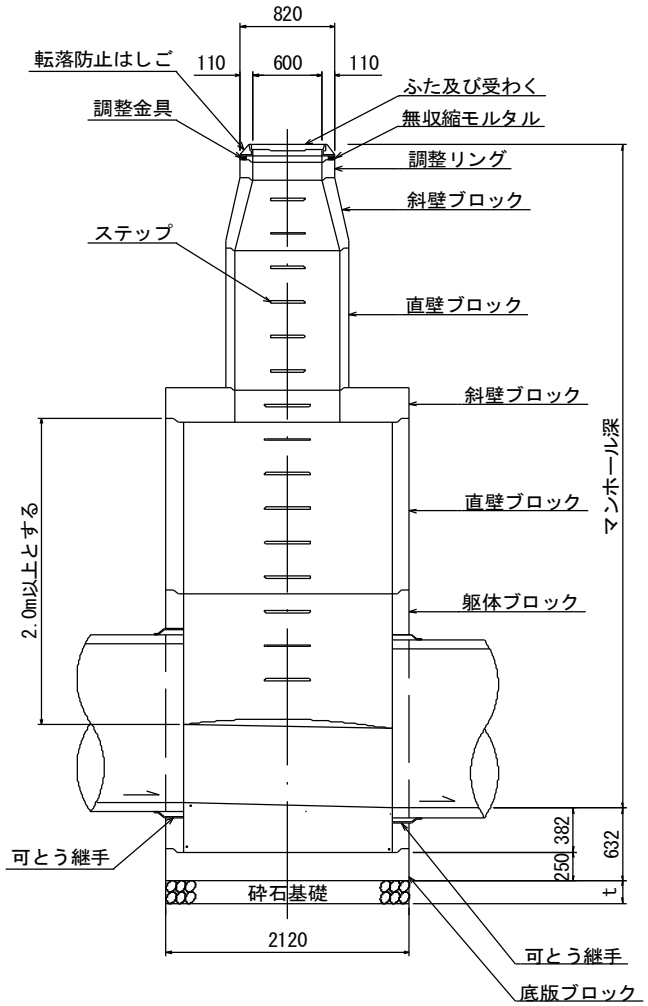
平面図



	砕石基礎(t)
粘　性　土	200㎜
砂　質　土	200㎜
礫　質　土	0㎜

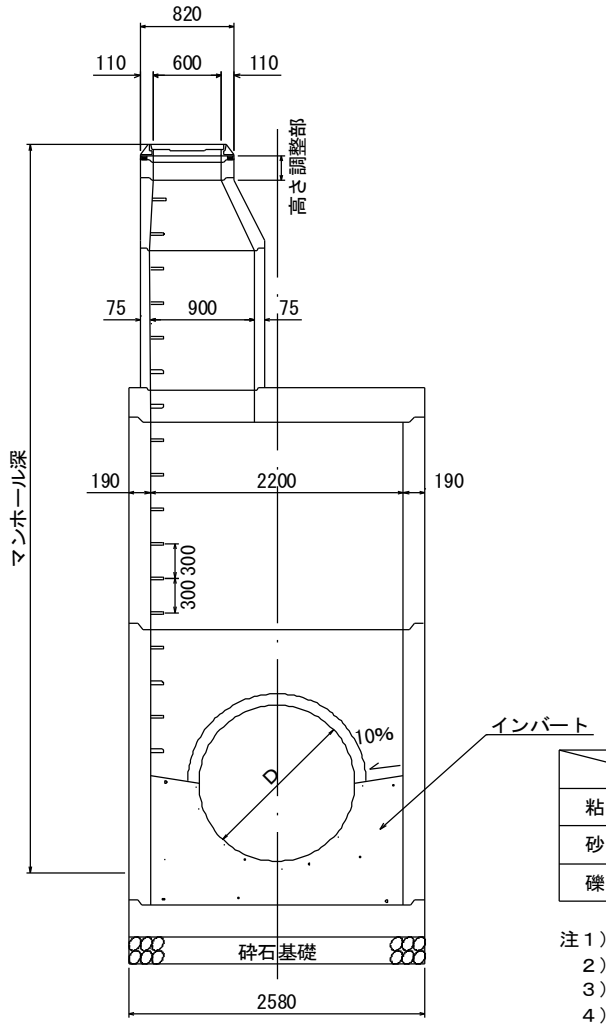
注１）軟弱地盤の基礎構造については別途考慮すること。
２）高さ調整部(無収縮モルタル)については60㎜までの間とする。
３）将来流入、サービス管の無い場合。
４）深さ５ｍ以上のマンホールは深形タイプ（Ⅱ種）を使用する。
５）調整リングは100もしくは150を使用する。
６）マンホール形状については維持管理を考慮して決定する。

縦断面図

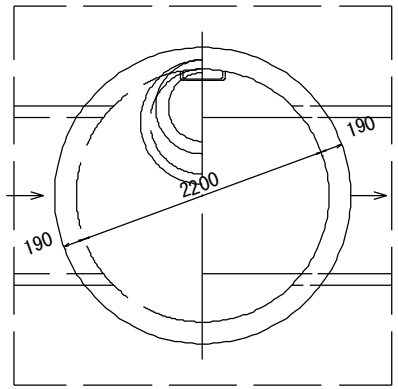


５号マンホール（内径２２００㎜）標準構造図

横断面図



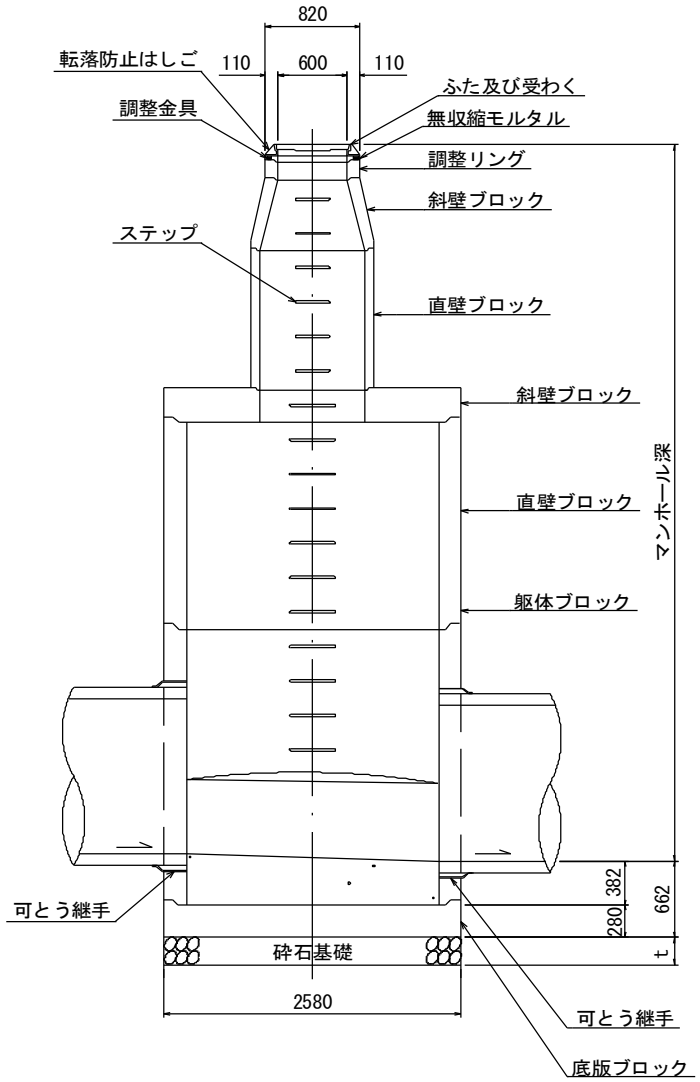
平面図



	砕石基礎(t)
粘　性　土	200㎜
砂　質　土	200㎜
礫　質　土	0㎜

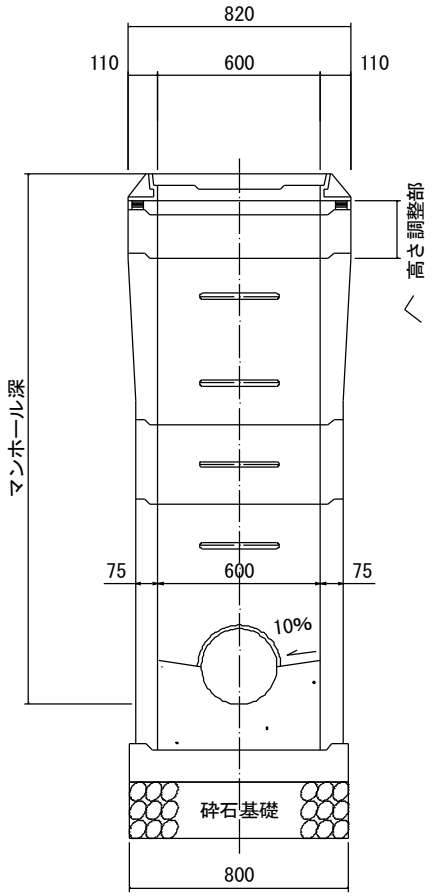
注１）軟弱地盤の基礎構造については別途考慮すること。
　２）高さ調整部(無収縮モルタル)については60㎜までの間とする。
　３）将来流入、サービス管の無い場合。
　４）深さ５ｍ以上のマンホールは深形タイプ（Ⅱ種）を使用する。
　５）調整リングは100もしくは150を使用する。
　６）マンホール形状については維持管理を考慮して決定する。

縦断面図

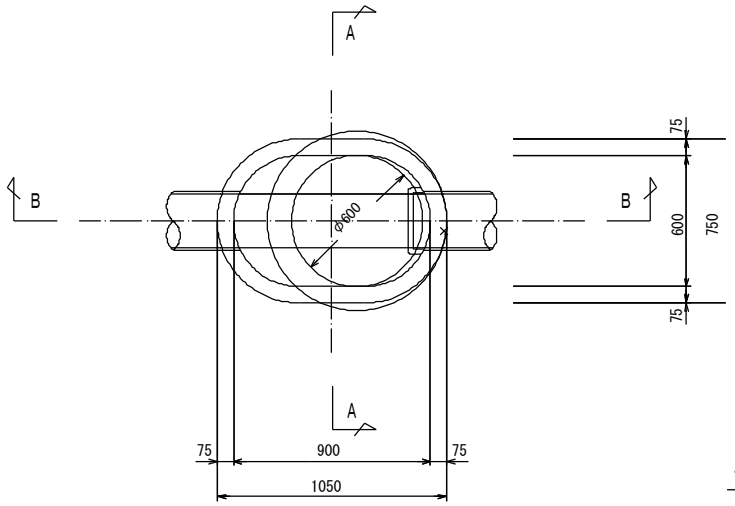


特１号マンホール（内径900×600）標準構造図

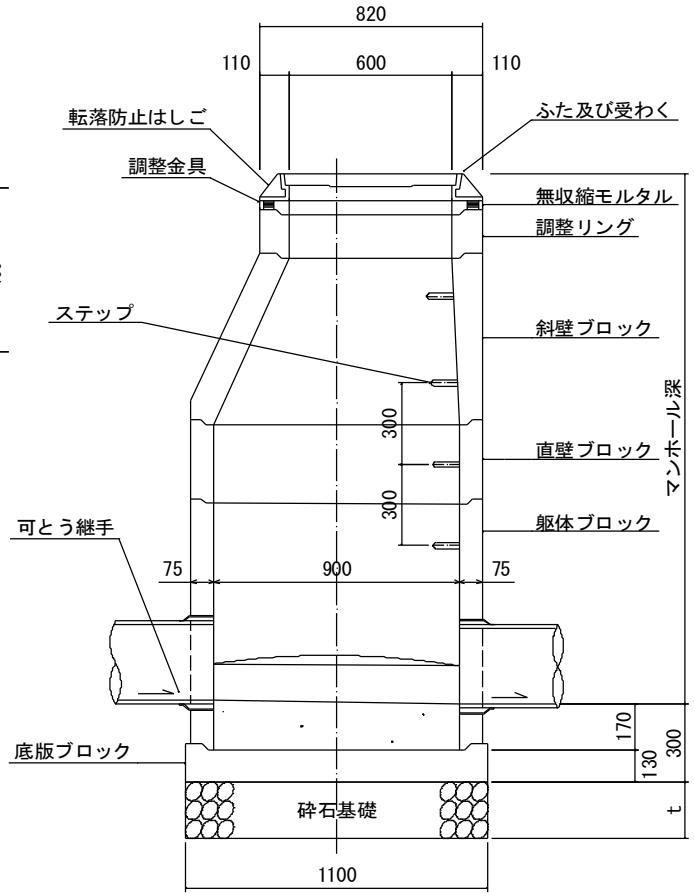
横断面図



平面図



縦断面図

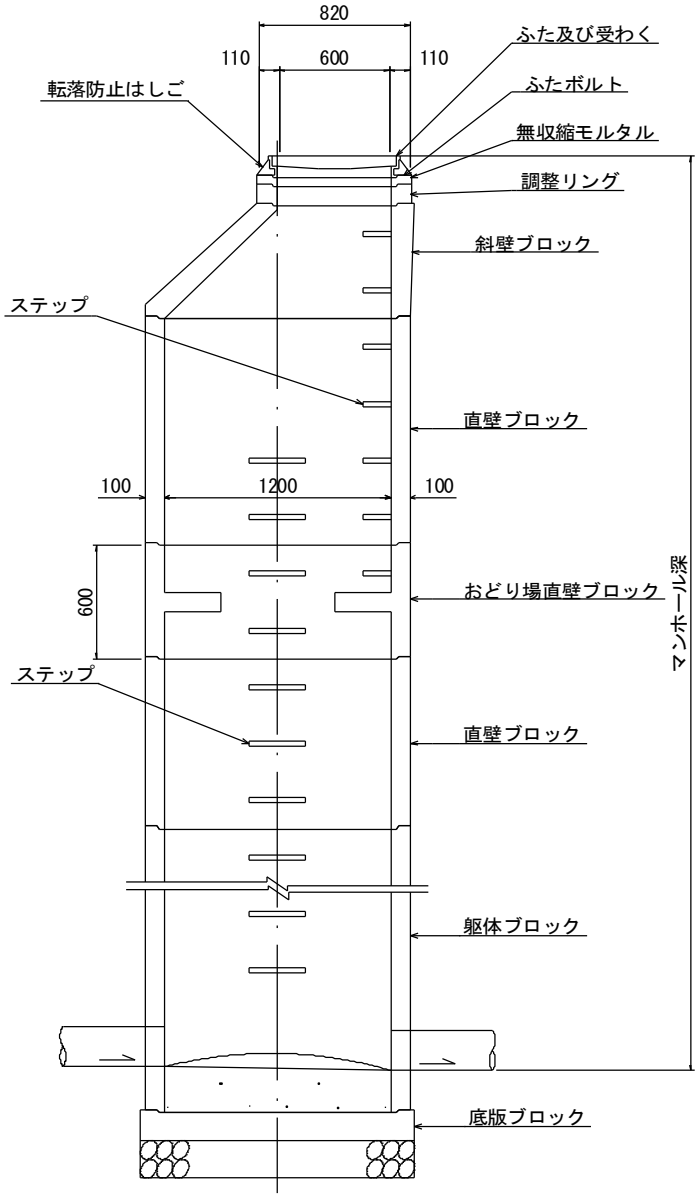


	砕石基礎(t)
粘　性　土	200mm
砂　質　土	200mm
礫　質　土	0mm

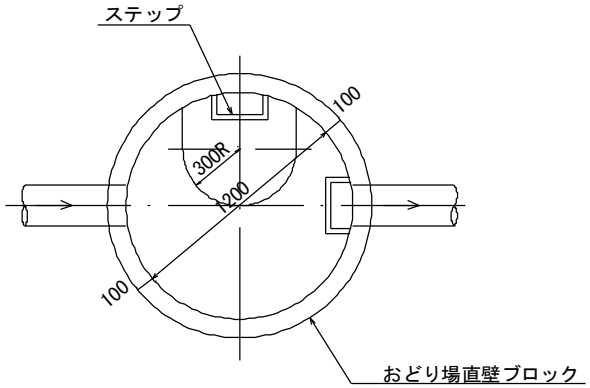
注１）軟弱地盤の基礎構造については別途考慮すること。
　２）高さ調整部(無収縮モルタル)については60mmまでの間とする。
　３）調整リングは100もしくは150を使用する。

おどり場直壁構造図（２号タイプ）

断　面　図

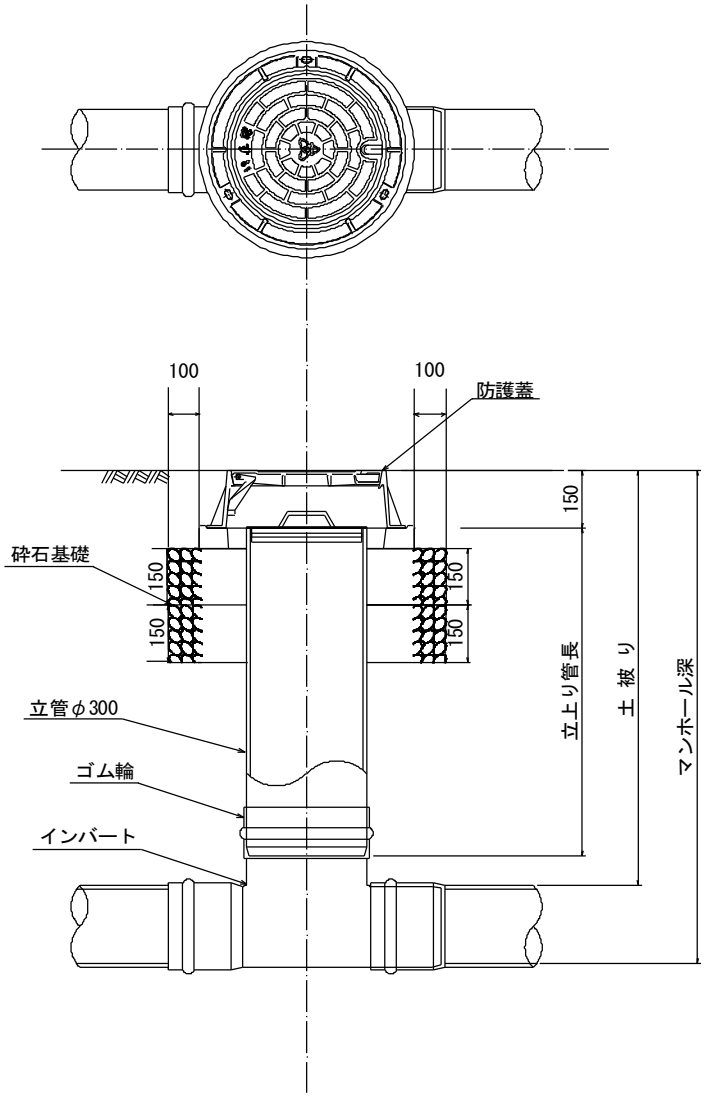


平　面　図

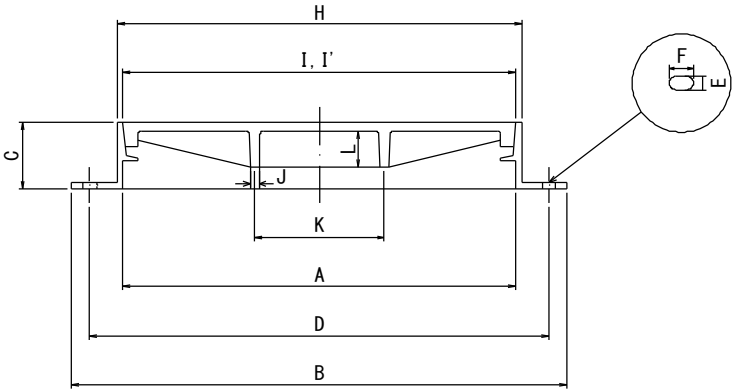


注　１）マンホールの深さが５ｍを超える場合は、原則として２号マンホール以上の大きさのマンホールを使用し、中間スラブを設置すること。
２）中間スラブの１段当りの高さは、原則として３ｍ以上５ｍ以下とすること。
３）中間スラブを設置するときは、原則として中間スラブ毎に足掛け金物の位置をずらすこと。ただし、やむを得ずこれが不可能な場合は、転落防止中ふたを設置しなければならない。

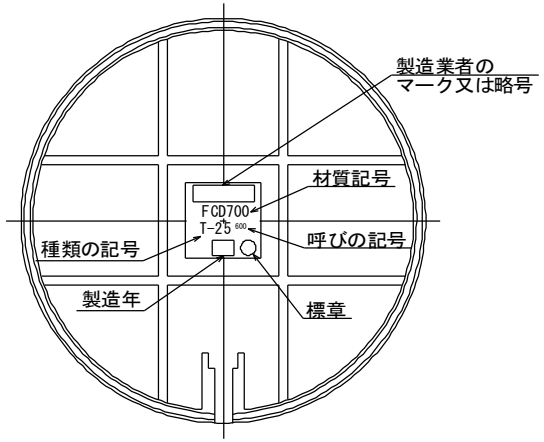
小型マンホール（塩ビ製）標準構造図



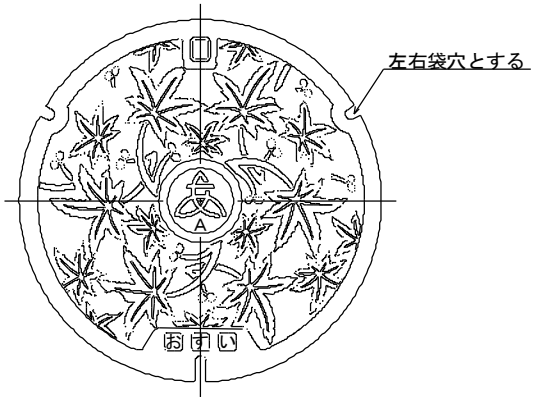
マンホールふたの主要寸法および許容差・デザイン

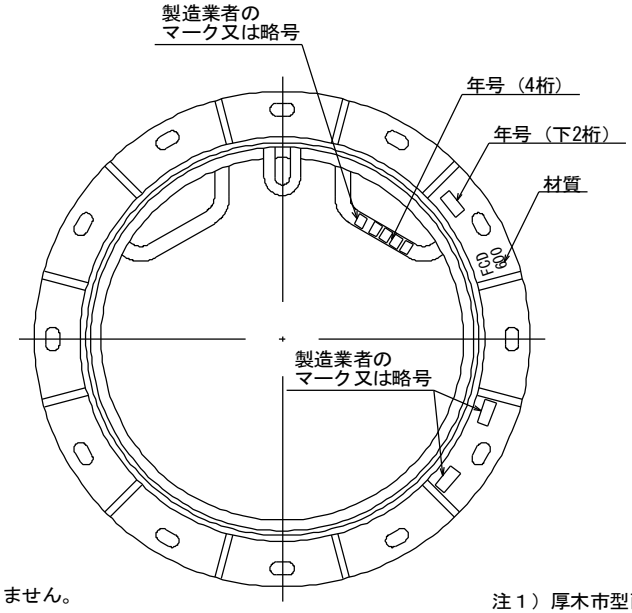


マンホールふたφ600の主要寸法測定箇所

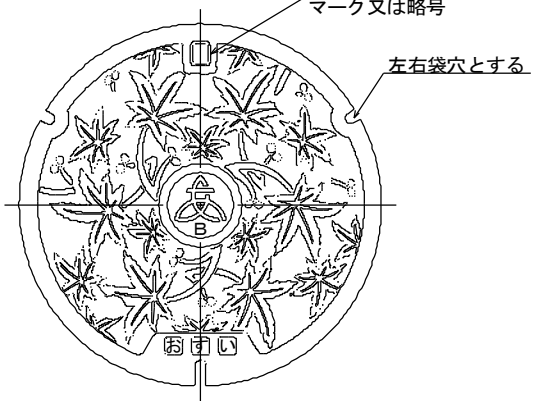


Ｔ－１４





Ｔ－２５



○ふた　（単位mm）

呼び	測定箇所	I	J	K	L		M
					T-25	T-14	
600	寸法	－	－	－	－	－	－
	許容差	±0.3	±2.2	±2.8	±2.0	±2.0	±2.1

○枠　（単位mm）

呼び	測定箇所	A	B	C	D	E	F	G	H	I'
600	寸法	600	820	110	760	22※	40※	－	－	－
	許容差	±3.5	±4.0	±2.5	±4.0	±1.6	±1.8	－	±4.0	±0.3

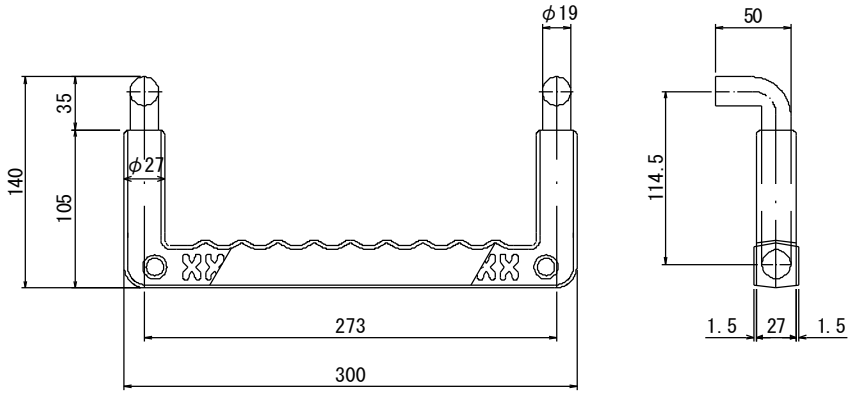
※標準寸法を示す。

本図は、鋳出し文字及び鋳出し配置関係を示すもので製品の形状を示すものではありません。

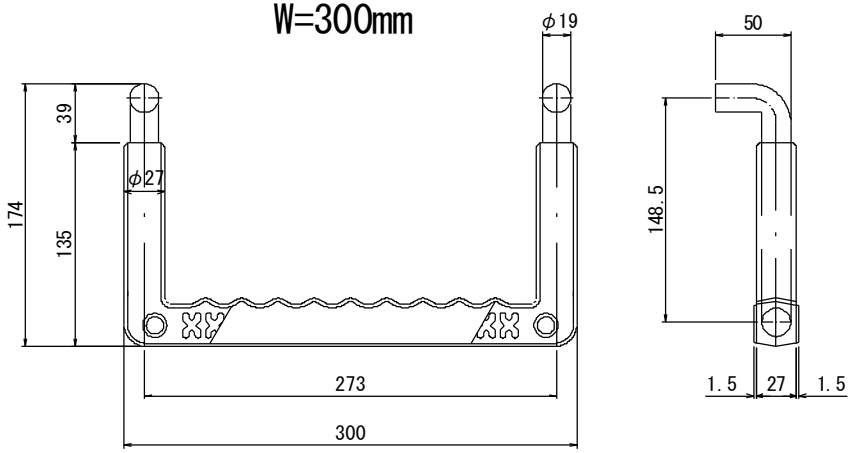
注１）厚木市型雨水マンホールふたは、表記の「おすい」を「雨水」とする。
　２）転落防止梯子付きとする。
　３）雨水マンホールについては空気穴付きのものを用いる。

足掛け金物詳細図（W=300・400mm）

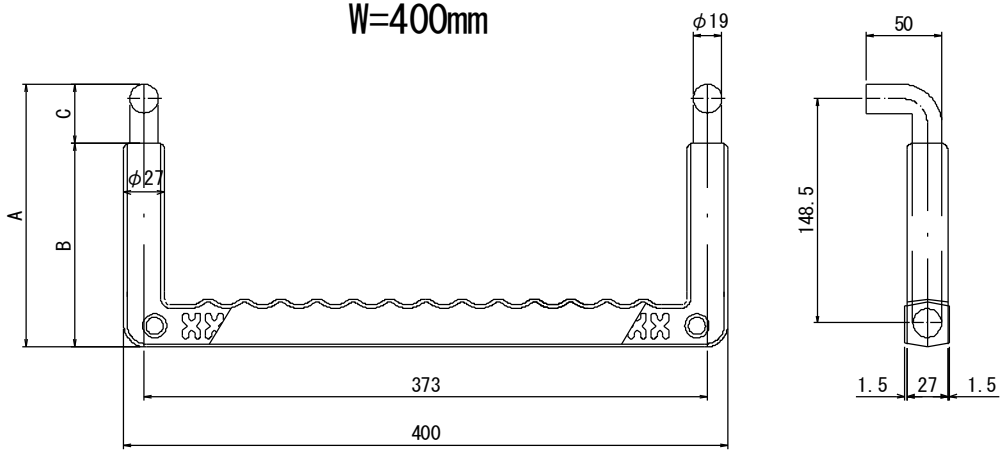
W=300mm



W=300mm



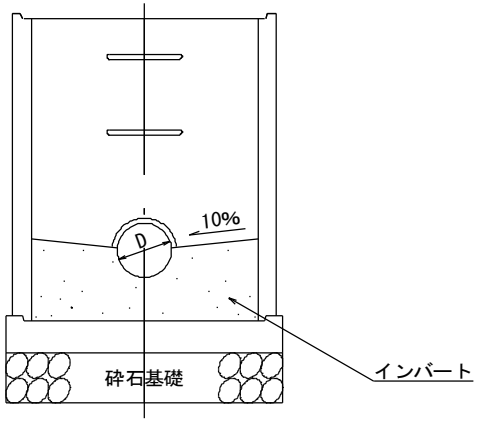
W=400mm



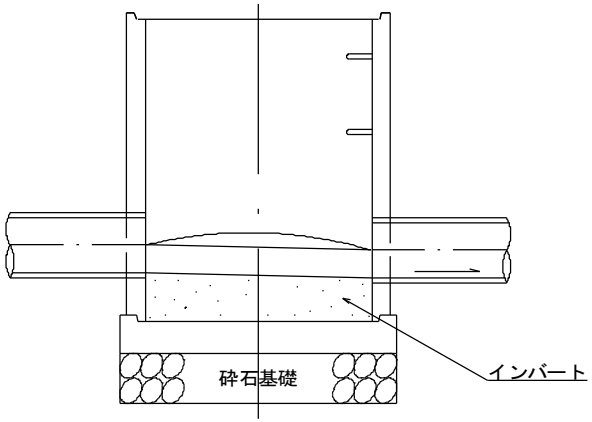
	415SW	MM415SW
A	174	157
B	134	123
C	40	34

インバート構造図

横断面図



縦断面図



インバートステップ標準値

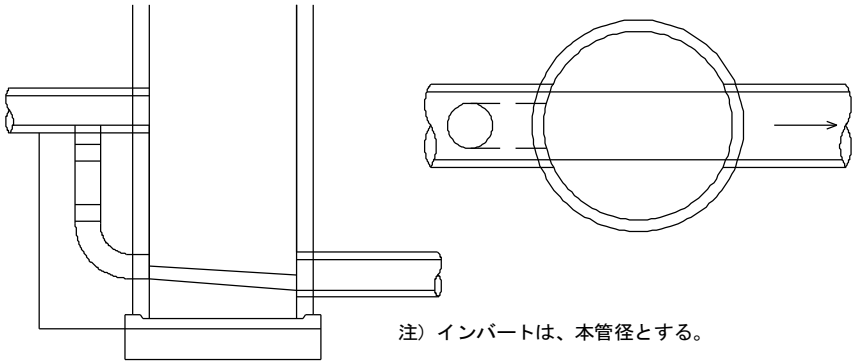
推進工法	
発 進 部	直線部 2.0cm、曲がり部 5.0cm
両到達部	10.0cm
片到達部	5.0cm
開削工法	
直 線 部	2.0cm
会 合 部	5.0cm
曲がり部	5.0cm

※厚木市排水施設構造等基準６条（１０）

インバートの形状（１）

副管設置マンホールのインバート形状

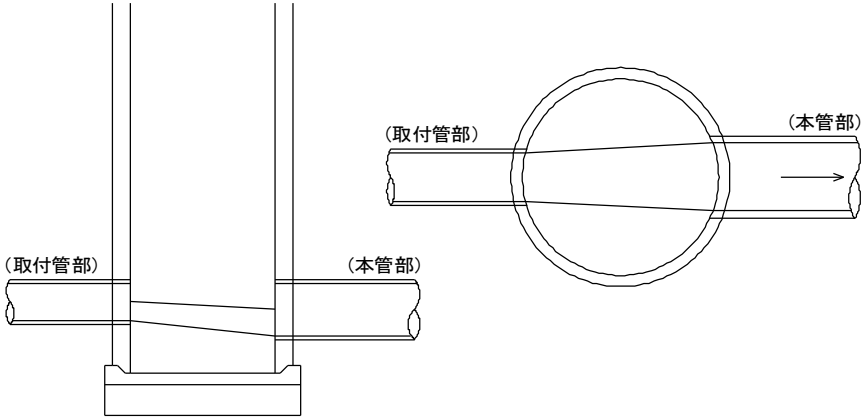
（１）上下流同口径の場合



注）インバートは、本管径とする。

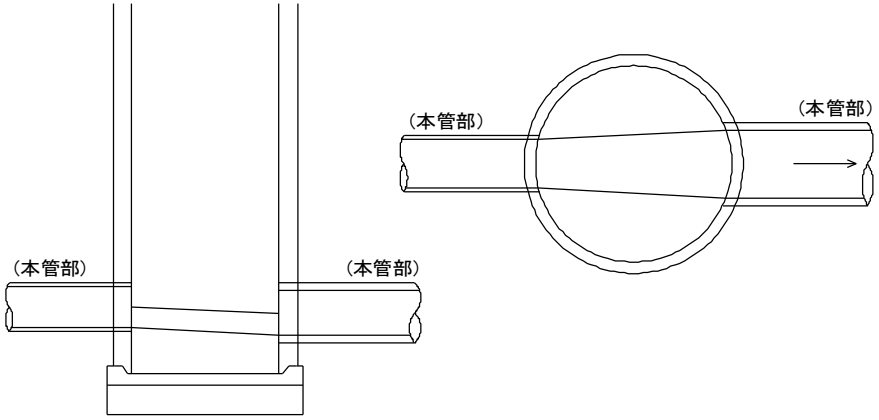
最上流マンホールのインバート形状

（１）汚水ます直取りの場合



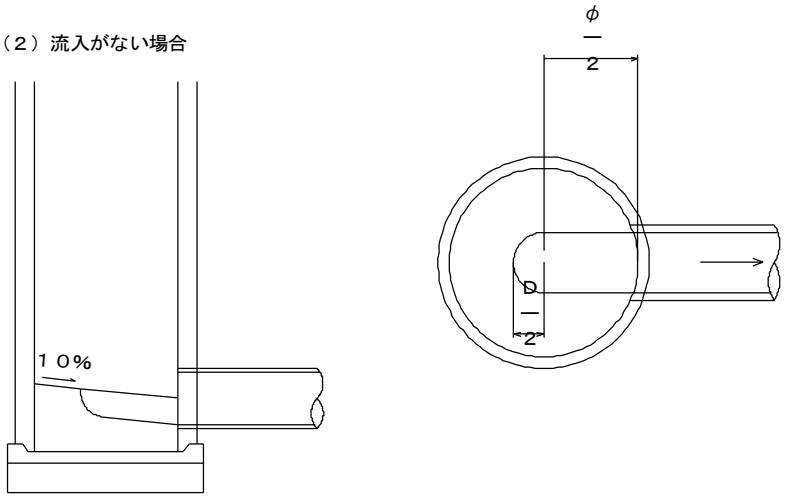
注）本管部の径とし取付管部へゆるやかに摺り付ける。

上下流異口径の場合のインバート形状



注）下流管径とし上流部へゆるやかに摺り付ける。

（２）流入がない場合

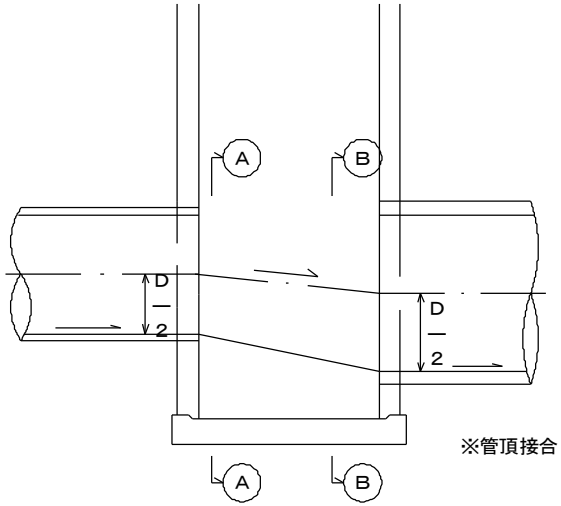


注）最上流部のインバートは、おわん形に摺り付ける。

インバートの形状（２）

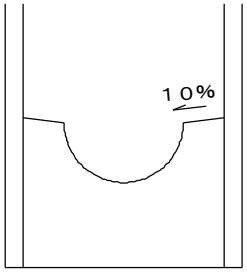
マンホール内の上流管底と下流管底のすりつけ方法

（１）直線部

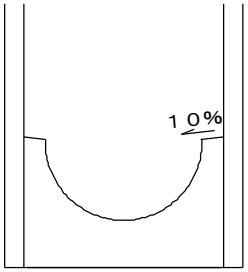


※管頂接合を基本とする。

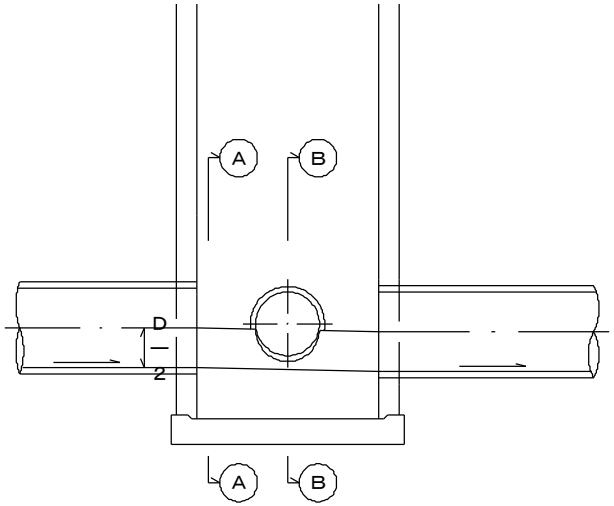
Ⓐ－Ⓐ 断面



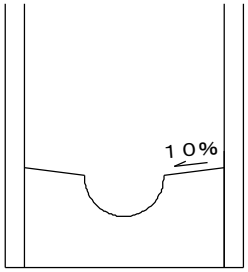
Ⓑ－Ⓑ 断面



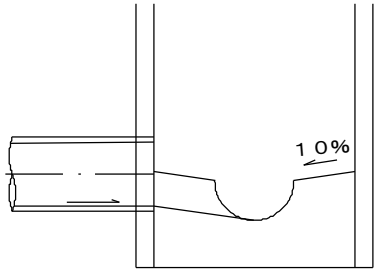
（２）会合部



Ⓐ－Ⓐ 断面

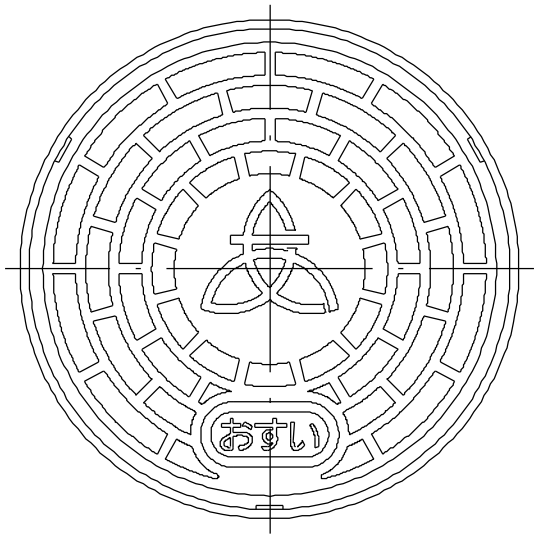


Ⓑ－Ⓑ 断面

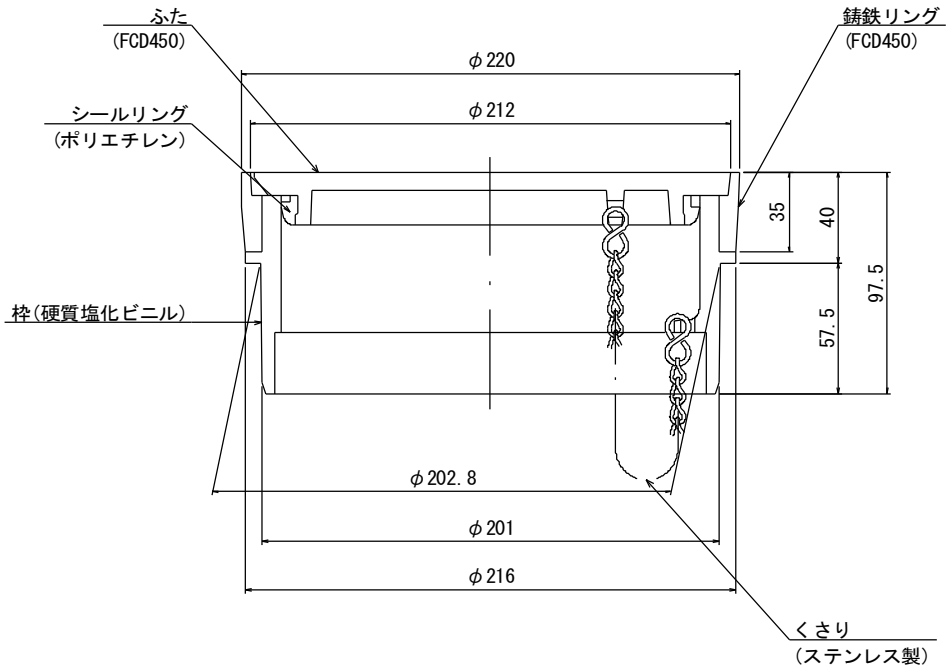


鋳鉄製差し口形ワンタッチふたφ200(T-2)標準構造図

平　面　図



断 面 図

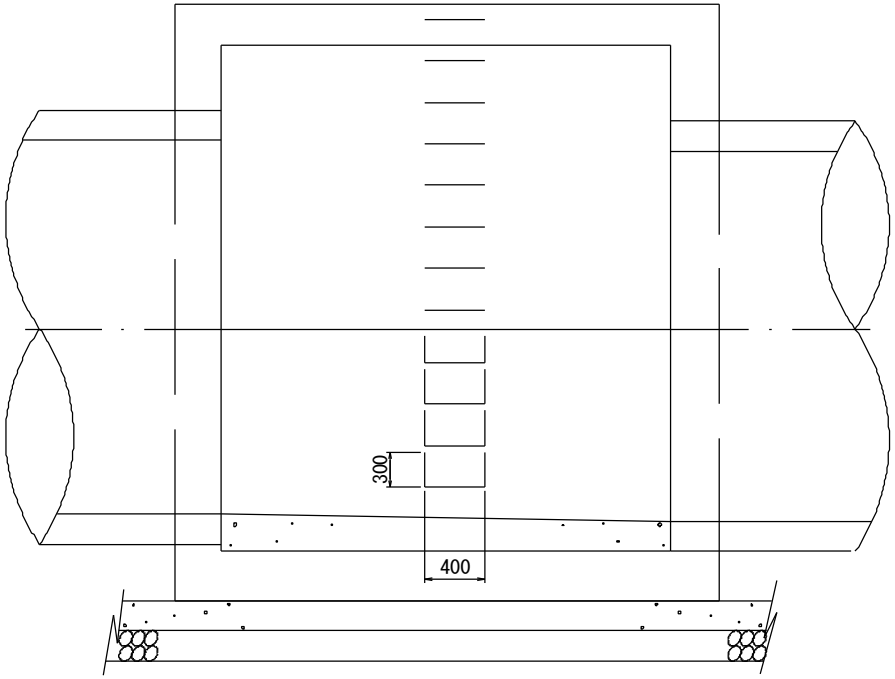


注１）厚木市型公共雨水ますふたは、表記の「おすい」を「雨水」とする。
　２）厚木市型公共ますふたは、下水道協会規格適合品とする。

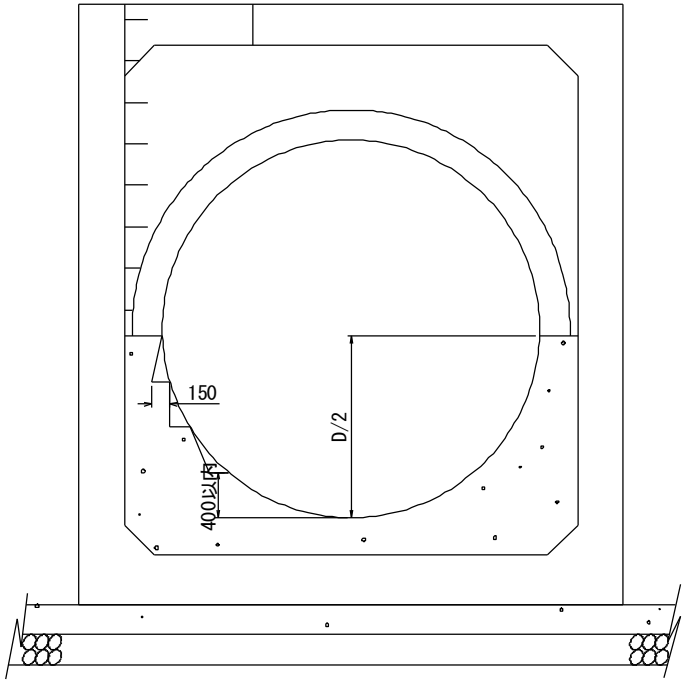
インバートステップ構造図

（？１，ＯＯＯmm以上）

側　面　図

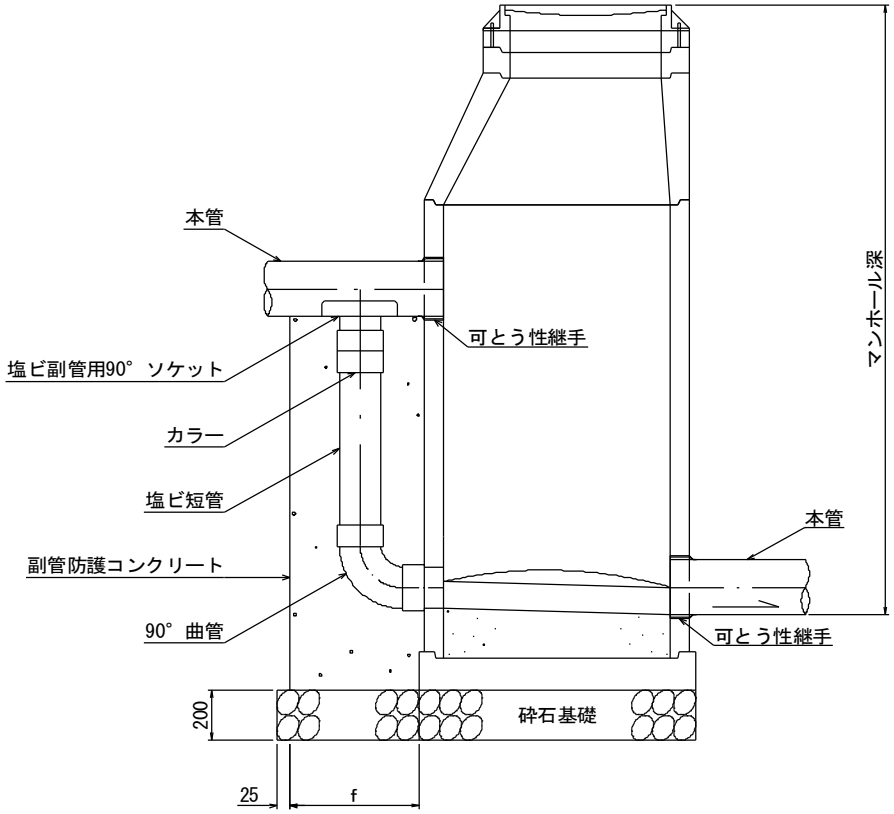


断　面　図



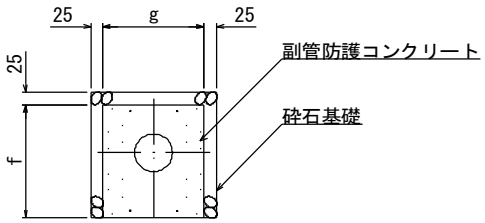
マンホール副管構造図（外副管）

（コンクリート巻立型）



外副管の管径

本管径 (mm)	副管径 (mm)	
	分流式	合流式
200	150	150
250	200	200
300	200	200
350	200	200
400	200	200
450	250	250
500	特殊マンホール	250
600	特殊マンホール	300
700以上	特殊マンホール	特殊マンホール

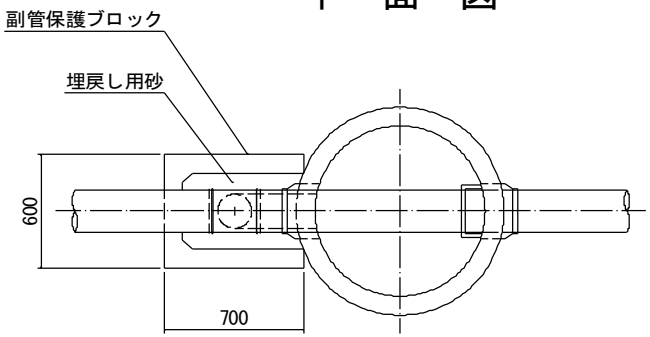


	φ150	φ200	φ250	φ300
f	450	550	600	700
g	400	450	500	550

マンホール副管構造図（外副管）

（ブロック型）

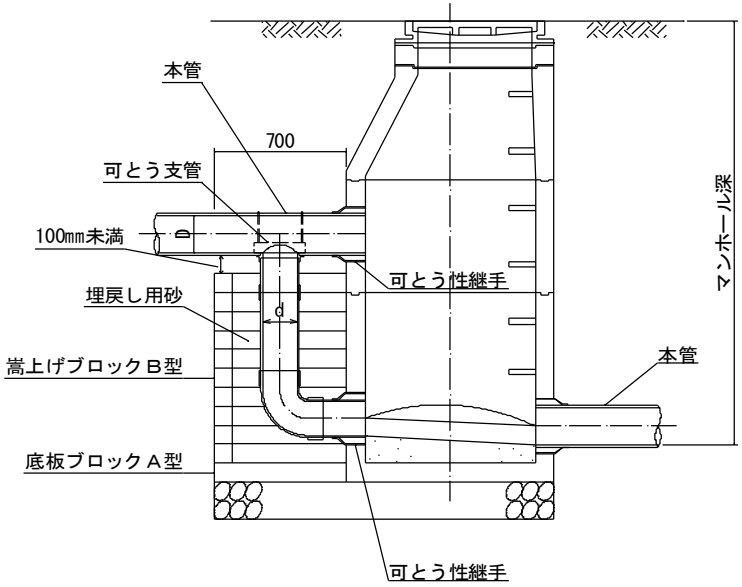
平　面　図



副管寸法表

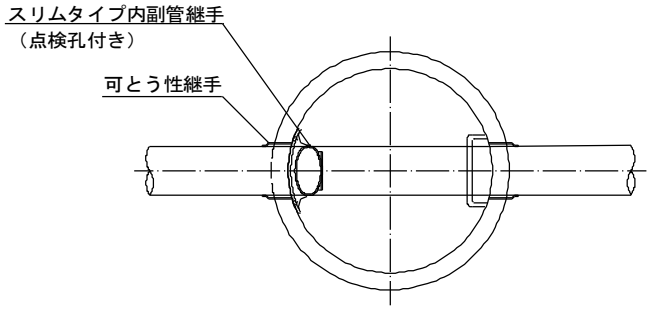
本管径 D (mm)	副管径 d (mm)	
	分流式	合流式
200	150	150
250	200	200

断　面　図

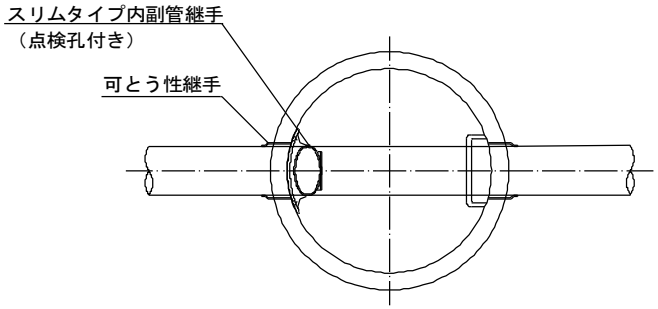


マンホール副管構造図（内副管スリムタイプ）

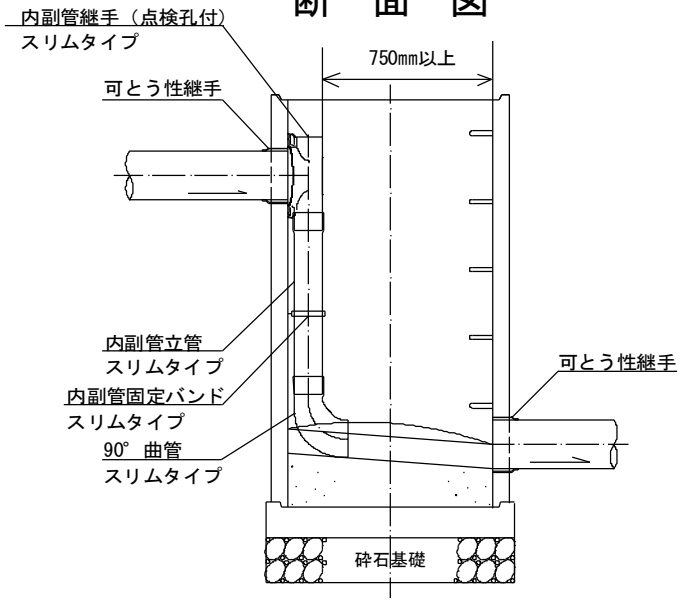
平　面　図



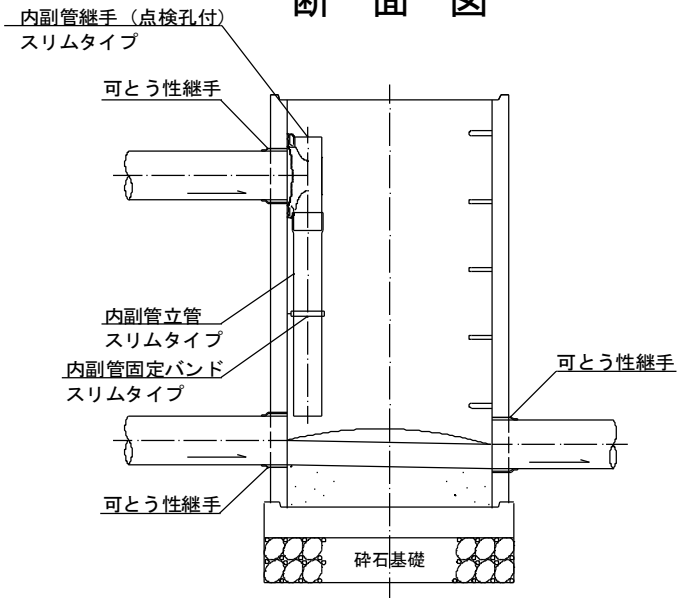
平　面　図



断　面　図



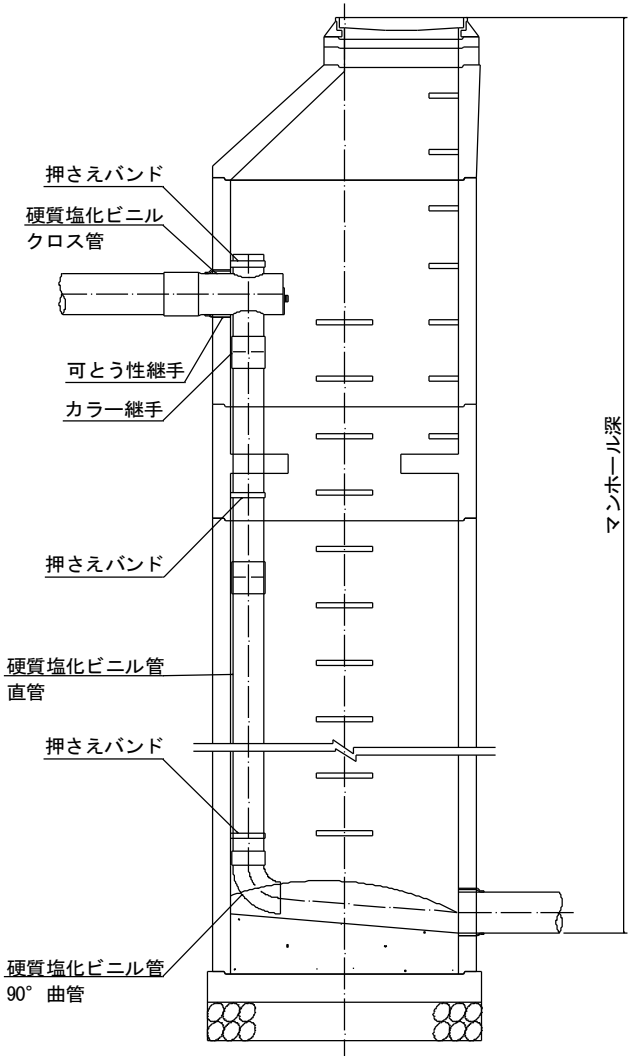
断　面　図



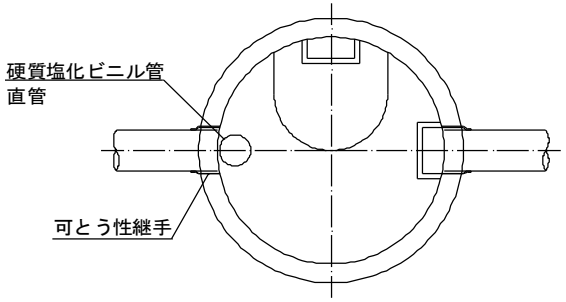
注１）固定バンドは、立管1.5mにつき１箇所設置し固定すること。
　２）内副管の流出口については、内副管の直下に流入がある場合は下側の流入管頂に合わせること。
　３）内副管の設置は2号マンホール以上とする。ただし、既設の1号マンホールにおいては、スリム型の内副管を1箇所のみ設置可能とする。

マンホール副管構造図（内副管）

断　面　図



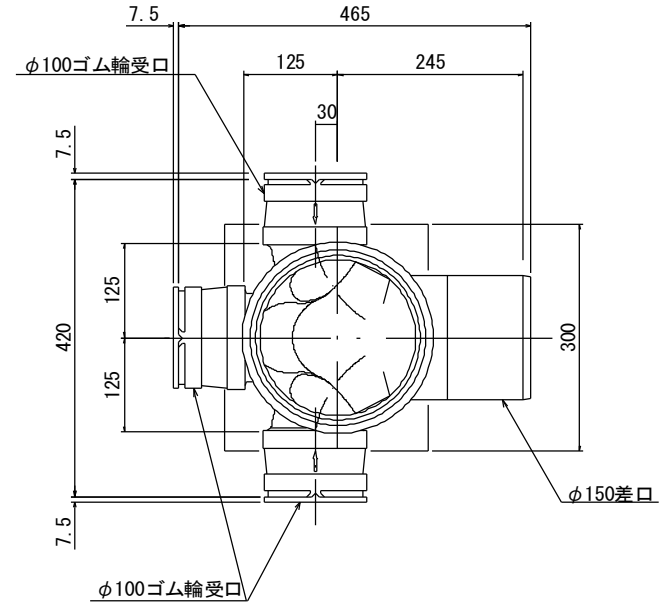
平　面　図

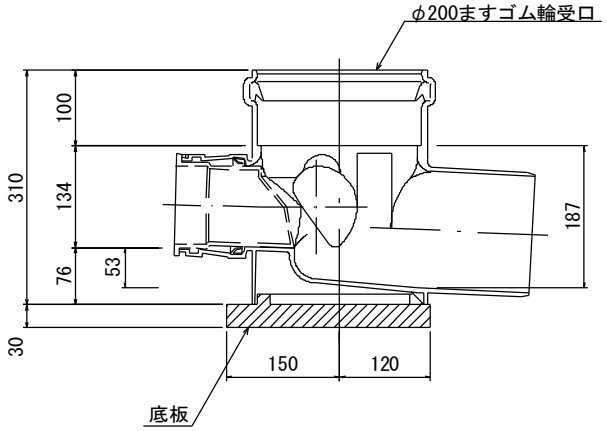


注　１）副管落差、本管流入方向、おどり場床版、昇降用ステップ等
　　の位置を考慮し、維持管理が容易な構造とする。
　２）管径は原則として、本管径より１サイズ小さい径を使用する。
　３）複数の内副管となる場合には状況に応じて極力１本とする。
　　（副管径は流入量に応じて決定すること。）
　４）設置は2号人孔以上の規格とする。

塩ビ製公共ますφ２００標準構造図

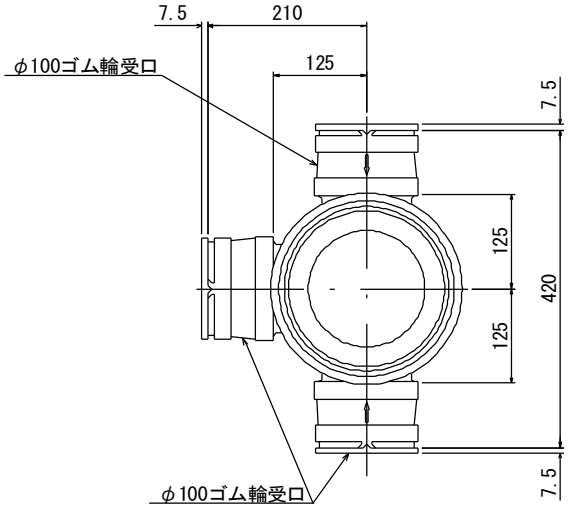
横　型

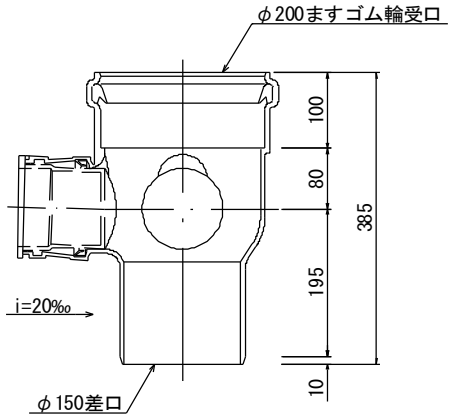




i=20‰ （上流ゴム輪受口）　インバート内　i=50‰ （下流差口）

縦　型

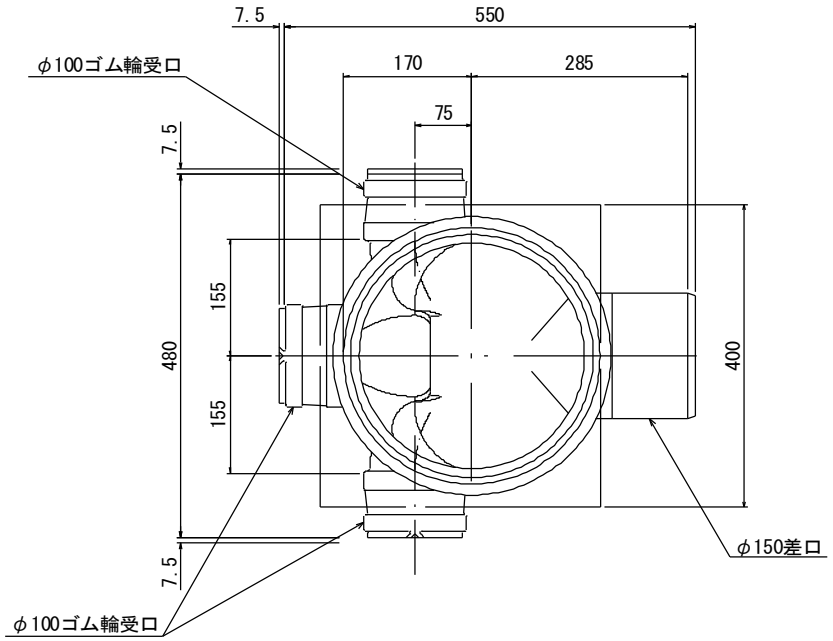


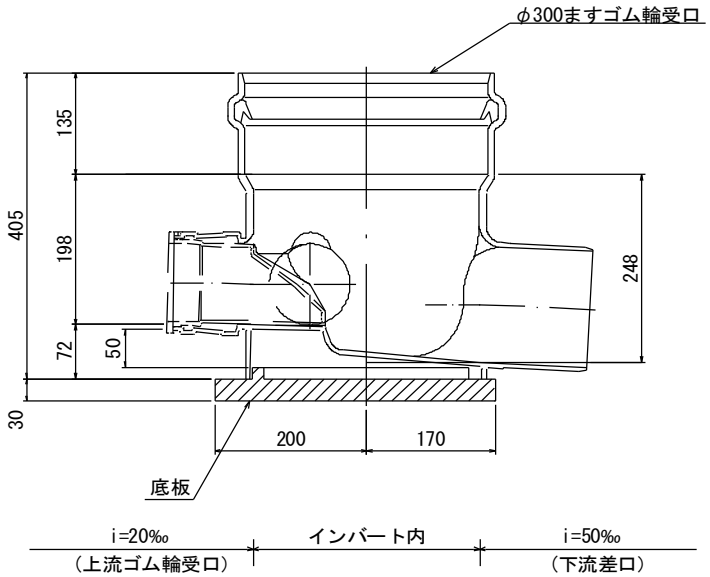


注１）厚木市型塩ビ製公共ますふたは、下水道協会規格適合品とする。

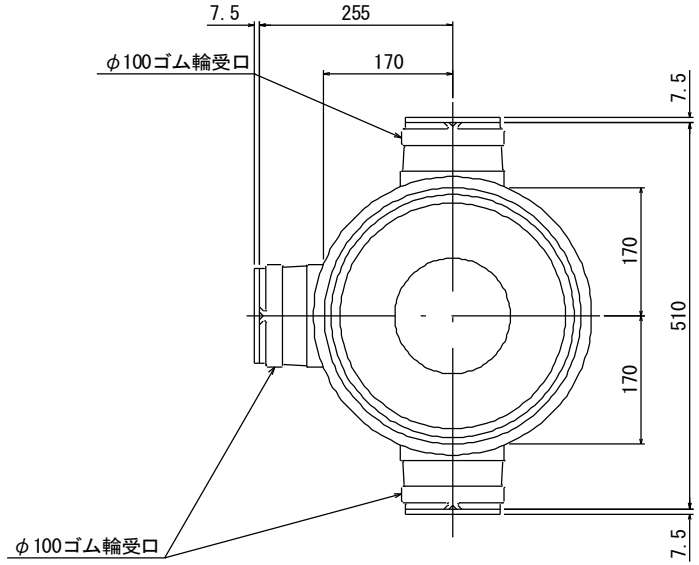
塩ビ製公共ますφ３００標準構造図

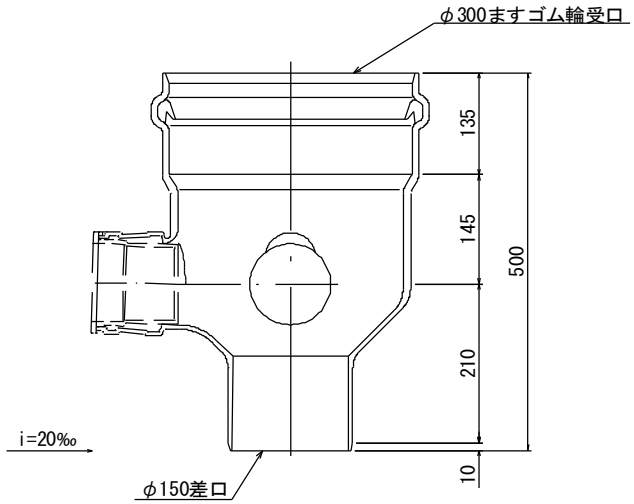
横　型





縦　型

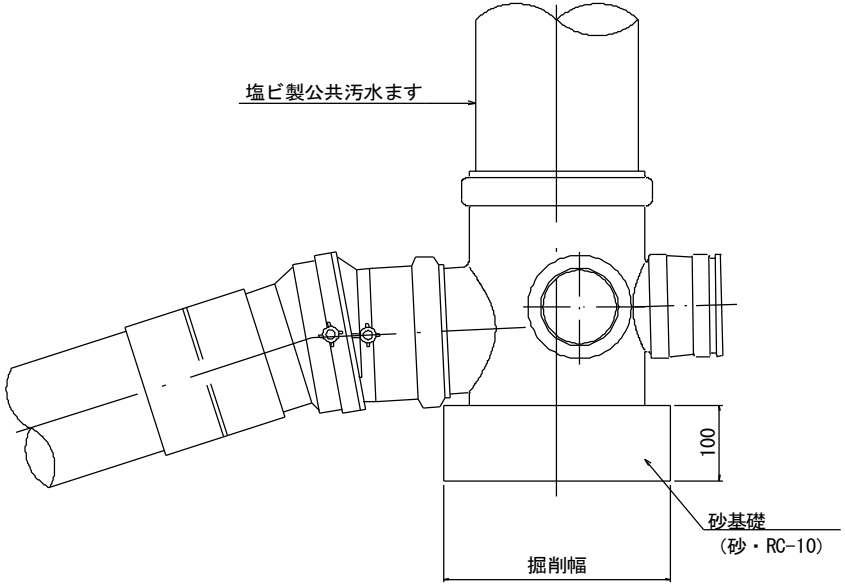




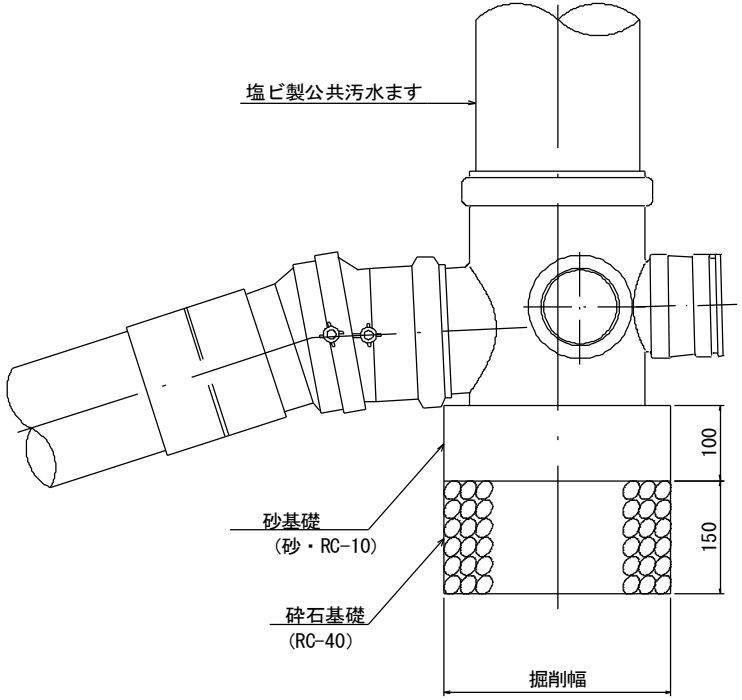
注１）厚木市型塩ビ製公共ますふたは、下水道協会規格適合品とする。

塩ビ製公共ます基礎標準構造図

普通土

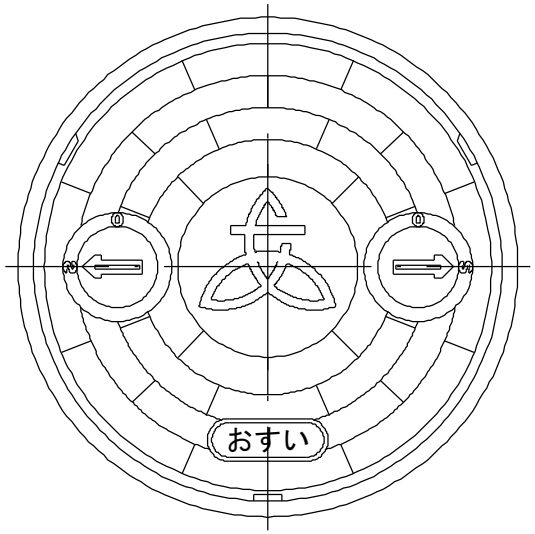


軟弱土

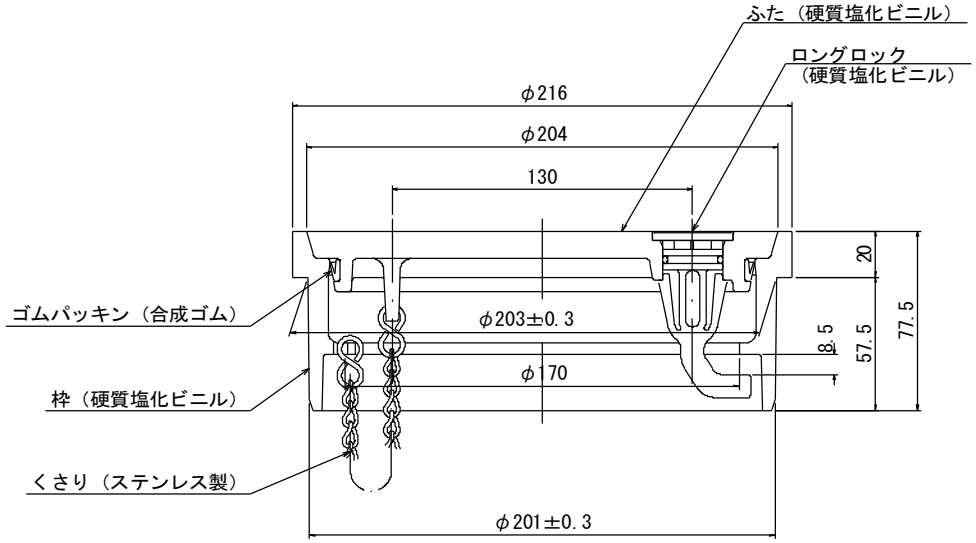


塩ビ製公共ますふたφ200標準構造図

平　面　図



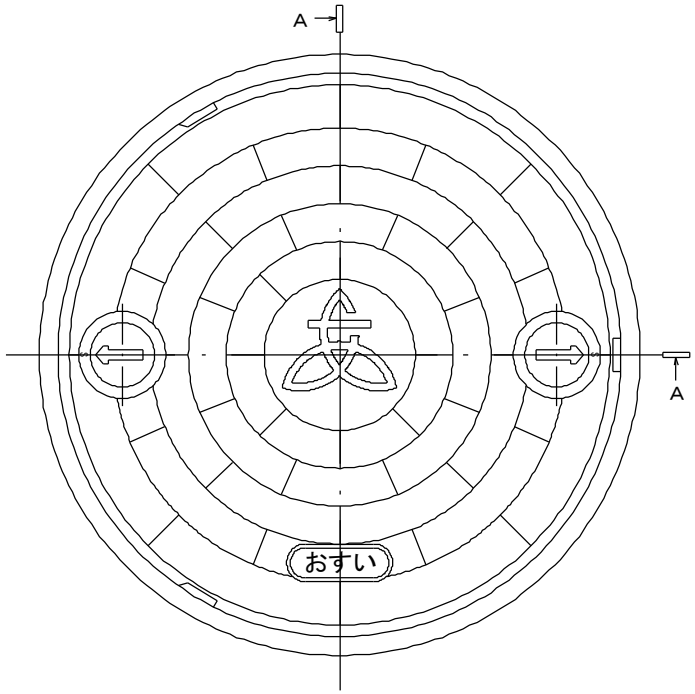
断 面 図



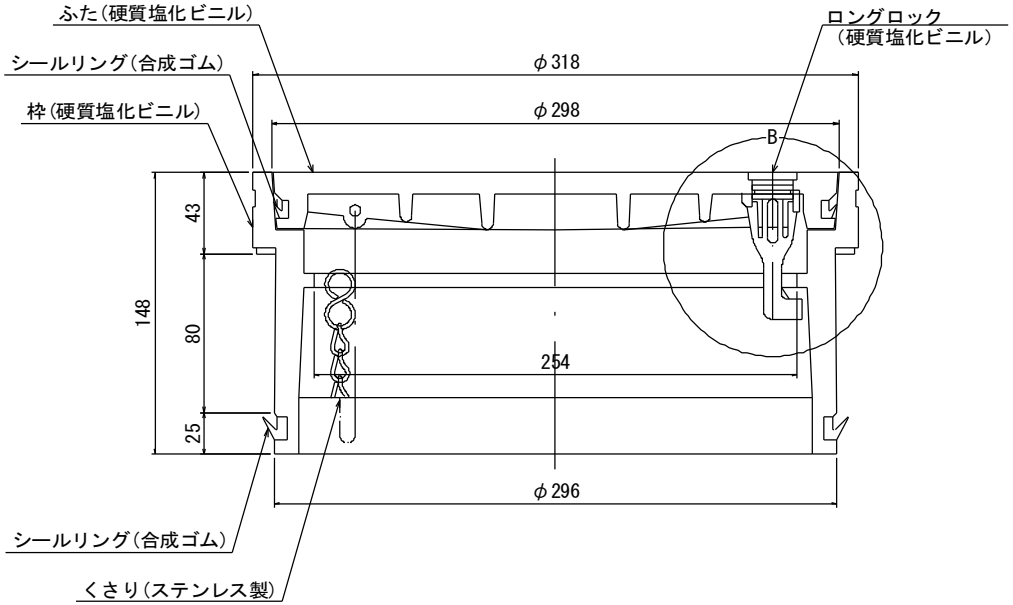
注１）厚木市型公共雨水ますふたは、表記の「おすい」を「雨水」とする。
　２）厚木市型公共ますふたは、下水道協会規格適合品とする。

塩ビ製公共ますふたφ300標準構造図

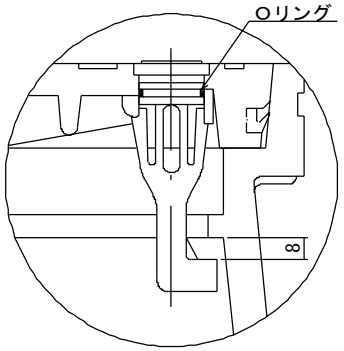
平　面　図



断 面 図



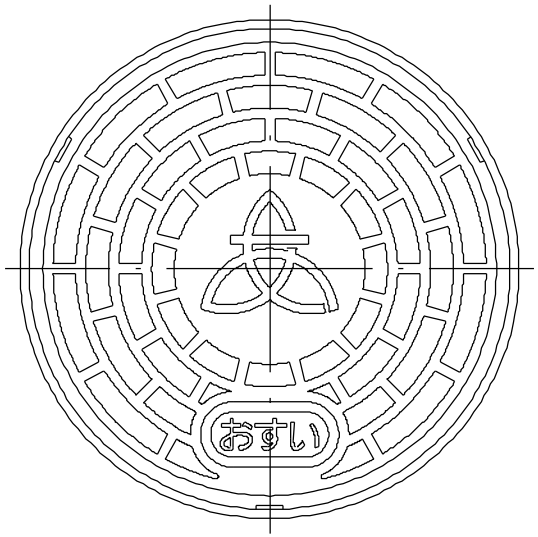
B（ロングロック）部詳細図



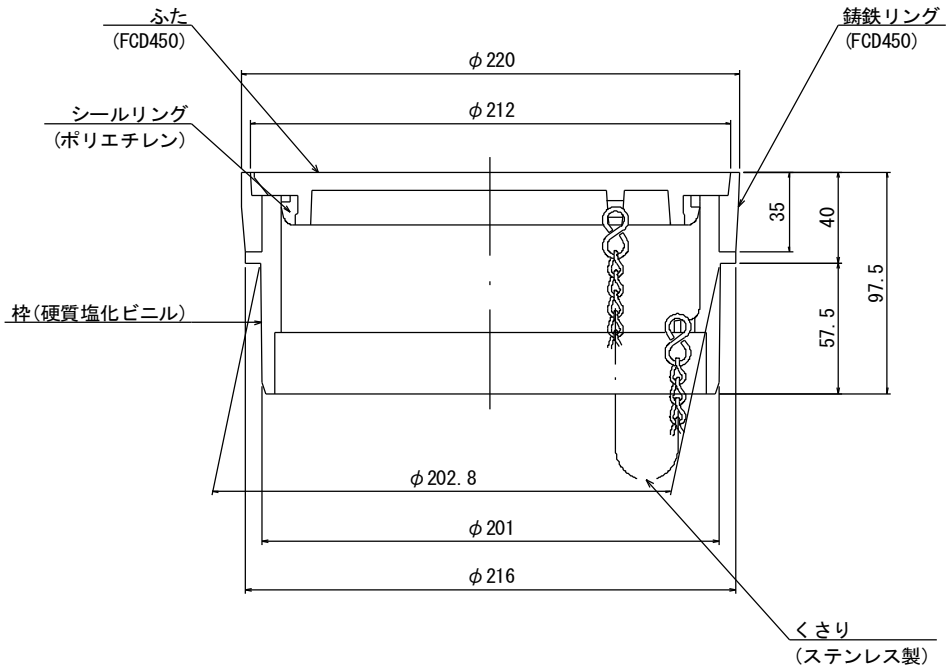
注１）厚木市型公共雨水ますふたは、表記の「おすい」を「雨水」とする。
　２）厚木市型公共ますふたは、下水道協会規格適合品とする。
　３）車両の載る可能性がある場合は鋳鉄製蓋を使用する。

鋳鉄製差し口形ワンタッチふたφ200(T-2)標準構造図

平　面　図



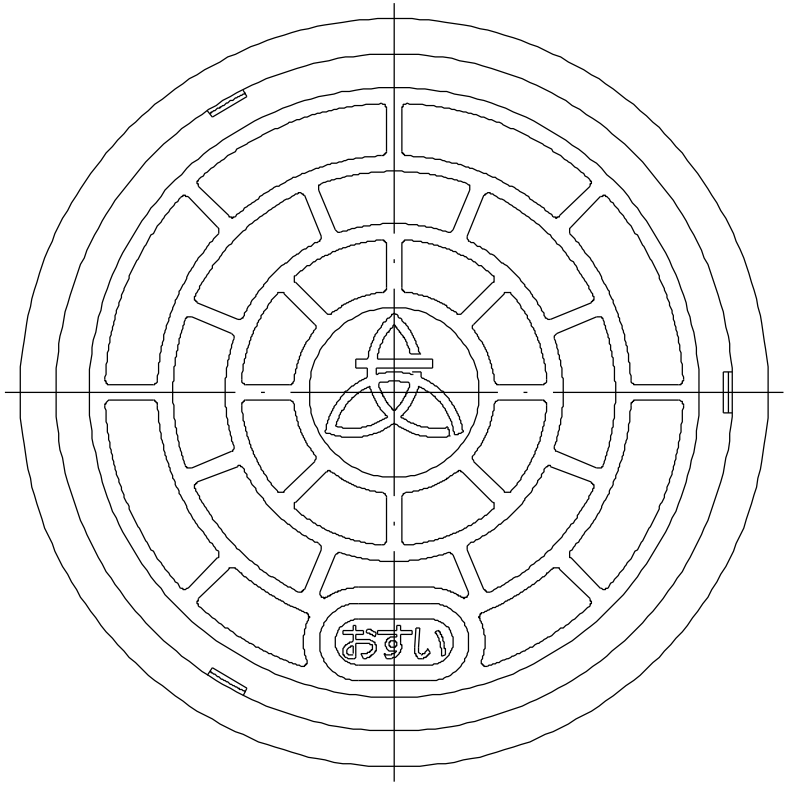
断 面 図



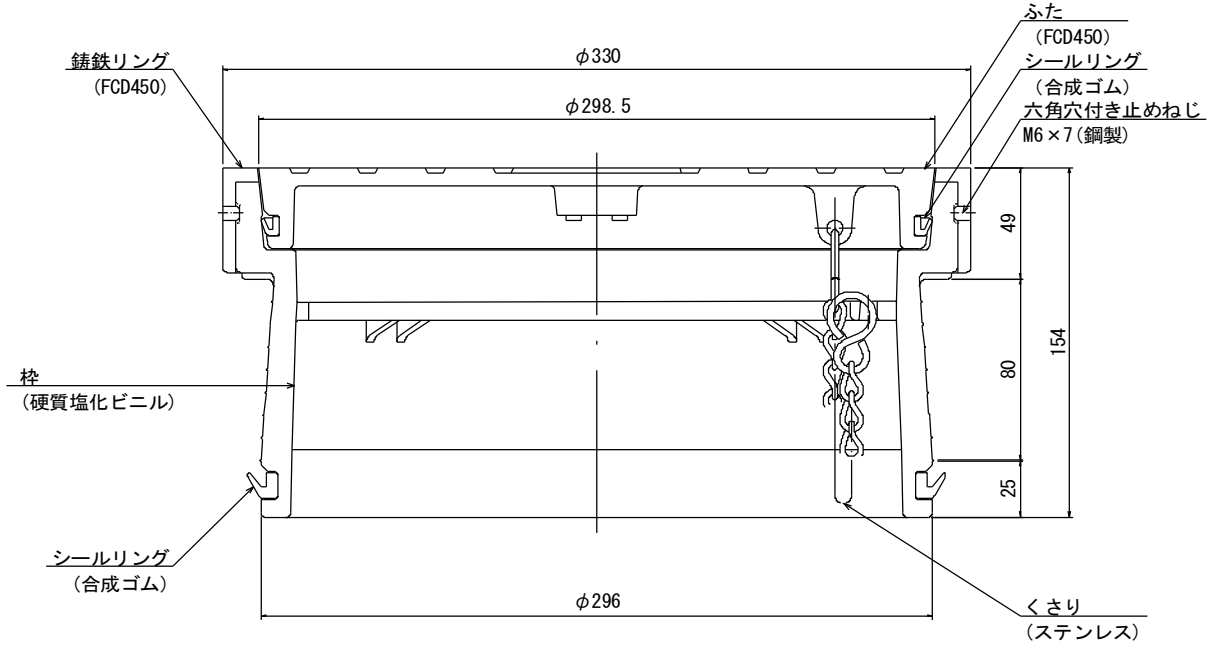
注１）厚木市型公共雨水ますふたは、表記の「おすい」を「雨水」とする。
　２）厚木市型公共ますふたは、下水道協会規格適合品とする。

鋳鉄製差し口形ワンタッチふたφ300(T-2)標準構造図

平　面　図



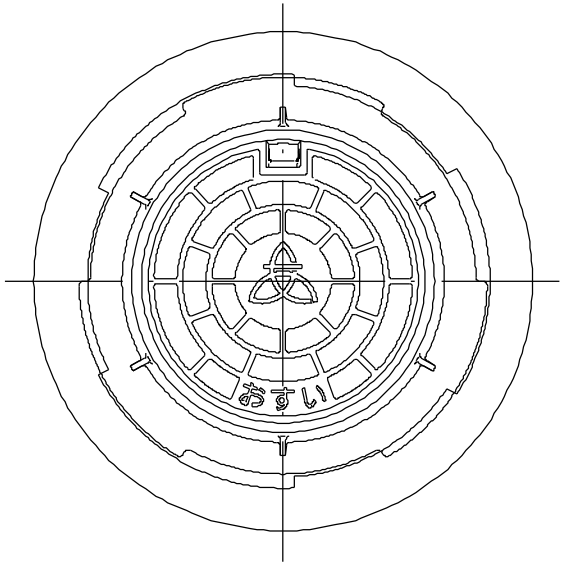
断 面 図



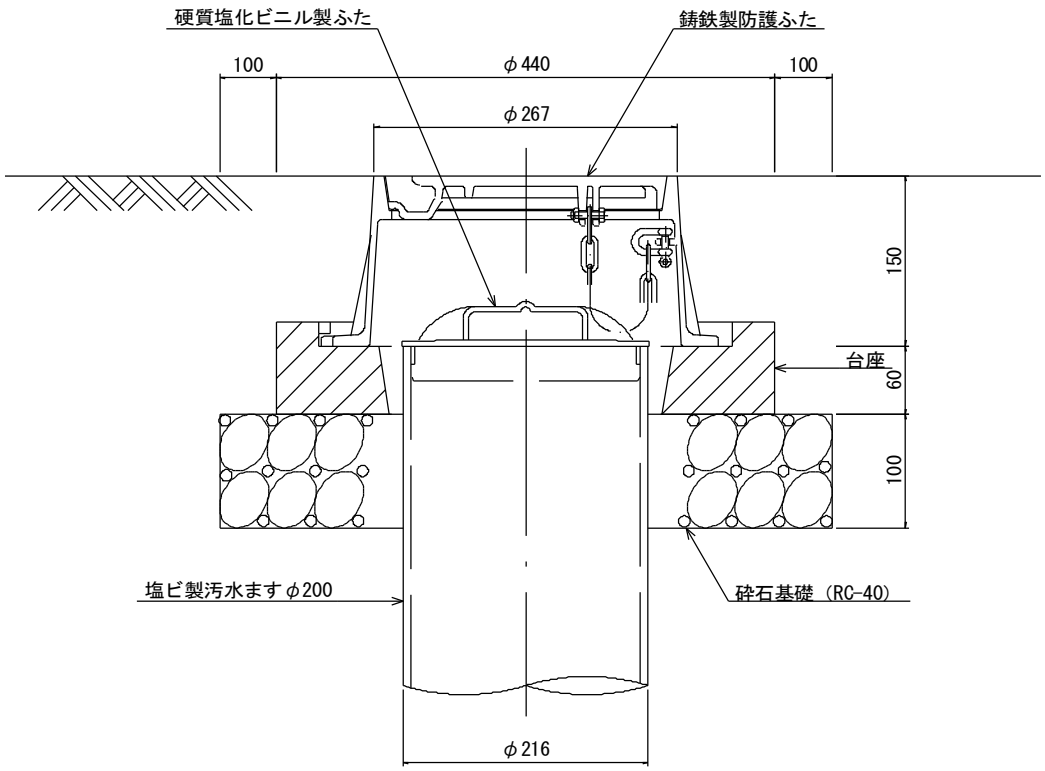
注１）厚木市型公共雨水ますふたは、表記の「おすい」を「雨水」とする。
　２）厚木市型公共ますふたは、下水道協会規格適合品とする。

防護ふた基礎（内径２００mm）標準構造図
（Ｔ-25、Ｔ-14）

平　面　図



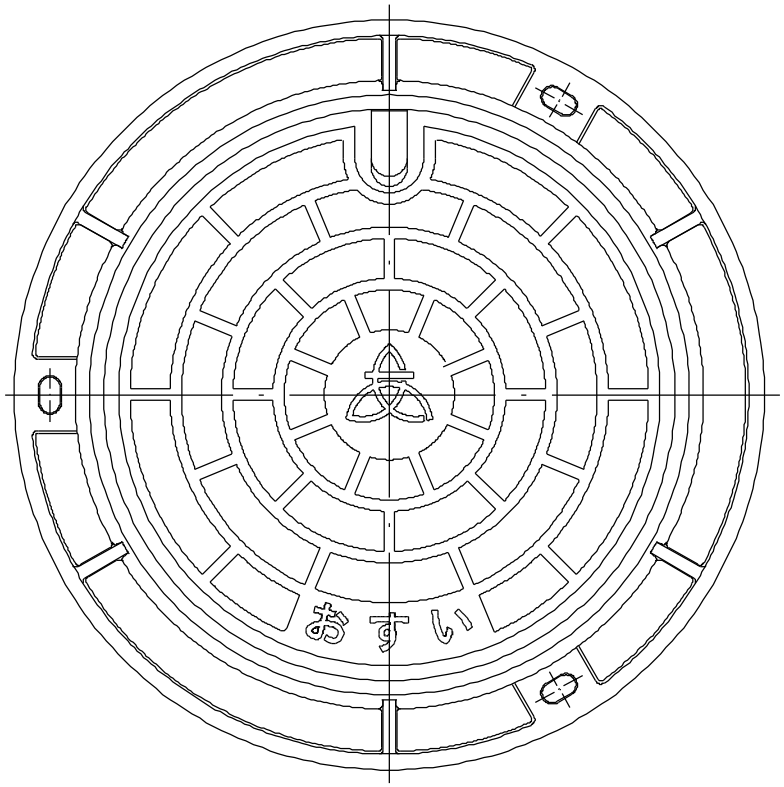
断 面 図



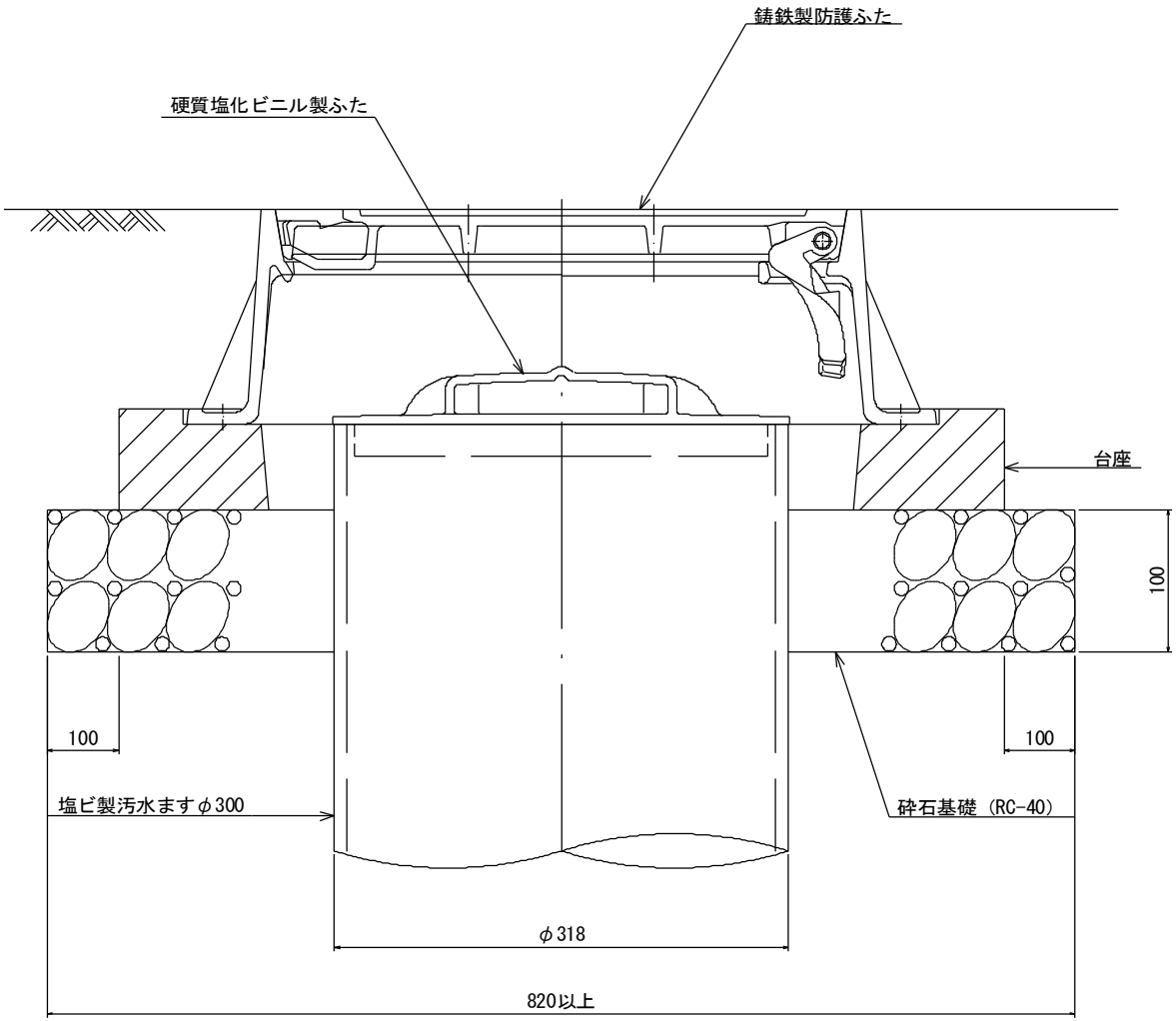
注１）厚木市型公共雨水ますふたは、表記の「おすい」を「雨水」とする。
　２）厚木市型公共ますふたは、下水道協会規格適合品とする。

防護ふた基礎（内径３００mm）標準構造図
（Ｔ-25、Ｔ-14）

平　面　図



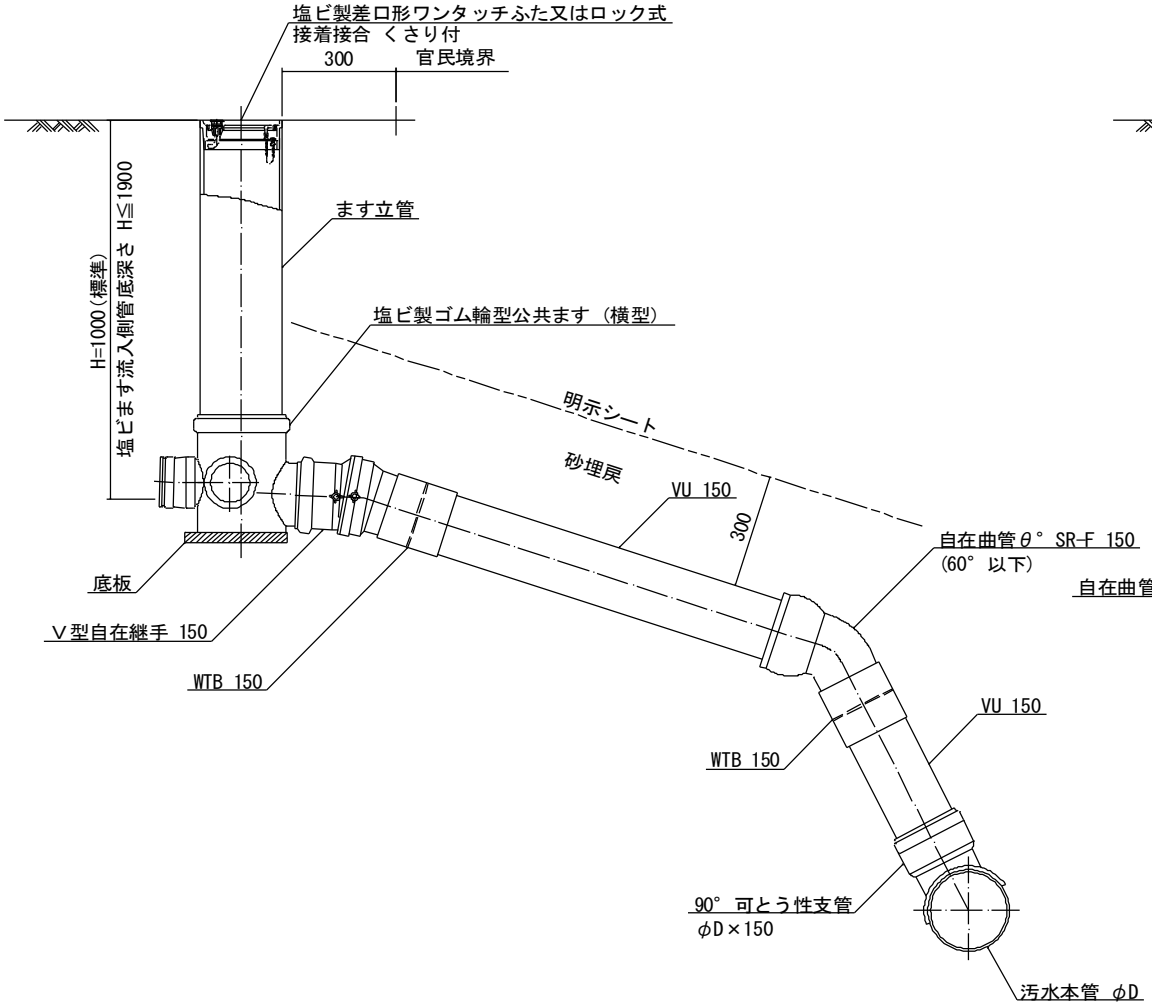
断 面 図



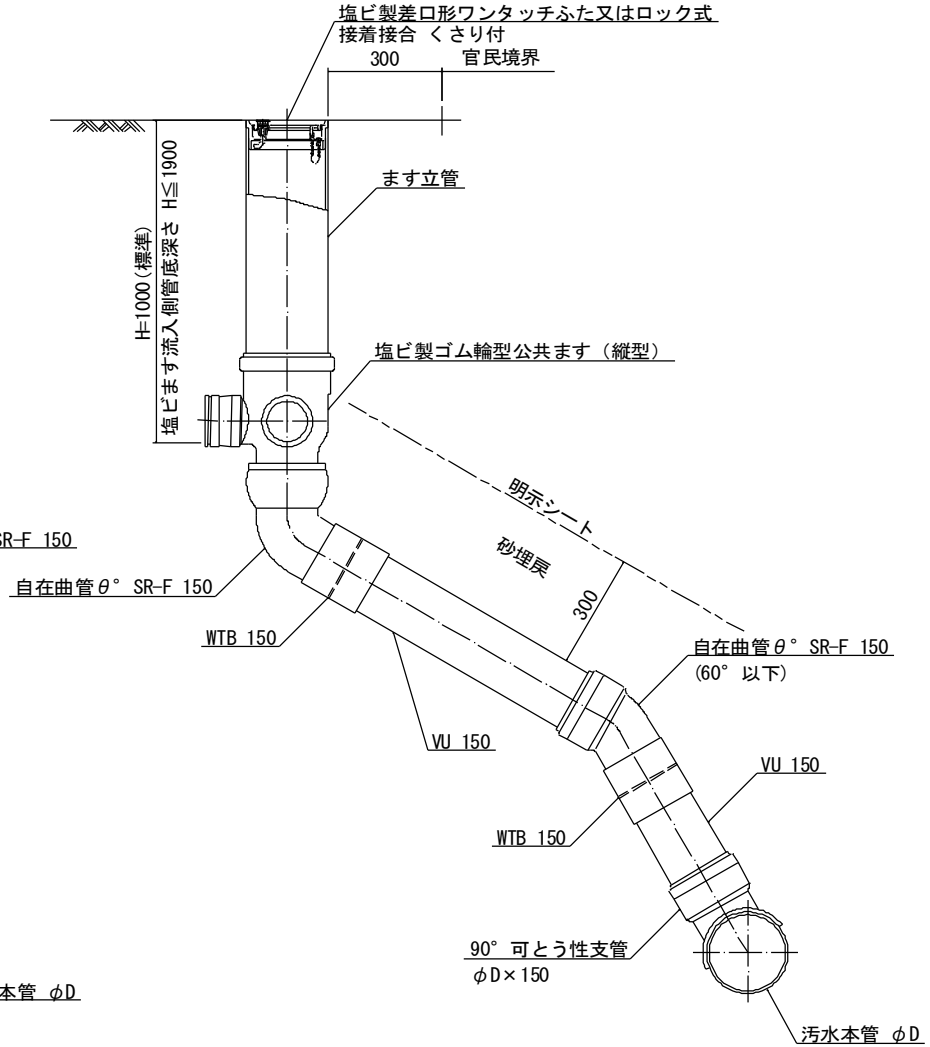
注１）厚木市型公共雨水ますふたは、表記の「おすい」を「雨水」とする。
　２）厚木市型公共ますふたは、下水道協会規格適合品とする。

取付管布設標準構造図

横　型



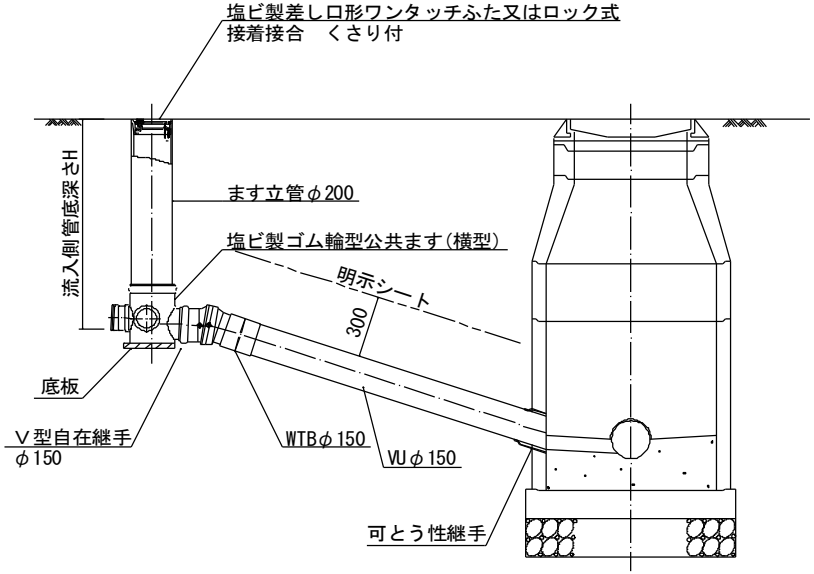
縦　型



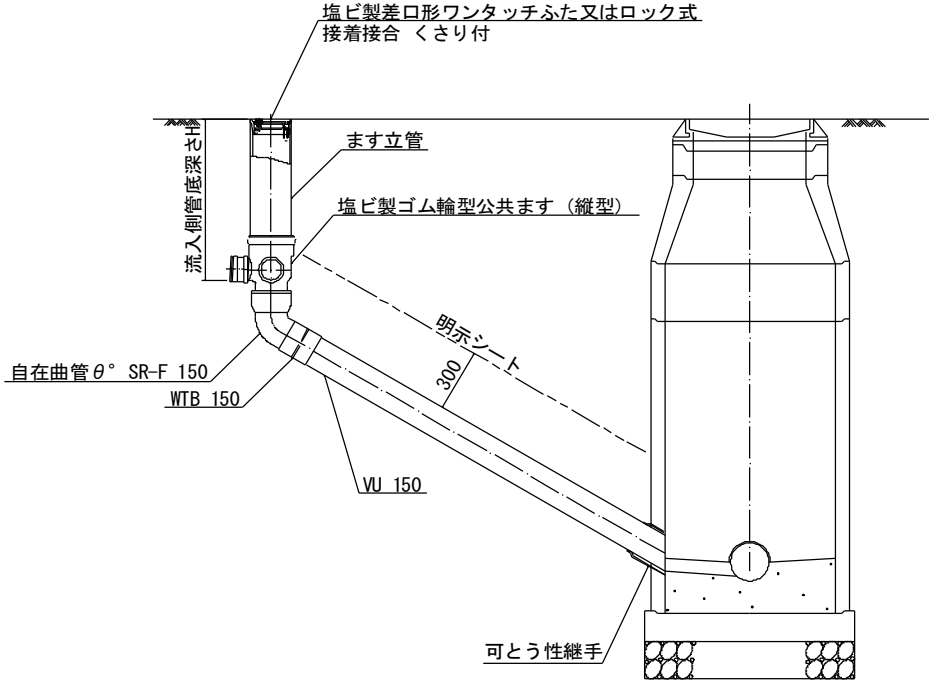
注１）基礎は、10cm厚の砂基礎とし、軟弱地盤では、砂基礎下の床面を砕石等で置き換える。
　２）取付管は、管上30cmまで砂で防護し厚木市明示シートを敷設すること。

取付管布設標準構造図（マンホール接続）

横　型



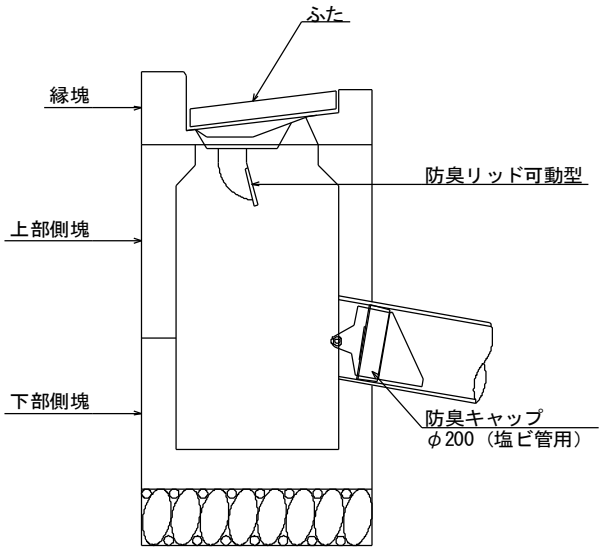
縦　型



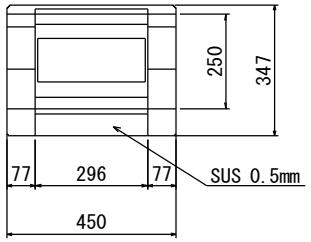
防臭リッド可動型・防臭キャップ構造図

防臭リッド可動型（波型）

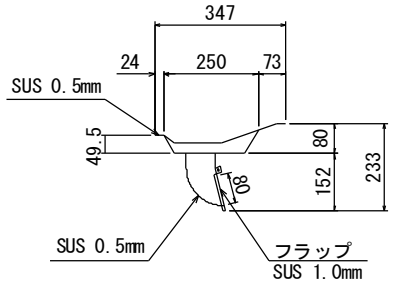
街渠ます設置図



平 面 図

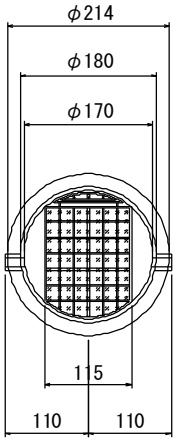


断 面 図

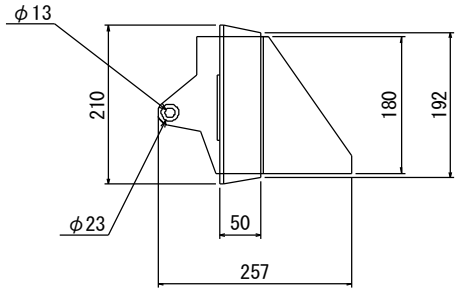


防臭キャップφ200（硬質塩化ビニル管用）

正 面 図



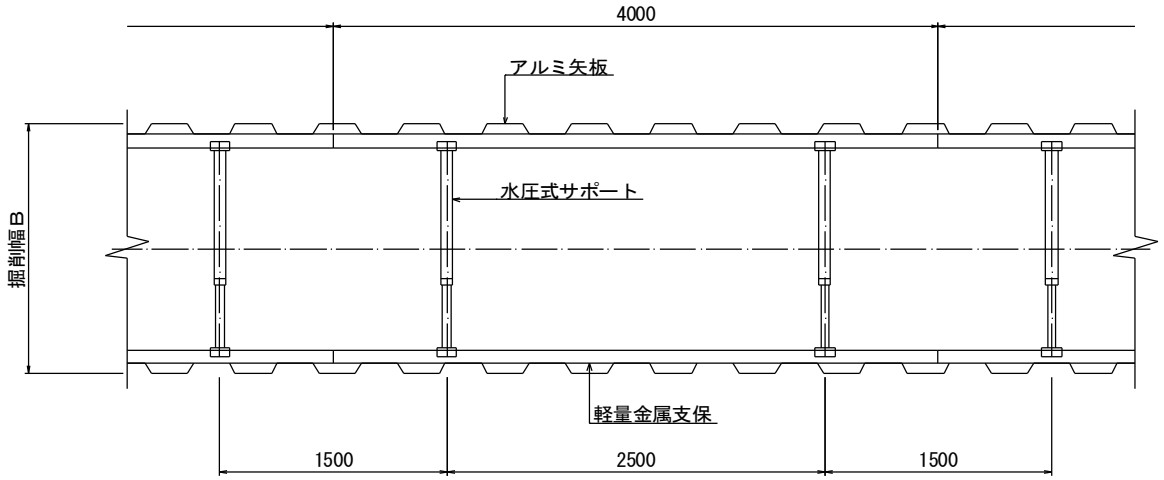
断 面 図



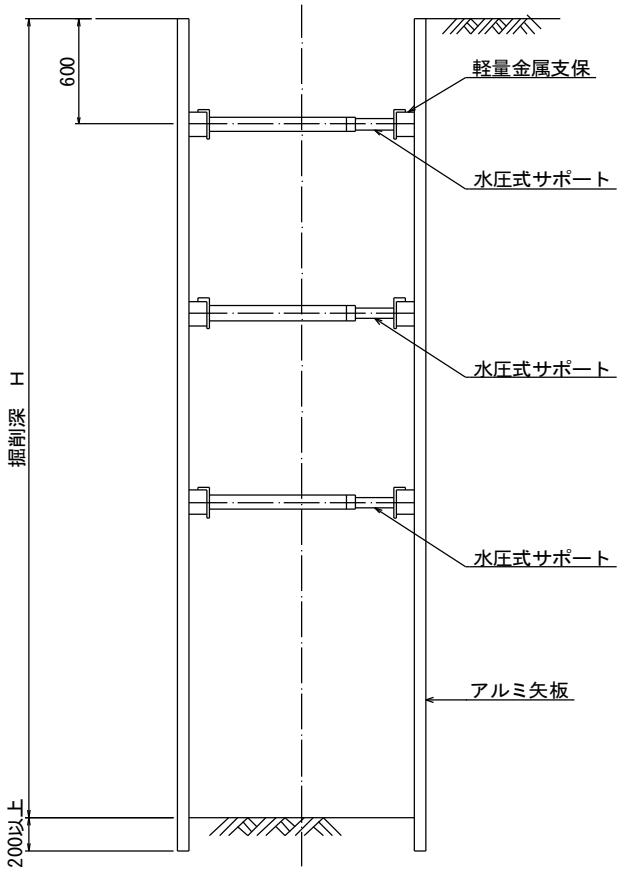
※１）本体はＡＢＳ樹脂製、取替え可能なフラップ部分はＰＰ製。
　２）防臭リッドもしくは防臭キャップいずれかを必要に応じて設置する。

土留工標準構造図（軽量金属支保）

平　面　図



断　面　図



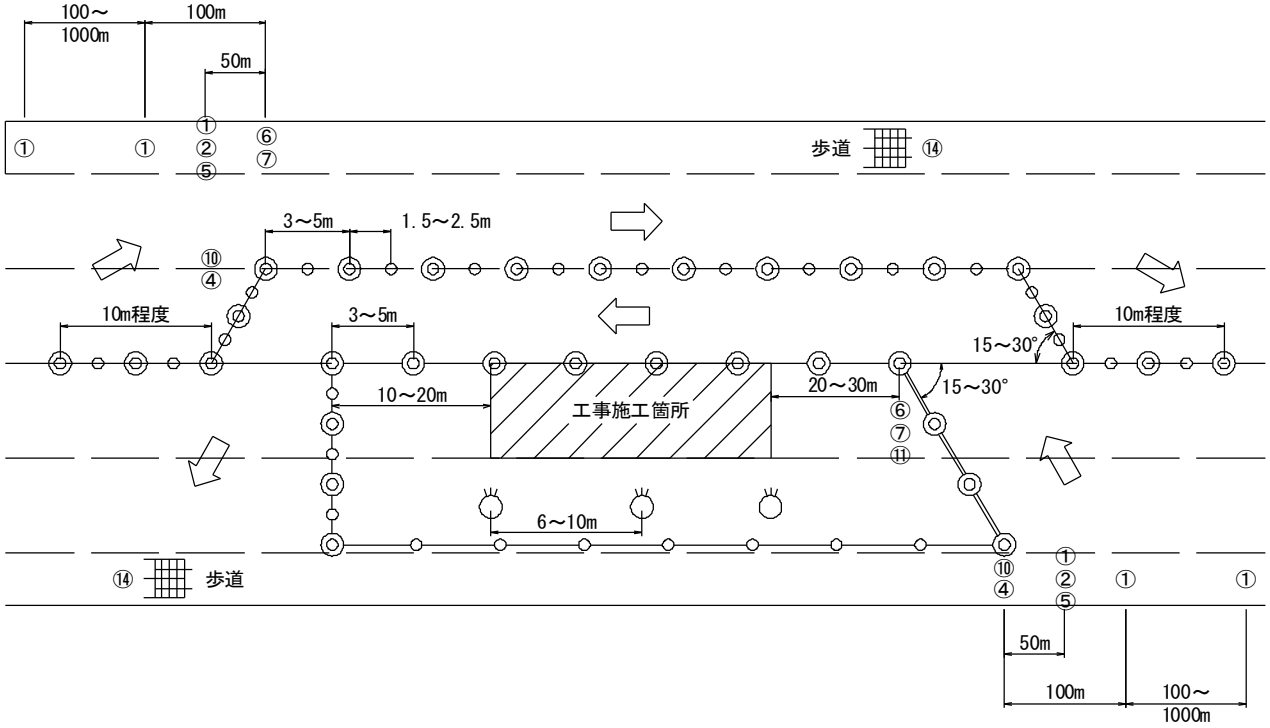
注１）掘削深及び土質条件により支保工の段数を決定する。
　２）腹起し材料については、アルミ合金製を使用し、最小小口は厚さ110㎜
　　とする。なお、断面係数が120cm以下については使用しないこと。
　３）切梁材料については、軸力7.5t以上のものを使用すること。
　４）切梁は、掘削深を考慮に入れ、切梁間隔を均等に配置すること。

交通保安標準図（１）

（４車線　片側全車線閉塞）

保安施設標準様式　凡例

① 警戒標識（213）　「道路工事中」
② 警戒標識（211）　「車線数減少」
③ 警戒標識（212-2）「二方向通行」
④ 規制標識（311-E）「車輌横断禁止」
⑤ 規制標識（329）　「徐行」
⑥ 工事用立看板　　「工事標示板」
⑦ 工事用立看板　　「お願い板」
⑧ 保安灯
⑨ 防護柵
⑩ 黄色回転灯
⑪ 工事標識「赤色注意灯付標識板」
⑫ 工事標識「応急修理中・清掃中等」
⑬ 工事標識「清掃中等」
⑭ 安全施設「工事区間終り」
⑮ 安全施設「片側交互交通」



注１）①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。

２）昼間作業は、照明灯と保安灯を除く。

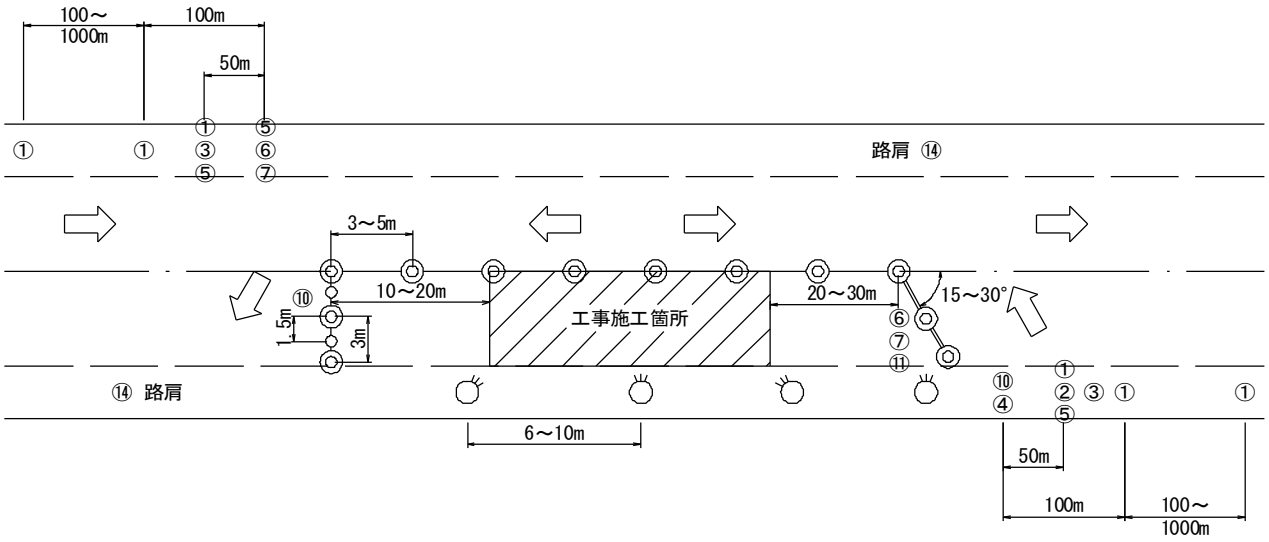
３）作業箇所が隣接している場合には最初の箇所の対面箇所や⑥⑦を最後の箇所の後端に⑭を設置するものとする。

交通保安標準図（２）

（２車線　片側全車線閉塞）

保安施設標準様式　凡例

① 警戒標識（213）　「道路工事中」
② 警戒標識（211）　「車線数減少」
③ 警戒標識（212-2）「二方向通行」
④ 規制標識（311-E）「車輌横断禁止」
⑤ 規制標識（329）　「徐行」
⑥ 工事用立看板　　「工事標示板」
⑦ 工事用立看板　　「お願い板」
⑧ 保安灯
⑨ 防護柵
⑩ 黄色回転灯
⑪ 工事標識「赤色注意灯付標識板」
⑫ 工事標識「応急修理中・清掃中等」
⑬ 工事標識「清掃中等」
⑭ 安全施設「工事区間終り」
⑮ 安全施設「片側交互交通」



注１）①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。

２）昼間作業は、照明灯と保安灯を除く。

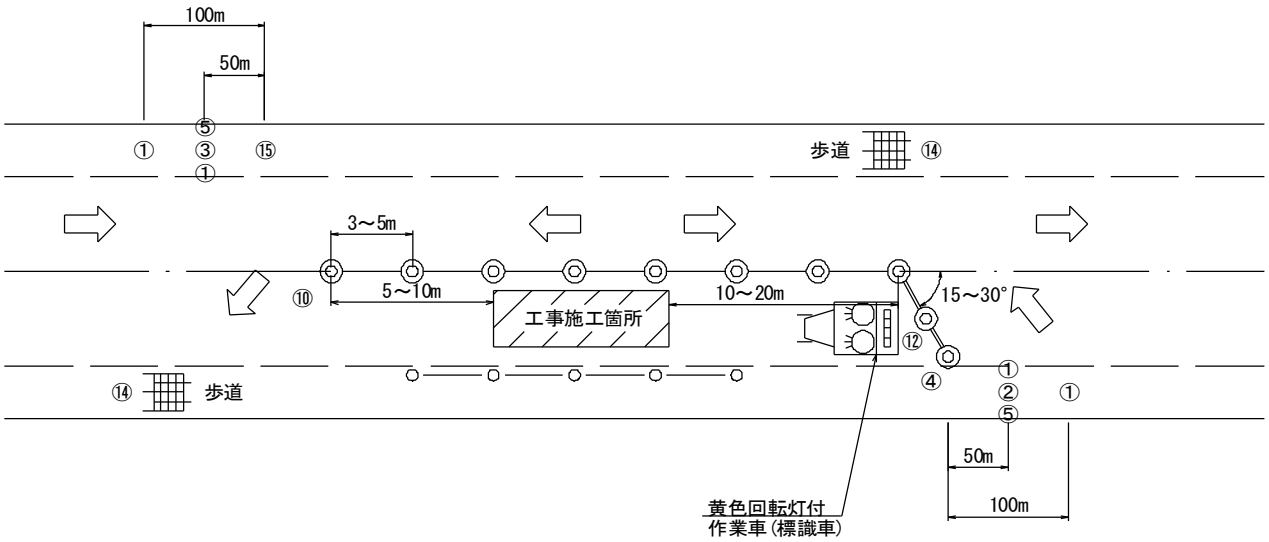
３）工事区間長、及び交通量に応じて両端に適宜交通誘導員もしくは自動信号機をおく。

交通保安標準図（３）

（２車線　片側全車線閉塞　小規模）

保安施設標準様式　凡例

① 警戒標識（213）　「道路工事中」
② 警戒標識（211）　「車線数減少」
③ 警戒標識（212-2）「二方向通行」
④ 規制標識（311-E）「車輌横断禁止」
⑤ 規制標識（329）　「徐行」
⑥ 工事用立看板　　「工事標示板」
⑦ 工事用立看板　　「お願い板」
⑧ 保安灯
⑨ 防護柵
⑩ 黄色回転灯
⑪ 工事標識「赤色注意灯付標識板」
⑫ 工事標識「応急修理中・清掃中等」
⑬ 工事標識「清掃中等」
⑭ 安全施設「工事区間終り」
⑮ 安全施設「片側交互交通」



注１）①の設置数、距離については、交通量その他、現地の状況によって定めること。

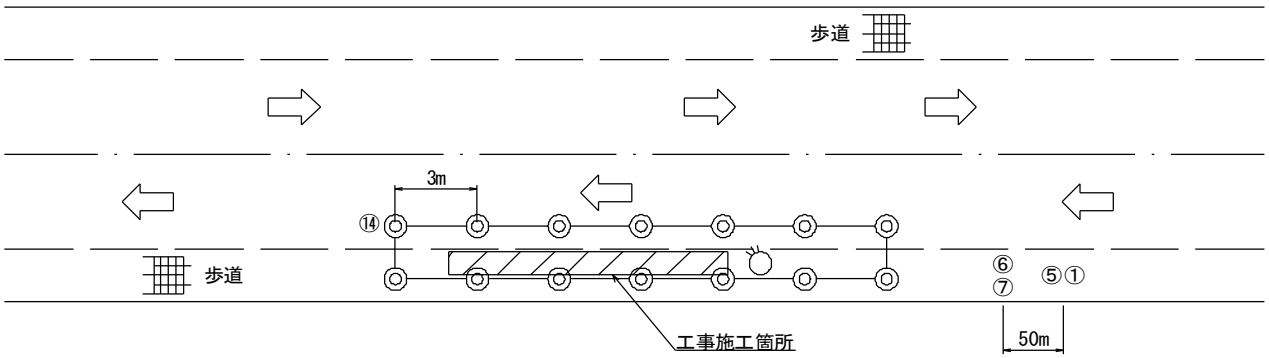
２）昼間作業は、保安灯をセーフテーコーンとし照明灯は除くこと。

３）工事区間長、及び交通量に応じて両端に適宜交通誘導員もしくは自動信号機をおく。

交通保安標準図（４）
（長時間の路側工事）

保安施設標準様式　凡例

① 警戒標識（213）　「道路工事中」
② 警戒標識（211）　「車線数減少」
③ 警戒標識（212-2）「二方向通行」
④ 規制標識（311-E）「車輌横断禁止」
⑤ 規制標識（329）　「徐行」
⑥ 工事用立看板　　「工事標示板」
⑦ 工事用立看板　　「お願い板」
⑧ 保安灯
⑨ 防護柵
⑩ 黄色回転灯
⑪ 工事標識「赤色注意灯付標識板」
⑫ 工事標識「応急修理中・清掃中等」
⑬ 工事標識「清掃中等」
⑭ 安全施設「工事区間終り」
⑮ 安全施設「片側交互交通」



注１）昼間作業は、照明灯をセーフテーコーンに置換える。

管きょこう配対応表（満管）

汚水管きょこう配

	硬質塩化ビニル管 n=0.010			鉄筋コンクリート管 n=0.013		
内径 (mm)	最小こう配 (‰)	最大こう配 (‰)	最上流区間最小こう配 (‰)	最小こう配 (‰)	最大こう配 (‰)	最上流区間最小こう配 (‰)
φ200	2.1	49.0	9.3	4.0	98.0	19.0
φ250	1.5	35.0	6.7	2.9	69.0	14.0
φ300	1.2	26.0	5.1	2.2	52.0	10.0
φ350	0.9	21.0	4.1	1.8	41.0	7.9
φ400	0.8	17.0	3.4	1.4	34.0	6.5
φ450	0.7	15.0	2.9	1.2	28.0	5.5
φ500	0.6	12.0	2.5	1.1	24.0	4.7
φ600	0.5	10.0	2.0	0.8	18.0	3.6
φ700	0.4	8.0	1.6	0.7	15.0	2.9
φ800	0.3	6.0	1.4	0.6	12.0	2.4
φ900	0.3	5.0	1.2	0.5	10.0	2.1

注１）汚水管きょの最小こう配は流速が 0.6m/S以上となるこう配。
　２）汚水管きょの最大こう配は流速が 3.0m/S以下となるこう配。
　３）汚水管きょの最上流区間最小こう配は流速が 1.3m/S以上となるこう配。

雨水管きょ・合流管きょこう配

	硬質塩化ビニル管 n=0.010		鉄筋コンクリート管 n=0.013	
内径 (mm)	最小こう配 (‰)	最大こう配 (‰)	最小こう配 (‰)	最大こう配 (‰)
φ250	2.6	35.0	5.0	69.0
φ300	2.0	26.0	3.8	52.0
φ350	1.6	21.0	3.0	41.0
φ400	1.3	17.0	2.5	34.0
φ450	1.1	15.0	2.1	28.0
φ500	1.0	12.0	1.8	24.0
φ600	0.8	10.0	1.4	18.0
φ700	0.7	8.0	1.2	15.0
φ800	0.6	6.0	1.0	12.0
φ900	0.5	5.0	0.8	10.0

注１）雨水・合流管きょの最小こう配は流速が 0.8m/S以上となるこう配。
　２）雨水・合流管きょの最大こう配は流速が 3.0m/S以下となるこう配。

下水道標準図

平成６年４月

平成７年４月　　改訂

平成１５年１０月　改訂

平成２９年４月　　改訂

平成３１年４月　　改訂

編集　厚木市下水道施設課